

ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画等策定基礎調査報告

# 市民意識調査報告書 Ⅱ

## 定住等に関する市民意識調査 編

令和2年 1月

ひたちなか市 企画部 企画調整課

# 目次

I	調査概要.....	1
II	調査結果概要.....	2
1.	定住意向意識調査 結果概要.....	2
(1)	回答者について.....	2
(2)	ひたちなか市への誇りや愛着について.....	2
(3)	就労について.....	2
(4)	定住意向などについて.....	2
(5)	結婚・出産・子育ての状況, 意識について.....	3
(6)	人口減少社会におけるまちづくりについて.....	3
(7)	全体を通して.....	3
2.	転入に関する意識調査 結果概要.....	4
(1)	回答者について.....	4
(2)	転入のきっかけやひたちなか市の住み心地などについて.....	4
(3)	人口減少社会におけるまちづくりについて.....	4
(4)	全体を通して.....	4
3.	転出に関する意識調査 結果概要.....	5
(1)	回答者について.....	5
(2)	転出のきっかけやひたちなか市の住み心地などについて.....	5
(3)	全体を通して.....	5
III	調査結果.....	6
1.	定住意向意識調査 調査結果.....	6
(1)	回答者について.....	6
(2)	ひたちなか市への誇りや愛着について.....	9
(3)	就労について.....	14
(4)	定住意向などについて.....	34
(5)	結婚・出産・子育ての状況, 意識について.....	45
(6)	人口減少社会におけるまちづくりについて.....	54
2.	転入に関する意識調査 調査結果.....	57
(1)	回答者について.....	57
(2)	転入のきっかけやひたちなか市の住み心地などについて.....	65
(3)	人口減少社会におけるまちづくりについて.....	75
3.	転出に関する意識調査 調査結果.....	79
(1)	回答者について.....	79
(2)	転出のきっかけやひたちなか市の住み心地などについて.....	87

# I 調査概要

## 1. 調査の目的と趣旨

本調査は、市民の定住意向や転入・転出の実態等について把握し、「ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画」の策定や、今後の施策推進の基礎資料とするためにアンケート調査を実施した。

## 2. 調査の対象

### (1) 定住意向意識調査

3年以上市内に在住する18歳以上39歳以下より2,000名

### (2) 転入に関する意識調査

過去3年以内の本市への転入者の内50歳以下の世帯主1,000名

### (3) 転出に関する意識調査

過去3年以内の本市からの転出者の内50歳以下の世帯主1,000名

※年齢等は令和元年8月1日を基準とした。

## 3. 調査方法

配布・回収ともに、郵送により実施

## 4. 調査期間

令和元年9月17日～令和元年9月30日

## 5. 回収結果

対象種別	定住意向意識調査	転入に関する意識調査	転出に関する意識調査
配布票数	2,000票	1,000票	1,000票
回収票数	793票	256票	209票
回収率	39.7%	25.6%	20.9%

※各調査にて調査票の対象への未達数あり

定住意向意識調査：10通、転入に関する調査：11通、転出に関する調査120通

## Ⅱ 調査結果概要

### 1. 定住意向意識調査 結果概要

#### (1) 回答者について

---

- ・回答者の性別は男女ともに5割程度となっており、平均年齢は30.7歳となっている。
- ・ひたちなか市への居住歴では、「20～30年未満」が最も多く全体の約3割を占めている。
- ・家族の構成としては「配偶者と子と同居」する子育て世帯が最も多く全体の4割、「親と同居」する世帯が約3割となっている。

#### (2) ひたちなか市への誇りや愛着について

---

- ・ひたちなか市への誇りや愛着を「とても感じる」、「感じる」と全体の6割以上が回答している。
- ・ひたちなか市のまちのイメージとして、住みやすいとの回答が多く、まちの特性や特色として、「国営ひたち海浜公園や国際物流港湾などを中心とする人や物の交流が盛んなまち」や「農業や漁業が盛んで、地域資源が活かされているまち」と回答する人が多い。
- ・住みやすいとの意見が多い一方で、ひたちなか市で働くことや子育てすることを周囲にすすめることはあまりしないという結果となっている。

#### (3) 就労について

---

- ・就労しているとの回答は全体の約6割となっており、業種は「製造業」、職種は「専門的職業」が最も多くなっている。
- ・就業形態では、男性の8割は「正規の職員・従業員」であり、女性は5割が「正規の職員・従業員」で「パート・アルバイト」が約3割を占めている。
- ・ひたちなか市内へ勤務する人の割合は5割程度となっている。
- ・仕事へのやりがい等を理由に、全体の約7割の方が現在の仕事に満足していると回答している。

#### (4) 定住意向などについて

---

- ・ひたちなか市に「住み続けたい」と5割以上の方が回答しているが、前回調査時に比べ数値は低くなっている。また、市への誇りや愛着を「とても感じる」と回答した方の約8割が「住み続けたい」と回答している。
- ・市内に住み続けたいと思う理由として、約5割の方が「親・子・親族等との同居・近居のため」、「日常の買い物等が便利だから」、「自分や家族の通勤・通学に便利だから」をそれぞれ選択している。
- ・一方で市外に移りたいと思う理由については、「道路事情や交通の便が良くないから」と4割の方が回答しており、「日常の買い物等が便利でないから」、「通勤・通学先が市外にあるから」も3割の方が回答している。県外であれば「東京都」、県内であれば「つくば市」が将来的に住みたいまちとして多く回答されている。

### (5) 結婚・出産・子育ての状況、意識について

- 現在未婚と回答した方の6割以上が「早めに結婚したい」、「いずれは結婚したい」と回答している。
- 「結婚はしたいが難しい」または「結婚はしたくない」と回答した理由として、「結婚したい相手にまだめぐり会わない」が最も多く選択されており約3割の方が回答しており、「金銭的な余裕がない」、「相手にめぐり会う機会(場)がない」も3割程度で続いている。
- 現在の子どもの人数では「2人」との回答が最も多く全体の2割を占めている。一方で、理想とする子どもの人数への回答では約6割の方が「2人」と回答している。
- 子どもを持つことの妨げになっている要因として、約6割の方が「経済的に厳しいから」を選択している。

### (6) 人口減少社会におけるまちづくりについて

- 人口減少社会を見据えた取り組みとして力を入れるべき施策として「子育て支援の充実」が最も選ばれており、全体の約6割が回答している。「医療・福祉の充実」を5割、「公共交通の充実」を3割の方が選択している。

### (7) 全体を通して

- ひたちなか市を住みやすいと感じている一方で、仕事や子育て等の具体の生活についてはおすすりできないとの結果となっている。出身地であることなど、ひたちなか市への誇りや愛着からひたちなか市に「住み続けたい」と考えている人が多いと想定できるため、市への誇りや愛着の醸成が将来の定住につながっていくと考えられる。
- 今後の人口減少社会を見据えた取り組みとして力を入れるべき施策として「子育て支援の充実」が最も選ばれている。また、現在の子どもの数が1人と回答した方の約8割が、理想の子どもの数を2人以上と回答しており、理想と現実の間に差が生じていることから、「子育て支援」を重点的に進めていく必要がある。

## 2. 転入に関する意識調査 結果概要

### (1) 回答者について

---

- 回答者の約 8 割が男性で、女性の回答者は全体の 2 割となっている。
- 回答者の年齢は、「30～34 歳」が最も多く、回答者の平均年齢は 34.5 歳となっている。
- 回答者の就労状態について、「正規の職員・従業員」が全体の 8 割以上を占めており、業種としては「製造業」が 4 割を占め最多となっている。
- 転入前の住所について、都道府県では「茨城県」が最も多く、市町村では「水戸市」が最多である。
- 転入前後で家族構成を比較すると、転入後は「夫婦」が 3.9%増加している。

### (2) 転入のきっかけやひたちなか市の住み心地などについて

---

- 転入のきっかけとしては、「あなたの仕事の都合」と約 6 割の方が回答しており、内容としては転勤が最も多い。
- ひたちなか市に住むことを決めた理由として、「通勤・通学先があるから」と約 5 割の方が回答しており、「自分や家族の通勤・通学に便利だから」、「親・子・親族等との同居・近居のため」が続いている。
- 前住地と比べてひたちなか市の住み心地について、約 6 割の方が「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」と回答している。

### (3) 人口減少社会におけるまちづくりについて

---

- 今後の人口減少社会を見据えた取り組みとして力を入れるべき施策として、「子育て支援の充実」が最も選ばれており、約 6 割の方が選択している。

### (4) 全体を通して

---

- ひたちなか市に住むことを決めた理由としては、通勤・通学先があることが最も多い要因であり、通勤・通学に便利な点や親族等との同居・近居のためが主な転入の要因となっており、前回調査からあまり変化していない。
- 不動産情報サイトが転入の際の主な情報源となっているが、持家を購入して転入する場合は、親族・知人・友人や不動産業者の口コミも主な情報源となっており、NPS の増加が移住にもつながっていくことがわかる。
- 前住地と比べてひたちなか市の住み心地を住みよいと回答する方が前回調査に比べ増加しており、「40～44 歳」の世代で住み心地への評価が高い。一方で夫婦世帯の住み心地への評価は低くなっている。

### 3. 転出に関する意識調査 結果概要

#### (1) 回答者について

---

- 回答者の7割が男性で、女性の回答者は全体の約3割となっている。
- 回答者の年齢は、「30～34歳」が最も多く、回答者の平均年齢は35.1歳となっている。
- 回答者の就労状態について、「正規の職員・従業員」が全体の8割以上を占めており、業種としては「製造業」が約3割を占め最多となっている。
- 転出後の住所について、都道府県では「茨城県」が最も多く、市町村では「水戸市」が最多である。
- 転出前後で家族構成を比較すると、転出後は「夫婦」、「夫婦と子ども」世帯が増加している。

#### (2) 転出のきっかけやひたちなか市の住み心地などについて

---

- 転出のきっかけとしては、「あなたの仕事の都合」と約5割の方が回答しており、内容としては転勤が最も多い。また、「結婚のため」に転出したと1割以上が回答している。
- 現在の居住地に住むことを決めた理由として、「通勤・通学先があるから」と約4割の方が回答しており、「自分や家族の通勤・通学に便利だから」、「親・子・親族等との同居・近居のため」が続いている。
- 回答者の約2割が転出先としてひたちなか市も検討したが、他市町村に転出しており、水戸市への転出が最も多い。
- 全体の5割以上が半年に一度以上の頻度でひたちなか市を訪れている。
- ひたちなか市へのふるさと納税について、約2割が「とても関心がある」または「やや関心がある」と回答している。

#### (3) 全体を通して

---

- 転出後の家族構成から、結婚や出産・子育てを機に市外へ転出する人が多く、転出後の住まい形態からも、市外に持家を購入して転出するケースが多くなっている。
- 市外に持家を購入し、転出した要因には、親族等との同居・近居に加え、住宅価格や子育てや教育環境も要因として挙げられている。
- 転出前にひたちなか市内への転居も検討したが、最終的に他市区町村に決めた方は約2割おり、当該転出者たちの市への愛着を強く感じている人の割合は高い。ひたちなか市内も検討していた方は水戸市への転出者が多い。
- ひたちなか市で居住する方の増加につながるものとしては、働きたいと思う企業や給料がよい就職先等の雇用に関する要望が多く、前回調査と大きく変化はしていない。

# Ⅲ 調査結果

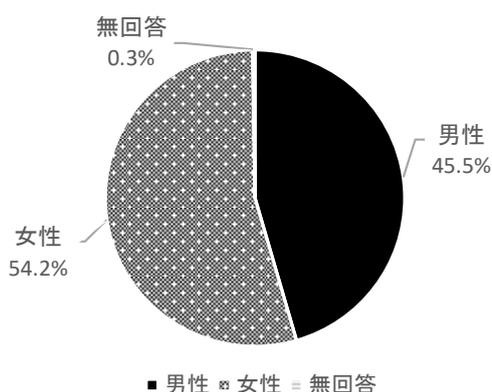
## 1. 定住意向意識調査 調査結果

### (1) 回答者について

#### 問1 あなたの性別をお答えください。[1つに〇]

- 回答者の性別は、「男性」45.5%、「女性」54.2%となっている。

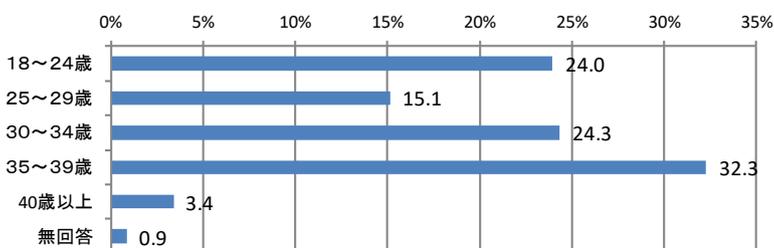
総数	793	100.0%
男性	361	45.5%
女性	430	54.2%
無回答	2	0.3%



#### 問2 あなたの年齢

- 年齢別の割合では、「35～39歳」の回答割合が32.3%と最も多くなっている。
- 回答者の平均年齢は、30.7歳となっている。

総数	793	100.0%
18～24歳	190	24.0%
25～29歳	120	15.1%
30～34歳	193	24.3%
35～39歳	256	32.3%
40歳以上	27	3.4%
無回答	7	0.9%



#### 問3 あなたはひたちなか市にお住まいになって何年になりますか。[1つに〇]

- 居住歴では、「20～30年未満」が28.4%で最も多く、「10～20年未満」が23.6%が続いている。

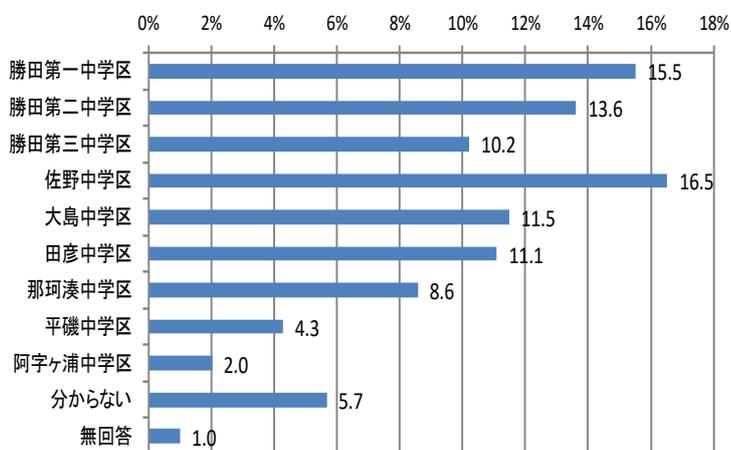
総数	793	100.0%
3～5年未満	75	9.5%
5～10年未満	131	16.5%
10～20年未満	187	23.6%
20～30年未満	225	28.4%
30年以上	170	21.4%
無回答	5	0.6%



**問4 あなたのお住まいは中学校区で分類するとどの地区ですか。[1つに〇]**

- 回答者の居住する学校区では、「佐野中学校」が16.5%で最も多く、「勝田第一中学校」が15.5%で続いている。

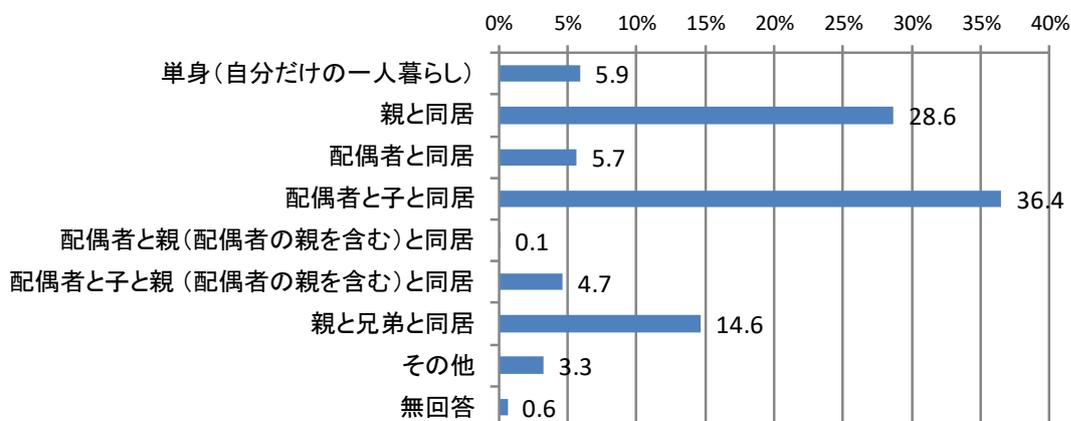
総数	793	100.0%
勝田第一中学区	123	15.5%
勝田第二中学区	108	13.6%
勝田第三中学区	81	10.2%
佐野中学区	131	16.5%
大島中学区	91	11.5%
田彦中学区	88	11.1%
那珂湊中学区	68	8.6%
平磯中学区	34	4.3%
阿字ヶ浦中学区	16	2.0%
分からない	45	5.7%
無回答	8	1.0%



**問5 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。[1つに〇]**

- 回答者の同居家族の構成について、「配偶者と子と同居」が36.4%で最も多くなっている。
- 『その他』の回答では、「子と同居」、「祖母と同居」等の回答が挙がっている。

総数	793	100.0%
単身(自分だけの一人暮らし)	47	5.9%
親と同居	227	28.6%
配偶者と同居	45	5.7%
配偶者と子と同居	289	36.4%
配偶者と親(配偶者の親を含む)と同居	1	0.1%
配偶者と子と親(配偶者の親を含む)と同居	37	4.7%
親と兄弟と同居	116	14.6%
その他	26	3.3%
無回答	5	0.6%



**問6 同居家族に次の方はいますか。[あてはまるものすべてに○]**

- 同居家族について、「未就学児」が31.5%で最も選択されており、「小学生」が21.6%が続いている。また、「65～74歳の方」との回答も15.0%となっている。

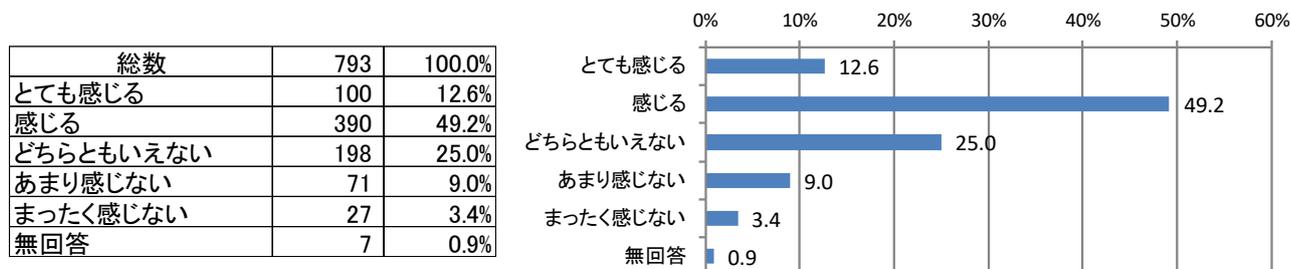
総数	793	100.0%
未就学児	250	31.5%
小学生	171	21.6%
中学生	57	7.2%
高校生以上の学生	88	11.1%
65～74歳の方	119	15.0%
75歳以上の方	72	9.1%
無回答	235	29.6%



## (2) ひたちなか市への誇りや愛着について

### 問7 あなたは、ひたちなか市に誇りや愛着を感じますか。[1つに○]

- ・ひたちなか市への誇りや愛着については、「とても感じる」が12.6%となっており、『まちづくりに関する市民意識調査』の結果より高くなっている。
- ・年齢別に「とても感じる」の回答割合をみると、「25～29歳」が18.3%で最も高く、学校区別では「平磯中学区」が29.4%と最も高くなっている。



#### 【年齢別の市への誇りや愛着への回答割合】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	12.6%	49.2%	25.0%	9.0%	3.4%	0.9%
18～24歳	16.3%	47.9%	23.2%	7.4%	4.2%	1.1%
25～29歳	18.3%	44.2%	27.5%	8.3%	1.7%	0.0%
30～34歳	12.4%	49.7%	24.4%	9.3%	3.6%	0.5%
35～39歳	7.8%	50.8%	26.6%	9.8%	3.9%	1.2%
40歳以上	7.4%	63.0%	18.5%	11.1%	0.0%	0.0%
無回答	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%

#### 【学区別の市への誇りや愛着への回答割合】

%	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	12.6%	49.2%	25.0%	9.0%	3.4%	0.9%
勝田第一中学区	8.9%	50.4%	27.6%	7.3%	5.7%	0.0%
勝田第二中学区	9.3%	53.7%	24.1%	8.3%	3.7%	0.9%
勝田第三中学区	17.3%	48.1%	21.0%	8.6%	3.7%	1.2%
佐野中学区	12.2%	44.3%	27.5%	13.0%	1.5%	1.5%
大島中学区	13.2%	48.4%	27.5%	8.8%	2.2%	0.0%
田彦中学区	14.8%	46.6%	28.4%	6.8%	2.3%	1.1%
那珂湊中学区	13.2%	52.9%	22.1%	8.8%	2.9%	0.0%
平磯中学区	29.4%	47.1%	11.8%	8.8%	2.9%	0.0%
阿字ヶ浦中学区	12.5%	43.8%	37.5%	6.3%	0.0%	0.0%
分からない	4.4%	51.1%	22.2%	11.1%	8.9%	2.2%
無回答	12.5%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%

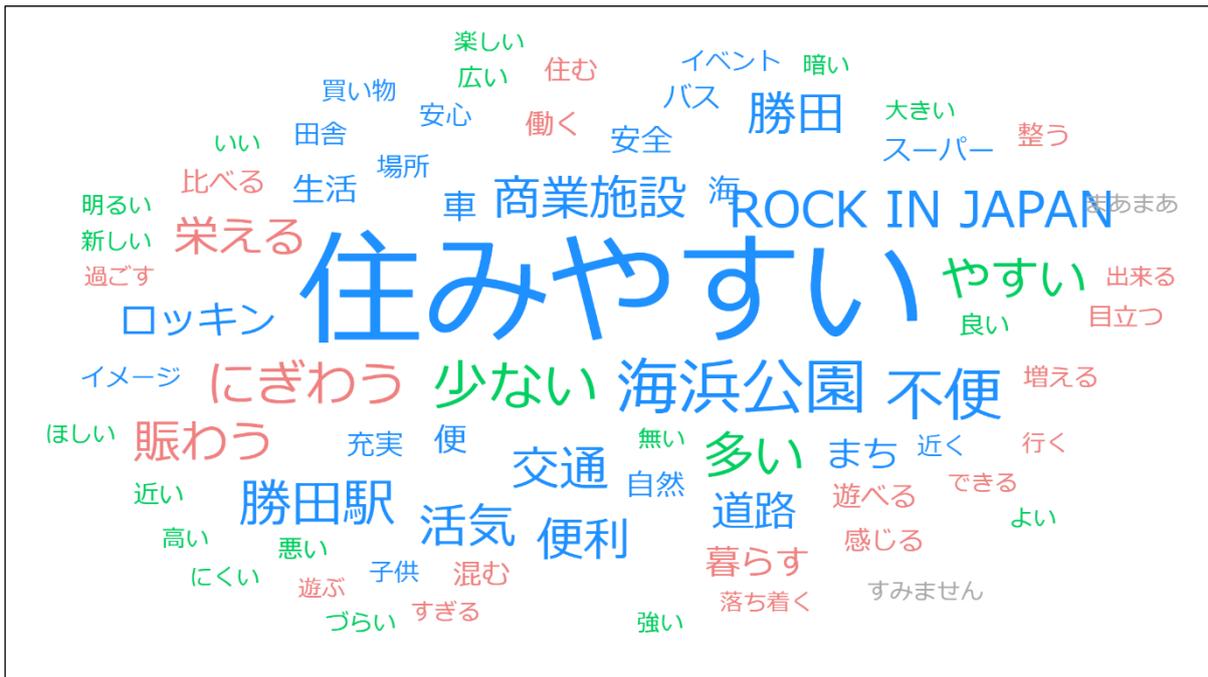
問8 ひたちなか市に対する「まちのイメージ」について自由にご記入下さい。

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール（ <https://textmining.userlocal.jp/> ）により分析

■ワードクラウド※1

・「住みやすい」、「海浜公園」、「ROCK IN JAPAN」といったワードが多く出現している。



■単語出現度

- ・「住みやすい」の出現回数が最も多くなっている。一方で「不便」が次点となっている。
- ・その他に「海浜公園」や「海」、「イベント」の出現回数も多くなっている。

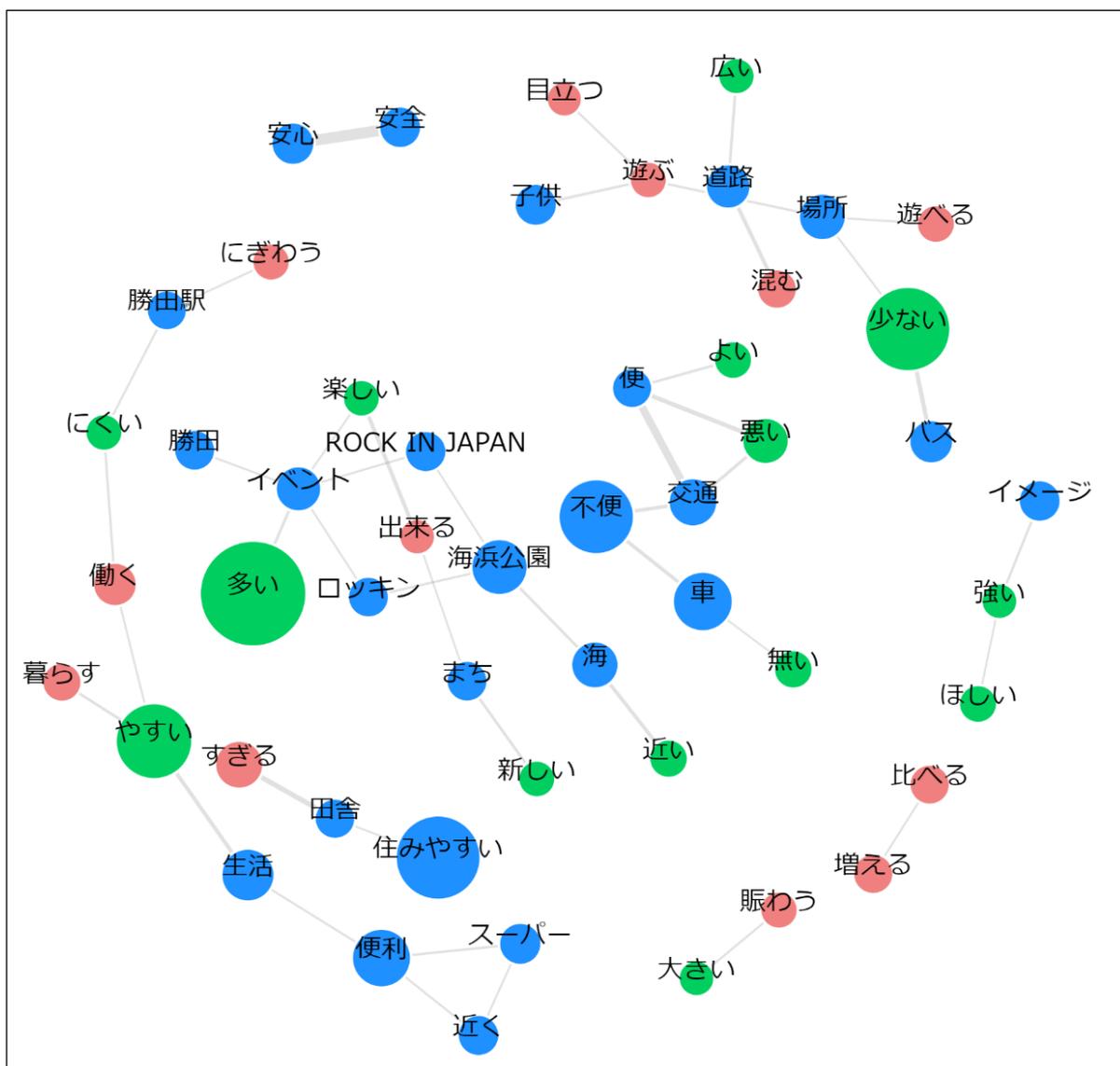
（一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語（※多い、少ない、生活、良い等））

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
住みやすい	名詞	116	交通	名詞	36
不便	名詞	95	海	名詞	33
車	名詞	61	イベント	名詞	29
便利	名詞	59	道路	名詞	27
海浜公園	名詞	53	活気	名詞	23

※1 ワードクラウド…一般的な文書ではあまり出現しないが、調査対象の文書だけによく出現する単語は重みづけを行い、出現が特徴的な単語を数値化し、その値に応じた大きさで図示。仕組みで重要度を加味し取り入れています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。

## ■出現パターン※2

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「多い」は「イベント」に、「少ない」は「バス」や「遊べる場所」との関連が多い。
- また、「住みやすい」は「田舎」との関連が多い一方で、「田舎すぎる」という出現も多い。



※2 出現パターン…文章中に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図。  
出現数が多い語ほど大きく、また共に出現する程度が強いほど太い線で図示している。

## ■自由記述分析結果まとめ

- 回答結果としては、“住みやすいまち”という回答と、“交通等不便な田舎すぎるまち”という対照的な回答が多くなっている。
- その他の街のイメージとしては、“海浜公園や ROCK IN JAPAN 等の楽しいイベントの多いまち”，“遊べる場所が少ないまち”といった回答の傾向がある。

問9 ひたちなか市のまちの特性、特色について、あなたの考えに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください

- ・「とてもそう思う」と回答した割合がもっとも多かったのは、「国営ひたち海浜公園や国際物流港湾などを中心とする人や物の交流が盛んなまち」で 17.7%、「農業や漁業が盛んで、地域資源が活かされているまち」が 15.4%で続いている。
- ・「まったく思わない」と回答した割合は、「鉄道やバスを利用しやすい、移動に便利なまち」が 20.2%で最多となっており、「ITを活用した情報交流が盛んなまち」が 15.6%で次点となっている。
- ・『その他』の回答内容には、「道路など整備されていない所が多い」、「不便なまち」、「住みやすいまち」等の回答が挙がっている。

【回答結果】

	とてもそう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	まったく思わない	無回答
快適な生活環境が整備されたまち	10.8%	52.5%	22.6%	11.0%	2.6%	0.5%
自然環境を守り、自然とふれあえるまち	12.4%	45.1%	28.8%	11.1%	1.9%	0.8%
医療や福祉が充実した、健康で安心して暮らせるまち	7.3%	34.7%	35.3%	16.1%	5.7%	0.9%
ものづくりなど企業活動が盛んで、活気にあふれるまち	9.8%	36.2%	34.9%	15.1%	3.3%	0.6%
様々な専門店や飲食店が集まる商業の盛んなまち	9.5%	33.7%	29.0%	21.4%	5.9%	0.5%
農業や漁業が盛んで、地域資源が活かされているまち	15.4%	44.0%	28.8%	9.6%	1.9%	0.4%
観光やレクリエーションが楽しめるまち	10.8%	33.7%	27.6%	19.8%	7.4%	0.6%
ITを活用した情報交流が盛んなまち	1.4%	8.2%	38.3%	36.2%	15.6%	0.3%
鉄道やバスを利用しやすい、移動に便利なまち	5.9%	21.8%	22.7%	28.8%	20.2%	0.6%
国営ひたち海浜公園や国際物流港湾などを中心とする人や物の交流が盛んなまち	17.7%	39.1%	27.4%	12.2%	3.3%	0.4%
ボランティアやNPO活動が充実したまち	2.0%	13.9%	44.8%	28.9%	9.7%	0.8%
教育や学習の機会が豊富なまち	2.6%	17.2%	46.4%	24.1%	8.8%	0.9%
芸術・文化・スポーツ施設が充実し、イベントが活発なまち	6.9%	31.5%	36.3%	16.8%	7.7%	0.8%
子どもからお年寄りまで暮らしやすい、ひとにやさしいまち	8.2%	33.7%	34.7%	15.3%	7.4%	0.8%
災害に強い安全安心なまち	3.9%	21.1%	43.1%	23.0%	8.6%	0.4%
その他	3.2%	0.8%	3.8%	0.8%	1.4%	90.2%

問 10 あなたは、ひたちなか市について、友人、知人にどの程度おすすめできますか。次の項目について、あなたの考えに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

【NPS（ネットプロモータースコア）による分析結果】

ひたちなか市についての各項目について、周囲の人にすすめる可能性を0点～10点の11段階で答えてもらい、市に対する愛情の度合いを点数化。マーケティングの視点で評価を実施した。

【算出方法】 NPS＝推奨者の割合（％）－批判者の割合（％）

項目												←アンケート用紙より一部抜粋
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
1. 全般的によいまちであること	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
2. 買い物・遊びなどで訪れること	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	

推奨者
中立者
批判者

※NPS 参考値(出展:NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社)

銀行:業界平均値 -46.2 トップ-25.2 自動車:業界平均値 -25.2 トップ-0.3

トラベル:業界平均値 -14.2 トップ-3.4 等

項目	NPS スコア	※参考 まちづくり市民 意識調査の結果
1. 全般的によいまちであること	-18.2	-26.2
2. 買い物・遊びなどで訪れること	-40.2	-40.7
3. 住むこと	-14.8	-18.7
4. 働くこと	-50.1	-45.6
5. 子育てすること	-48.4	-47.3
6. 仕事後の時間を楽しむこと	-66.5	-65.7
7. いろいろな人と交友を深めること	-67.6	-68.9
8. 趣味や教養を深めること	-68.6	-67.5
9. デートすること	-68.0	-65.5

■ひたちなか市 NPS について 結果まとめ

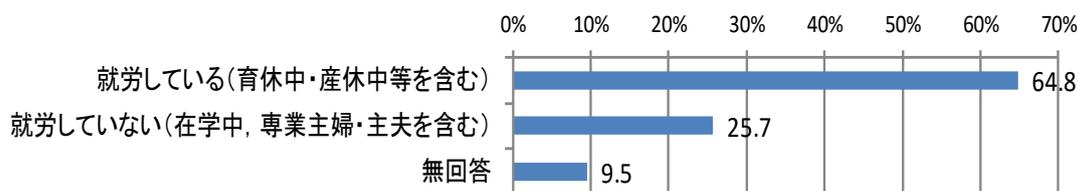
- ひたちなか市の各項目のNPSでは、「3 住むこと」が-14.8と最も高くなっている。
- 18歳以上の全年齢を対象としたまちづくり市民意識調査と比較すると、「1. 全般的によいまちであること」点数が増加している一方で、他の項目については変化なし、或いは低下している。
- 『その他』の意見としては、「海浜公園」や「ロックフェス」等が『まちづくり市民意識調査』同様におすすめできる項目として挙げられていた。

### (3) 就労について

#### 問 11 あなたは現在、就労していますか。[1つに〇]

- ・「就労している」との回答が 64.8%、「就労していない」との回答が 25.7%となっている。
- ・男女別の就労状況では、就労している男性は 74.5%、就労している女性は 56.7%となっている。
- ・年齢別では、「25～29 歳」で就労している割合が最も高く 77.5%、学生等が含まれる「18 歳～24 歳」が 37.4%で最も低くなっている。

総数	793	100.0%
就労している(育休中・産休中等を含む)	514	64.8%
就労していない(在学中, 専業主婦・主夫を含む)	204	25.7%
無回答	75	9.5%



#### 【男女別の就労状況】

%	就労している(育休中・産休中等を含む)	就労していない(在学中, 専業主婦・主夫を含む)	無回答
総数	64.8%	25.7%	9.5%
男性	74.5%	15.5%	10.0%
女性	56.7%	34.4%	8.8%

#### 【年齢別の就労状況】

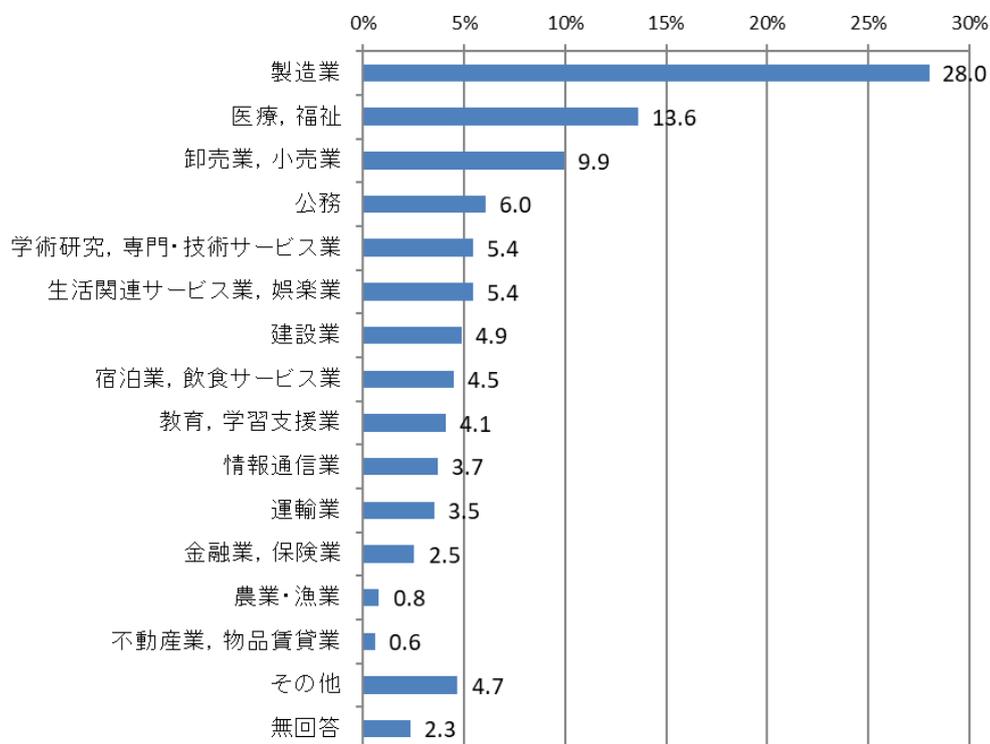
%	就労している(育休中・産休中等を含む)	就労していない(在学中, 専業主婦・主夫を含む)	無回答
総数	64.8%	25.7%	9.5%
18～24歳	37.4%	52.6%	10.0%
25～29歳	77.5%	12.5%	10.0%
30～34歳	74.1%	19.7%	6.2%
35～39歳	70.7%	18.4%	10.9%

【問 11-1～4 は、問 11 で「1. 就労している」と回答した方が対象】

問 11-1 (1) あなたのお仕事について、業種をお答えください。[1つに〇]

- 「製造業」との回答が最も多く 28.0%、「医療、福祉」が 13.6%、「卸売業、小売業」が 9.9%で続いている。
- 『その他』の回答では、「保育士」や「自動車ディーラー」等の回答が挙がっている。

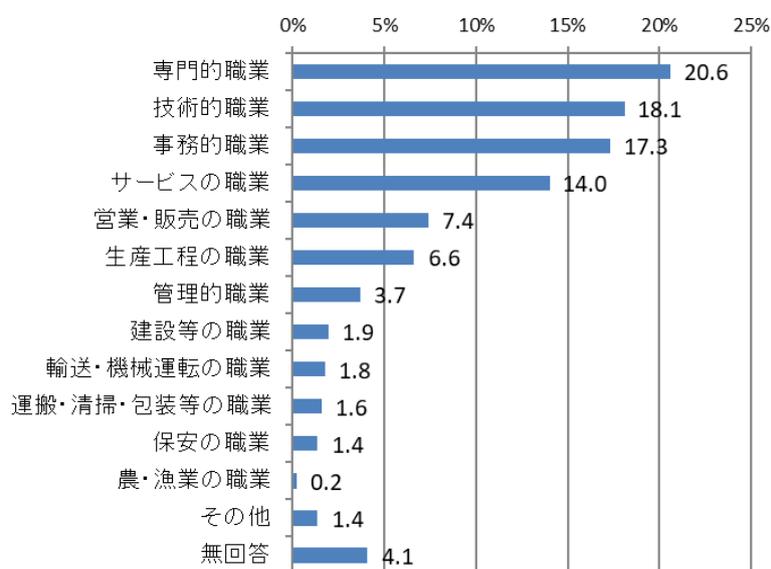
業種	人数	割合
総数	514	100.0%
製造業	144	28.0%
医療、福祉	70	13.6%
卸売業、小売業	51	9.9%
公務	31	6.0%
学術研究、専門・技術サービス業	28	5.4%
生活関連サービス業、娯楽業	28	5.4%
建設業	25	4.9%
宿泊業、飲食サービス業	23	4.5%
教育、学習支援業	21	4.1%
情報通信業	19	3.7%
運輸業	18	3.5%
金融業、保険業	13	2.5%
農業・漁業	4	0.8%
不動産業、物品賃貸業	3	0.6%
その他	24	4.7%
無回答	12	2.3%



問 11-1 (2) あなたのお仕事について、職種をお答えください。[1つに〇]

- 「専門的職業」が 20.6%で最も多くなっており、「技術的職業」が 18.1%、「事務的職業」が 17.3%で続いている。
- 『その他』の回答では、「作業員」、「総合職」等の回答が挙がっている。

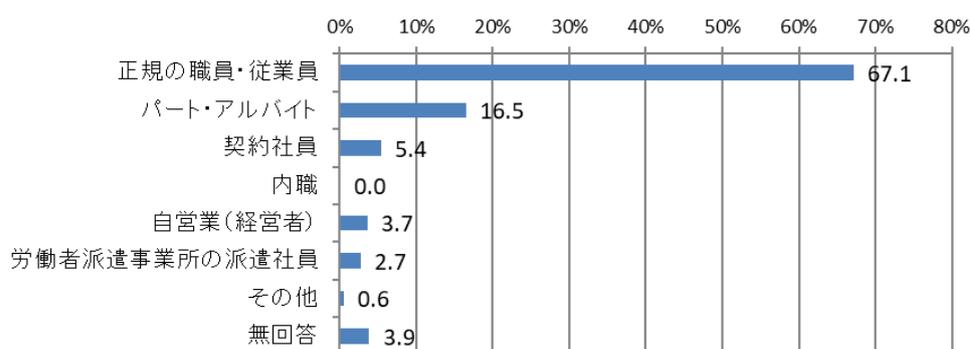
職種	総数	割合
専門的職業	106	20.6%
技術的職業	93	18.1%
事務的職業	89	17.3%
サービスの職業	72	14.0%
営業・販売の職業	38	7.4%
生産工程の職業	34	6.6%
管理的職業	19	3.7%
建設等の職業	10	1.9%
輸送・機械運転の職業	9	1.8%
運搬・清掃・包装等の職業	8	1.6%
保安の職業	7	1.4%
農・漁業の職業	1	0.2%
その他	7	1.4%
無回答	21	4.1%



問 11-1 (3) あなたのお仕事について、就業形態をお答えください。[1つに〇]

- ・「正規の職員・従業員」が67.1%で最も多く、「パート・アルバイト」が16.5%が続いている。
- ・『その他』の回答では、「臨時職員」等の回答が挙がっている。
- ・男女別の就業形態では、「正規の職員・従業員」と回答した女性は52.9%、「パート・アルバイト」との回答が30.7%となっている。

総数	514	100.0%
正規の職員・従業員	345	67.1%
パート・アルバイト	85	16.5%
契約社員	28	5.4%
内職	0	0.0%
自営業(経営者)	19	3.7%
労働者派遣事業所の派遣社員	14	2.7%
その他	3	0.6%
無回答	20	3.9%



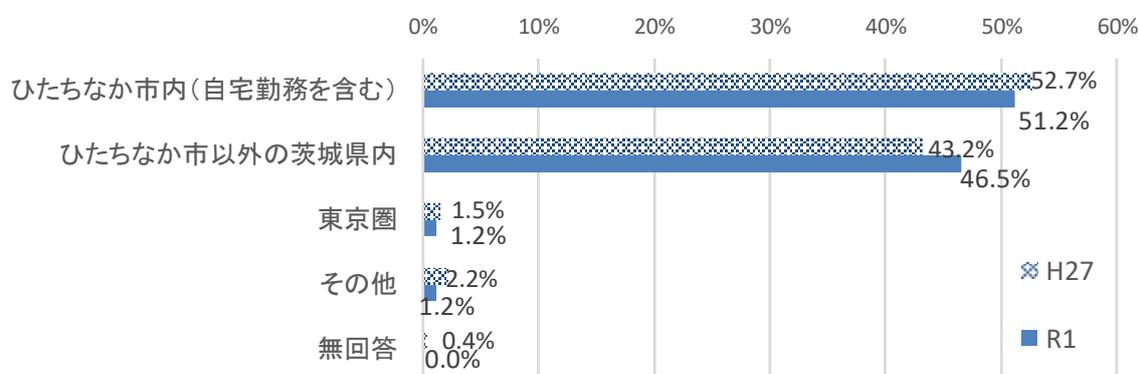
【男女別の就業形態】

%	正規の職員・従業員	契約社員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト	自営業(経営者)	内職	その他
総数	67.1%	5.4%	2.7%	16.5%	3.7%	0.0%	0.6%
男性	80.3%	5.2%	0.7%	3.3%	4.8%	0.0%	0.4%
女性	52.9%	5.7%	4.9%	30.7%	2.5%	0.0%	0.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

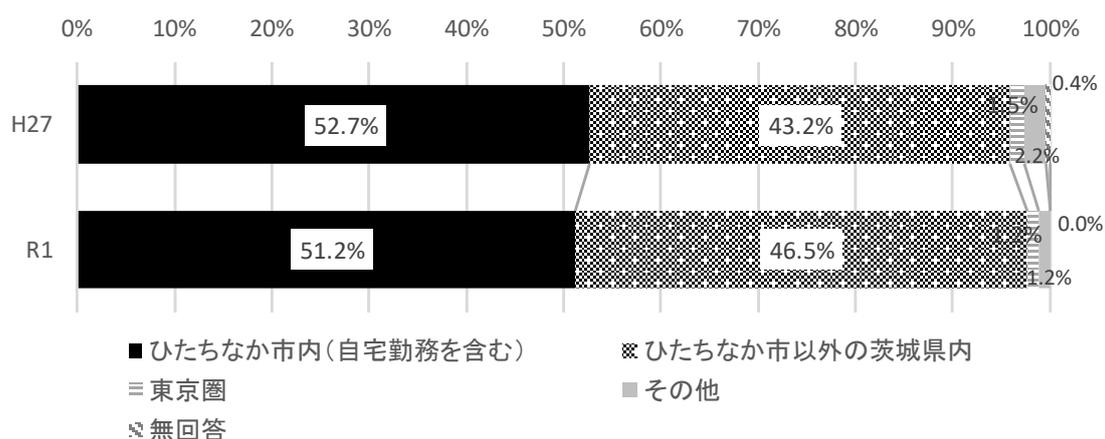
**問 11-2 あなたの勤務先はどちらですか。[1つに〇]**

- 「ひたちなか市内（自宅勤務を含む）」が51.2%、「ひたちなか市以外の茨城県内」が46.5%となっている。
- 前回調査（H27）と比べ、勤務先を「ひたちなか市内（自宅勤務を含む）」と回答した方の割合は低下している。

勤務先	人数	割合
総数	514	100.0%
ひたちなか市内（自宅勤務を含む）	263	51.2%
ひたちなか市以外の茨城県内	239	46.5%
東京圏	6	1.2%
その他	6	1.2%
無回答	0	0.0%



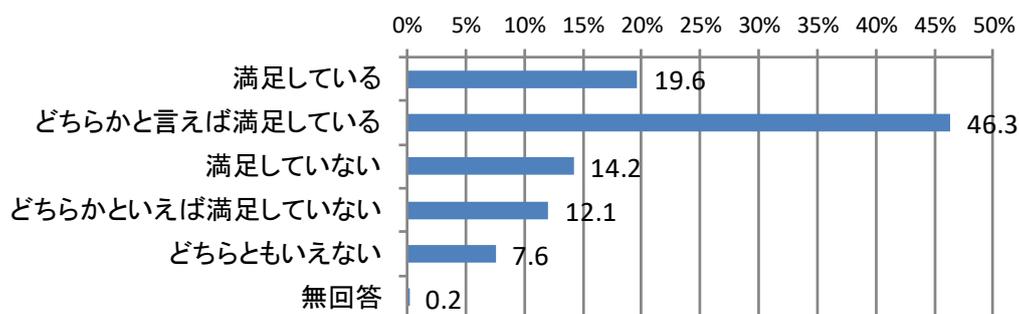
**【前回調査（H27）との比較】**



**問 11-3 あなたは現在の仕事に満足していますか。[1つに〇]**

- 「どちらかと言えば満足している」が46.3%で最も多く、「満足している」が19.6%で次点となっている。
- 「満足していない」、「どちらかといえば満足していない」の合計は26.3%となっている。
- 前回調査（H27）との比較では、「満足している、どちらかと言えば満足している」との回答が増加している。

総数	514	100.0%
満足している	101	19.6%
どちらかと言えば満足している	238	46.3%
満足していない	73	14.2%
どちらかといえば満足していない	62	12.1%
どちらともいえない	39	7.6%
無回答	1	0.2%



**【前回調査（H27）との比較】**

	R1	※R1 比較用	H27
満足している	19.6%	65.9%	54.4%
どちらかと言えば満足している	46.3%		
満足していない	14.2%	26.3%	28.1%
どちらかといえば満足していない	12.1%		
どちらともいえない	7.6%	7.6%	16.4%
無回答	0.2%	0.2%	1.1%

**問 11-4 現在の仕事への満足への回答理由 [自由記述]**

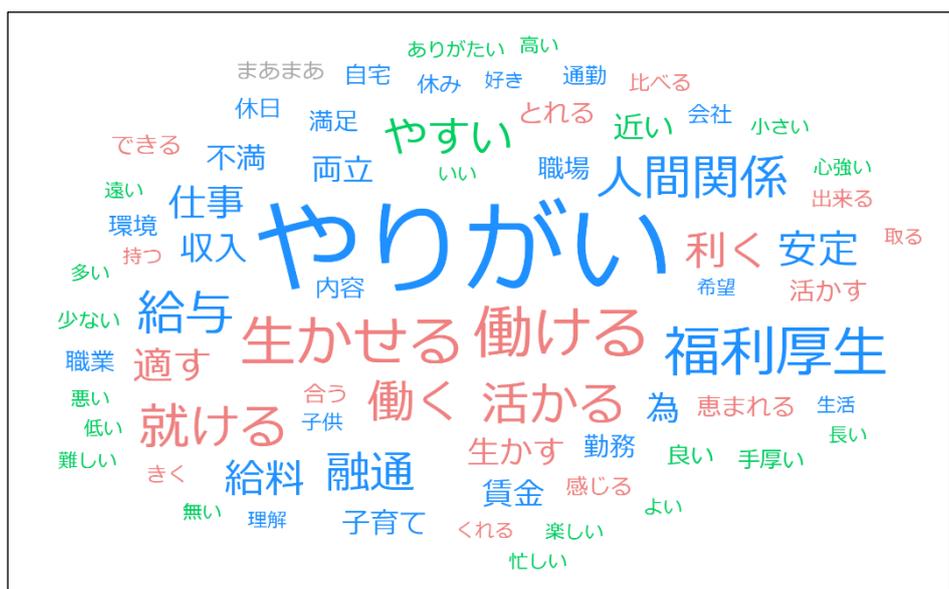
**【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】**

※ユーザーローカル テキストマイニングツール ( <https://textmining.userlocal.jp/> ) により分析

**■ワードクラウド**

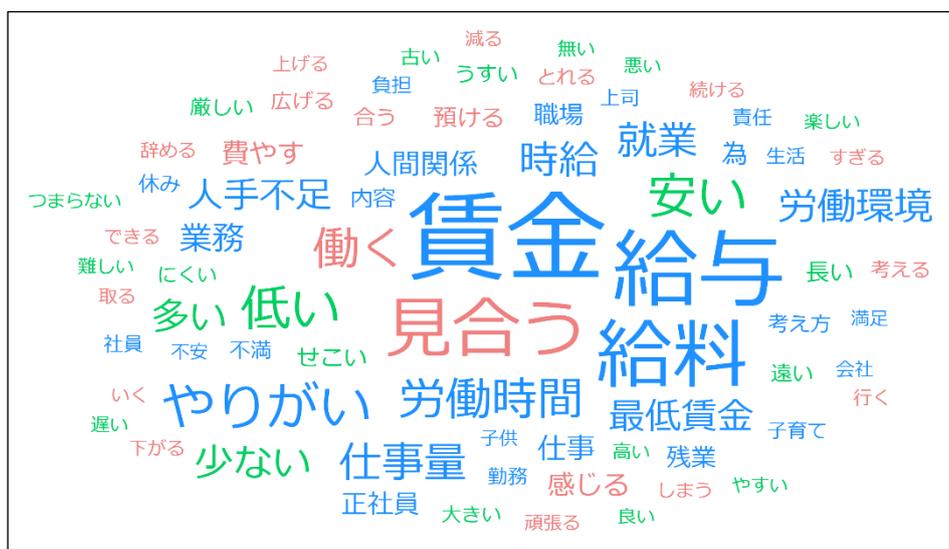
**【「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答した方】**

- 現在の仕事への満足について「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答した方では、「やりがい」、「福利厚生」といった単語が特徴的に出現している。



**【「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答していない方】**

- 現在の仕事への満足について「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答していない方の回答では、「賃金」、「給与」といった単語が特徴的に出現している。



## ■単語出現度

### 【「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答した方】

- ・現在の仕事への満足について「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答した方では、「やりがい」、「安定」といった単語が多く出現している。

(一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語 (※やすい, できる, 為等))

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
仕事	名詞	66	人間関係	名詞	17
やりがい	名詞	28	職場	名詞	16
安定	名詞	27	休み	名詞	16
働く	動詞	25	内容	名詞	14
給料	名詞	19	会社	名詞	13

### 【「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答していない方】

- ・現在の仕事への満足について「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答していない方の回答では、「給料」、「安い」といった単語が多く出現している。

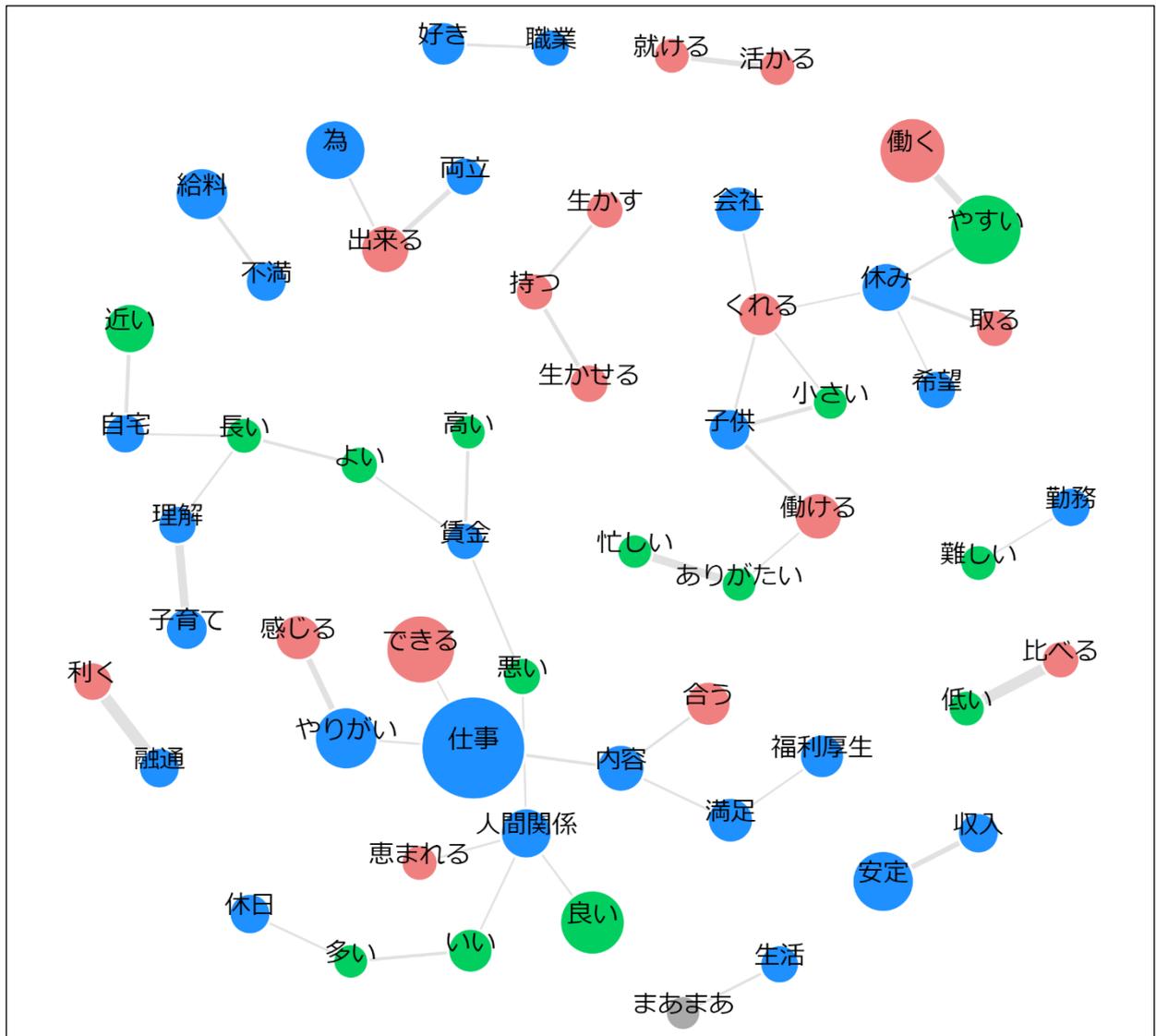
(一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語 (※多い, 少ない, 為, 感じる等))

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
仕事	名詞	36	給与	名詞	16
給料	名詞	33	低い	形容詞	16
安い	形容詞	21	職場	名詞	11
賃金	名詞	19	休み	名詞	11
働く	動詞	18	内容	名詞	9

## ■出現パターン

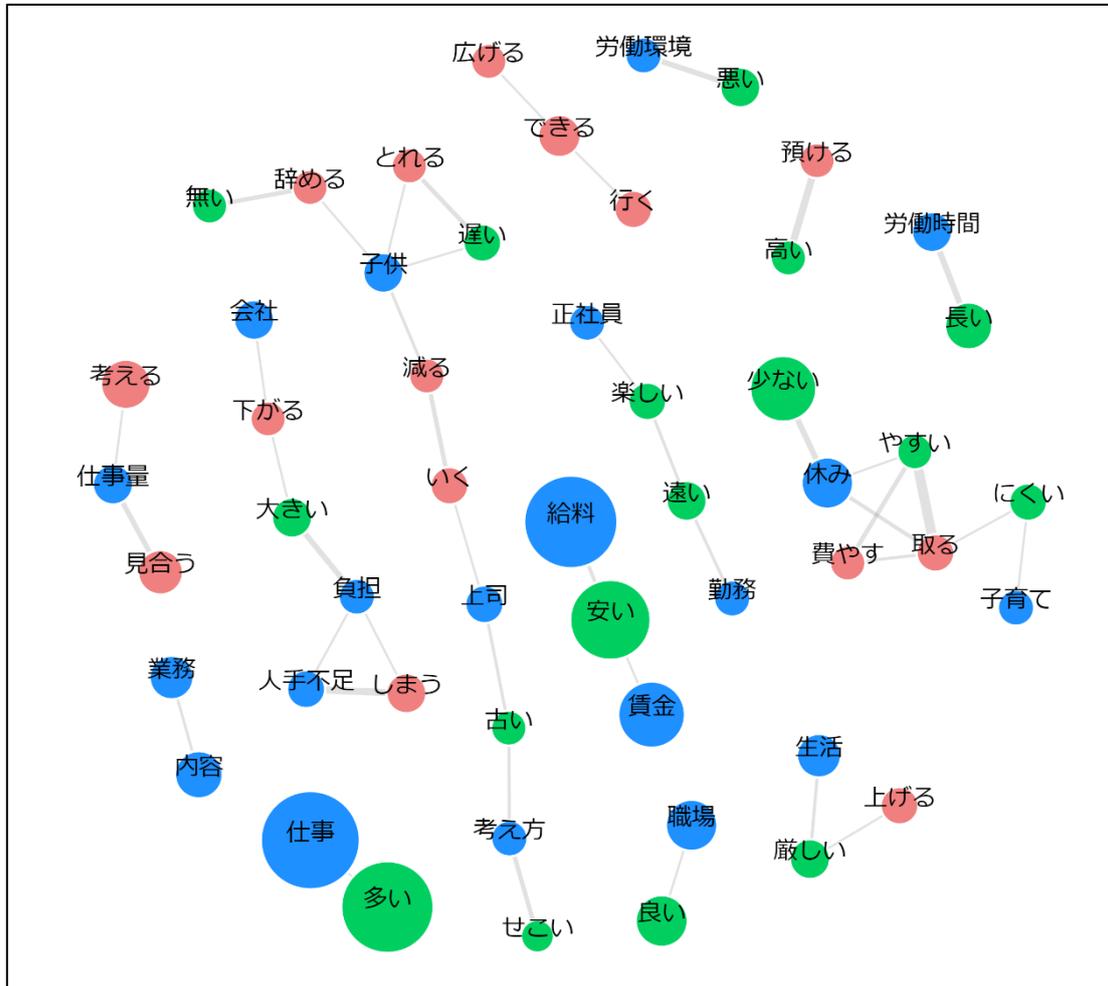
【「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答した方】

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「仕事」は「やりがい」や「満足」と関連して出現しており、「人間関係」は「良い」や「恵まれる」と、「収入」は「安定」と関連して出現している。また、「子育て」は「理解」、「自宅」と「近い」も関連して出現している。



【「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答していない方】

- ・出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「仕事」は「多い」と、「給料」は「安い」と関連して出現している。また、「少ない」と「休み」、「労働環境」と「悪い」も関連して出現している。



■自由記述分析結果まとめ

【「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答した理由について】

- 現在の仕事に満足している理由として、“仕事にやりがいを感じている”，“収入が安定している”，“小さい子どもがいても休みがとりやすく働きやすい”等が傾向としてあると分かる。
- また，“人間関係がよい”，“福利厚生が満足”，“融通が利く”など職場の労働環境を要因とした理由も多くみられる。

【「満足している」、「どちらかと言えば満足している」と回答していない理由について】

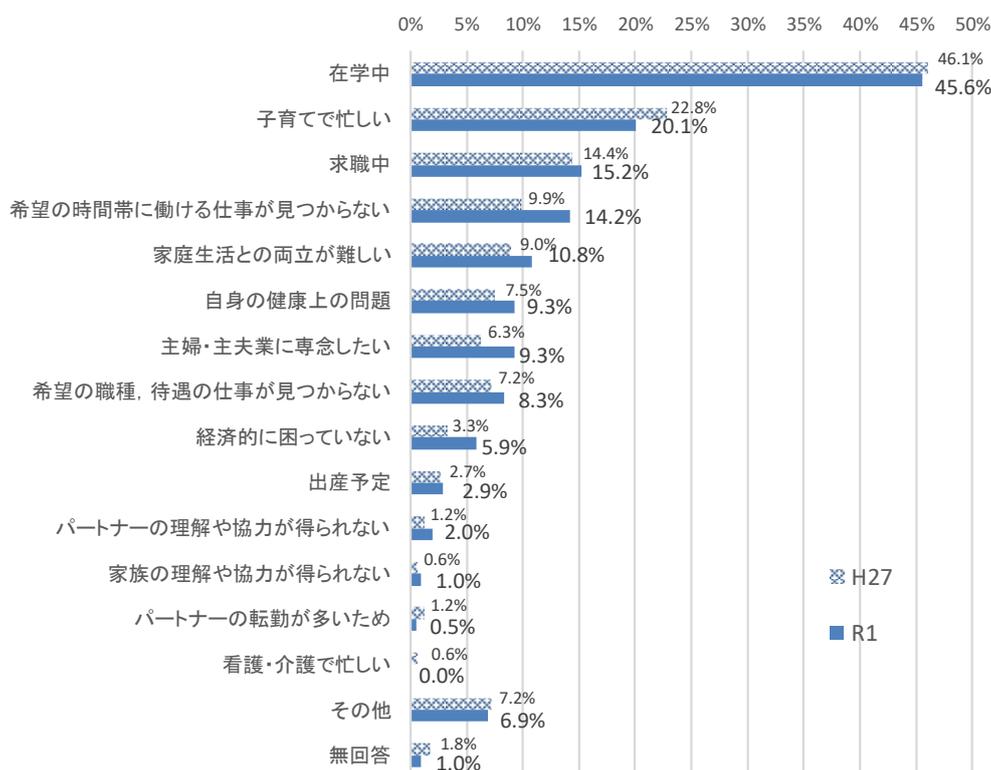
- 現在の仕事に満足していない理由として，“仕事量が多い”，“賃金・給与が安い”という意見が多い傾向がある。
- また，“休みがとりにくい”，“子育てしにくい”，“人手不足で負担が多きい”等の意見が多い傾向がある。

【問 11-5～7 は、問 11 で「2. 就労していない」と回答した方が対象】

問 11-5 あなたが就労していない理由をお答えください。[3つまでに○]

- 就労していない理由としては「在学中」が 45.6%で最も多くなっている。
- 「子育てで忙しい」が 20.1%, 「求職中」が 15.2%, 「希望の時間帯に働ける仕事が見つからない」が 14.2%で続いている。
- 『その他』の回答では、「アフィリエイト」、「フリーランス」、「子どもが保育園に入れず、預ける人がいないので仕事はしていない」等の意見が挙がっている。
- 前回調査（H27）との比較では、「子育てで忙しい」以外の項目で回答割合が増加しており、要因が多様化している。

理由	総数	割合
在学中	93	45.6%
子育てで忙しい	41	20.1%
求職中	31	15.2%
希望の時間帯に働ける仕事が見つからない	29	14.2%
家庭生活との両立が難しい	22	10.8%
自身の健康上の問題	19	9.3%
主婦・主夫業に専念したい	19	9.3%
希望の職種、待遇の仕事が見つからない	17	8.3%
経済的に困っていない	12	5.9%
出産予定	6	2.9%
パートナーの理解や協力が得られない	4	2.0%
家族の理解や協力が得られない	2	1.0%
パートナーの転勤が多いため	1	0.5%
看護・介護で忙しい	0	0.0%
その他	14	6.9%
無回答	2	1.0%



【男女別の就労していない理由】

%	在学中	求職中	希望の職種、待遇の仕事が見つからない	希望の時間帯に働ける仕事が見つからない	出産予定	子育てで忙しい	看護・介護で忙しい	自身の健康上の問題	家庭生活との両立が難しい	パートナーの理解や協力が得られない	家族の理解や協力が得られない	パートナーの転勤が多いため	経済的に困っていない	主婦・主夫業に専念したい	その他	無回答
総数	45.6%	15.2%	8.3%	14.2%	2.9%	20.1%	0.0%	9.3%	10.8%	2.0%	1.0%	0.5%	5.9%	9.3%	6.9%	1.0%
男性	69.6%	12.5%	10.7%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	5.4%	1.8%
女性	36.5%	16.2%	7.4%	17.6%	4.1%	27.7%	0.0%	8.1%	14.9%	2.7%	1.4%	0.7%	7.4%	12.8%	7.4%	0.7%

- ・男女ともに「在学中」が最も多いが、男性は「求職中」、「自身の健康上の問題」が続いているが、女性では、「子育てで忙しい」、「希望の時間帯に働ける仕事が見つからない」が続いている。

【年齢別の就労していない理由】

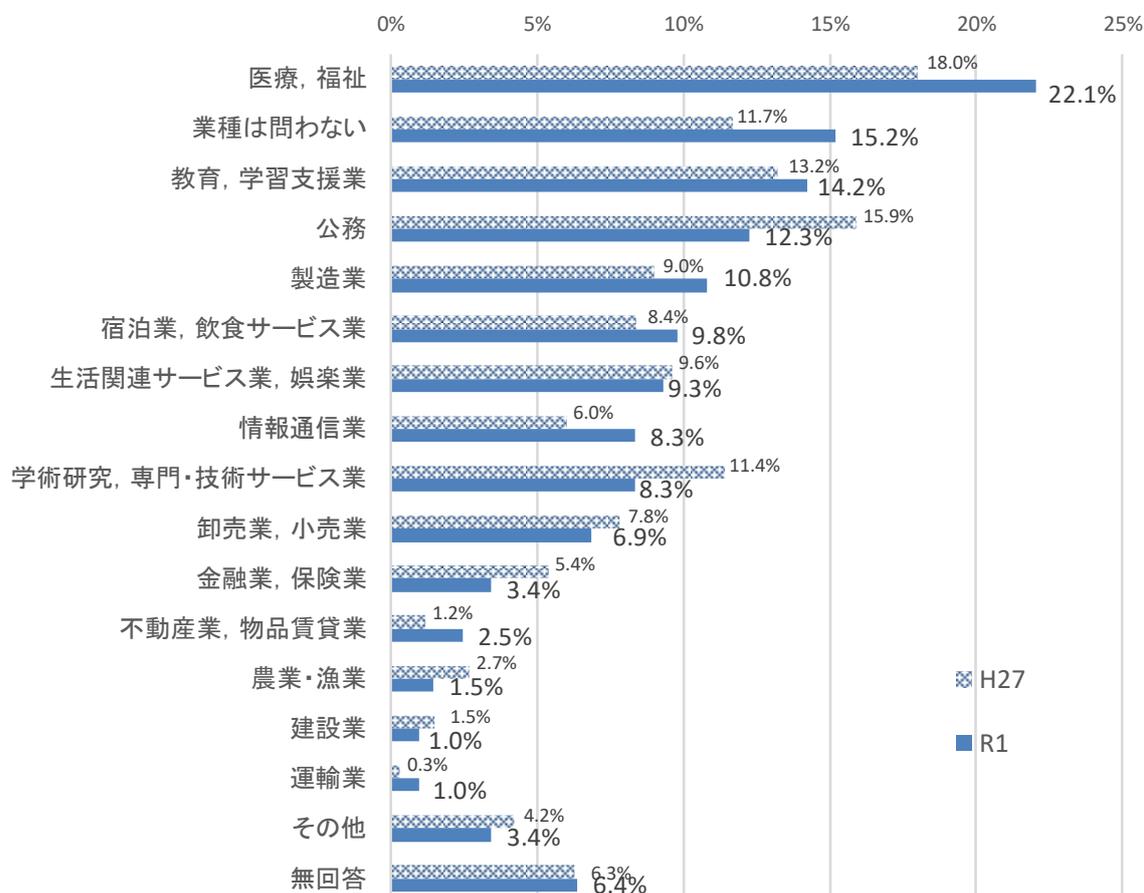
%	在学中	求職中	希望の職種、待遇の仕事が見つからない	希望の時間帯に働ける仕事が見つからない	出産予定	子育てで忙しい	看護・介護で忙しい	自身の健康上の問題	家庭生活との両立が難しい	パートナーの理解や協力が得られない	家族の理解や協力が得られない	パートナーの転勤が多いため	経済的に困っていない	主婦・主夫業に専念したい	その他	無回答
総数	45.6%	15.2%	8.3%	14.2%	2.9%	20.1%	0.0%	9.3%	10.8%	2.0%	1.0%	0.5%	5.9%	9.3%	6.9%	1.0%
18～24歳	91.0%	5.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	1.0%
25～29歳	0.0%	53.3%	40.0%	20.0%	13.3%	26.7%	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%	13.3%	20.0%	0.0%	0.0%
30～34歳	2.6%	26.3%	7.9%	18.4%	7.9%	39.5%	0.0%	23.7%	15.8%	2.6%	0.0%	0.0%	13.2%	18.4%	13.2%	0.0%
35～39歳	0.0%	17.0%	12.8%	40.4%	2.1%	42.6%	0.0%	14.9%	29.8%	6.4%	2.1%	2.1%	10.6%	19.1%	6.4%	2.1%
40歳以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- ・「25～29歳」では「求職中」が53.3%で最も多く、「希望の職種、待遇の仕事が見つからない」が40.0%で次点となっている。「30～34歳」では「子育てで忙しい」が39.5%で最多、「35～39歳」でも「子育てで忙しい」が42.6%で最多となっている。

問 11-6 (1) もしあなたが仕事に就くなら、どのような業種を希望しますか。[2つまでに○]

- 「医療，福祉」が22.1%で最も選択されている。「業種は問わない」が15.2%で次点となっており、「教育，学習支援業」が14.2%で続いている。
- 『その他』の回答では、「クリエイター」、「トリマー」等の意見がみられた。
- 前回調査（H27）との比較では、「医療・福祉」、「業種は問わない」の回答が大きく増加している。

	総数	
医療，福祉	45	22.1%
業種は問わない	31	15.2%
教育，学習支援業	29	14.2%
公務	25	12.3%
製造業	22	10.8%
宿泊業，飲食サービス業	20	9.8%
生活関連サービス業，娯楽業	19	9.3%
情報通信業	17	8.3%
学術研究，専門・技術サービス業	17	8.3%
卸売業，小売業	14	6.9%
金融業，保険業	7	3.4%
不動産業，物品賃貸業	5	2.5%
農業・漁業	3	1.5%
建設業	2	1.0%
運輸業	2	1.0%
その他	7	3.4%
無回答	13	6.4%



【男女別の就労を希望する業種】

%	農業・漁業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	公務	その他	業種は問わない	無回答
総数	1.5%	1.0%	10.8%	8.3%	1.0%	6.9%	3.4%	2.5%	8.3%	9.8%	9.3%	14.2%	22.1%	12.3%	3.4%	15.2%	6.4%
男性	1.8%	3.6%	21.4%	17.9%	0.0%	3.6%	1.8%	5.4%	10.7%	3.6%	5.4%	16.1%	16.1%	23.2%	3.6%	7.1%	1.8%
女性	1.4%	0.0%	6.8%	4.7%	1.4%	8.1%	4.1%	1.4%	7.4%	12.2%	10.8%	13.5%	24.3%	8.1%	3.4%	18.2%	8.1%

- ・男性は「公務」が23.2%で最多となっており、「製造業」が21.4%で続いている。女性では、「医療・福祉」が24.3%で最多、「業種は問わない」が18.2%で続いている。

【年齢別の就労を希望する業種】

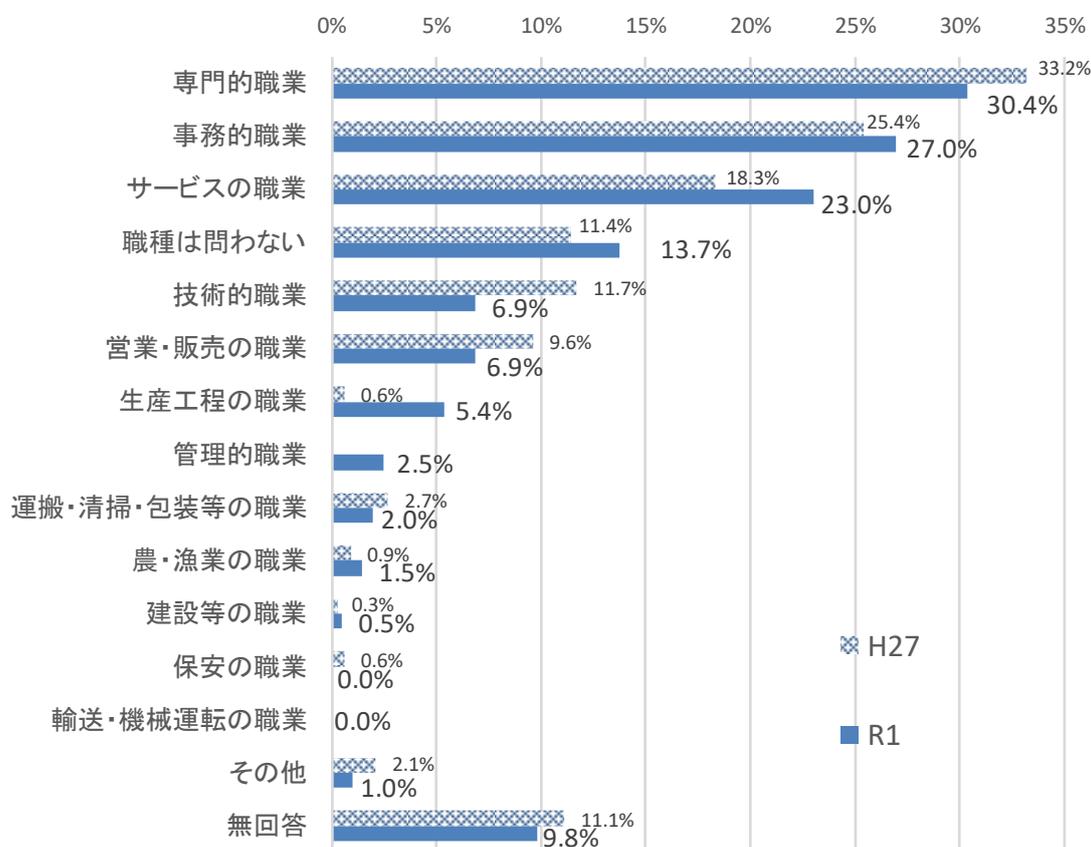
%	農業・漁業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	公務	その他	業種は問わない	無回答
総数	1.5%	1.0%	10.8%	8.3%	1.0%	6.9%	3.4%	2.5%	8.3%	9.8%	9.3%	14.2%	22.1%	12.3%	3.4%	15.2%	6.4%
18～24歳	2.0%	2.0%	8.0%	13.0%	0.0%	3.0%	4.0%	3.0%	11.0%	6.0%	7.0%	21.0%	26.0%	19.0%	2.0%	7.0%	3.0%
25～29歳	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%	6.7%	20.0%	6.7%	13.3%	13.3%	6.7%
30～34歳	2.6%	0.0%	13.2%	7.9%	2.6%	7.9%	2.6%	2.6%	2.6%	18.4%	10.5%	5.3%	18.4%	2.6%	5.3%	28.9%	7.9%
35～39歳	0.0%	0.0%	12.8%	0.0%	0.0%	14.9%	2.1%	2.1%	8.5%	10.6%	12.8%	10.6%	19.1%	8.5%	2.1%	19.1%	12.8%
40歳以上	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- ・「18～24歳」、「25～29歳」では「医療・福祉」が最も多く回答されている。一方で「30～34歳」、「35歳～39歳」では「業種は問わない」が最多となっており、「医療・福祉」が時点となっている。

問 11-6 (2) もしあなたが仕事に就くなら、どのような職種を希望しますか。[2つまでに○]

- 「専門的職業」が30.4%で最も選択されており、「事務的職業」が27.0%、「サービスの職業」が23.0%で続いている。
- 『その他』の回答では、「医者」等の意見がみられた。
- 前回調査（H27）との比較では、「専門的職業」や「技術的職業」の回答は減少し、「サービスの職業」等の回答が増加している。

職種	人数	割合
総数	204	100.0%
専門的職業	62	30.4%
事務的職業	55	27.0%
サービスの職業	47	23.0%
職種は問わない	28	13.7%
技術的職業	14	6.9%
営業・販売の職業	14	6.9%
生産工程の職業	11	5.4%
管理的職業	5	2.5%
運搬・清掃・包装等の職業	4	2.0%
農・漁業の職業	3	1.5%
建設等の職業	1	0.5%
保安の職業	0	0.0%
輸送・機械運転の職業	0	0.0%
その他	2	1.0%
無回答	20	9.8%



【男女別の就労を希望する職種】

%	管理的 職業	専門的 職業	技術的 職業	事務的 職業	営業・販 売の職 業	サービ スの職 業	保安の 職業	農・漁業 の職業	生産工 程の職 業	輸送・機 械運転 の職業	建設等 の職業	運搬・清 掃・包装 等の職 業	その他	職種は 問わな い	無回答
総数	2.5%	30.4%	6.9%	27.0%	6.9%	23.0%	0.0%	1.5%	5.4%	0.0%	0.5%	2.0%	1.0%	13.7%	9.8%
男性	7.1%	39.3%	12.5%	17.9%	5.4%	16.1%	0.0%	3.6%	7.1%	0.0%	1.8%	0.0%	3.6%	7.1%	8.9%
女性	0.7%	27.0%	4.7%	30.4%	7.4%	25.7%	0.0%	0.7%	4.7%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	16.2%	10.1%

- 男性は「専門的職業」が39.3%で最多となっており、「事務的職業」が17.9%で続いている。女性では、「事務的職業」が30.4%で最多、「専門的職業」が27.0%で続いている。

【年齢別の就労を希望する職種】

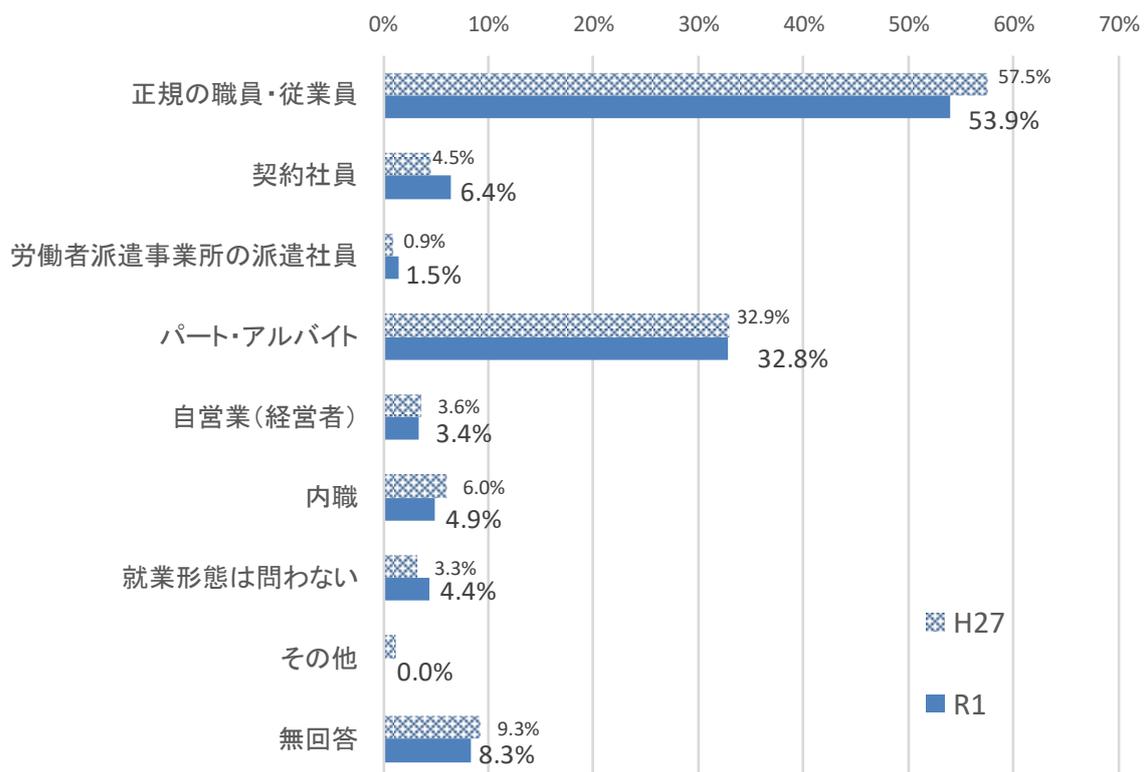
%	管理的 職業	専門的 職業	技術的 職業	事務的 職業	営業・販 売の職 業	サービ スの職 業	保安の 職業	農・漁業 の職業	生産工 程の職 業	輸送・機 械運転 の職業	建設等 の職業	運搬・清 掃・包装 等の職 業	その他	職種は 問わな い	無回答
総数	2.5%	30.4%	6.9%	27.0%	6.9%	23.0%	0.0%	1.5%	5.4%	0.0%	0.5%	2.0%	1.0%	13.7%	9.8%
18～24歳	3.0%	43.0%	7.0%	23.0%	5.0%	18.0%	0.0%	2.0%	4.0%	0.0%	1.0%	1.0%	2.0%	7.0%	9.0%
25～29歳	0.0%	20.0%	6.7%	40.0%	13.3%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%
30～34歳	2.6%	13.2%	2.6%	26.3%	7.9%	28.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.9%	10.5%
35～39歳	2.1%	23.4%	8.5%	34.0%	8.5%	25.5%	0.0%	2.1%	6.4%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	17.0%	10.6%
40歳以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%

- 「18～24歳」では「専門的職業」が最も多く回答されている。「25～29歳」では「事務的職業」と「サービスの職業」が最多、「30～34歳」では「サービスの職業」が、「35歳～39歳」では「事務的職業」がそれぞれ最多となっている。

問 11-6 (3) もしあなたが仕事に就くなら、どのような就業形態を希望しますか。  
[2つまでに○]

- ・「正規の職員・従業員」が 53.9%で最も選択されており、「パート・アルバイト」が 32.8%で次点となっている。
- ・前回調査（H27）との比較では、「正規の職員・従業員」との回答が減少している。

	総数	割合
正規の職員・従業員	110	53.9%
契約社員	13	6.4%
労働者派遣事業所の派遣社員	3	1.5%
パート・アルバイト	67	32.8%
自営業(経営者)	7	3.4%
内職	10	4.9%
就業形態は問わない	9	4.4%
その他	0	0.0%
無回答	17	8.3%



【男女別の就労を希望する就業形態】

%	正規の職員・従業員	契約社員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト	自営業（経営者）	内職	その他	就業形態は問わない	無回答
総数	53.9%	6.4%	1.5%	32.8%	3.4%	4.9%	0.0%	4.4%	8.3%
男性	73.2%	5.4%	0.0%	7.1%	5.4%	0.0%	0.0%	7.1%	12.5%
女性	46.6%	6.8%	2.0%	42.6%	2.7%	6.8%	0.0%	3.4%	6.8%

- ・男性は「正規の職員・従業員」が73.2%で最多となっており、女性では「正規の職員・従業員」が46.6%で最多、「パート・アルバイト」が42.6%で続いている。

【年齢別の就労を希望する就業形態】

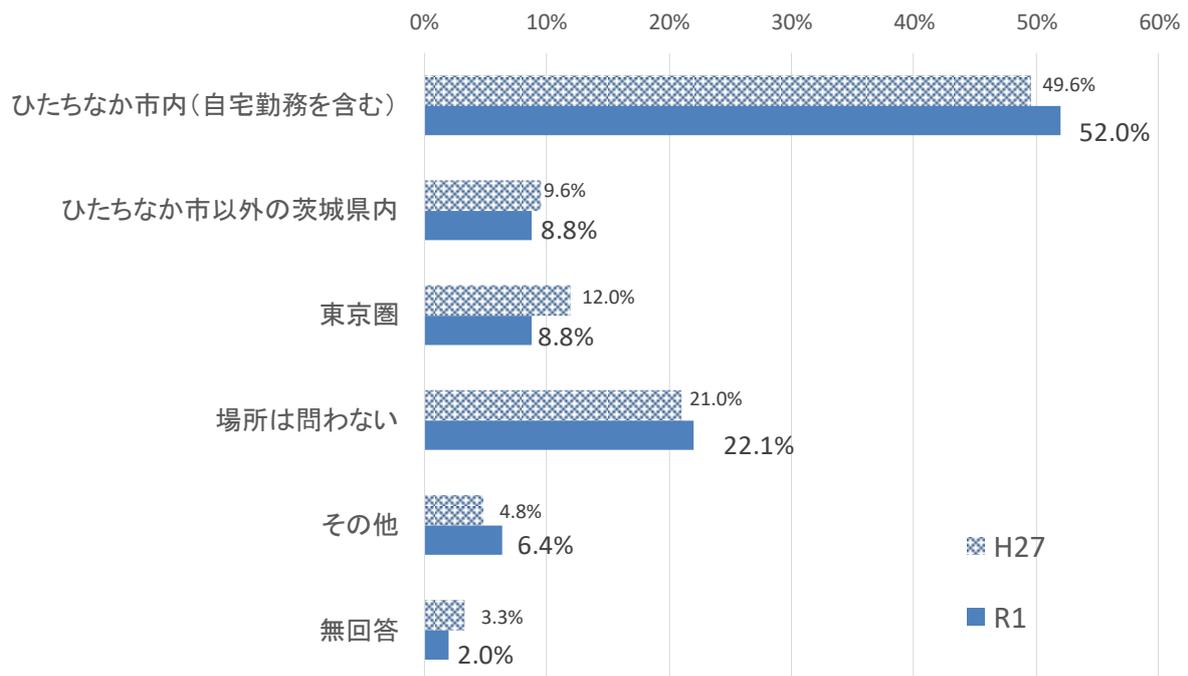
%	正規の職員・従業員	契約社員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト	自営業（経営者）	内職	その他	就業形態は問わない	無回答
総数	53.9%	6.4%	1.5%	32.8%	3.4%	4.9%	0.0%	4.4%	8.3%
18～24歳	86.0%	4.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	10.0%
25～29歳	33.3%	13.3%	0.0%	33.3%	6.7%	6.7%	0.0%	13.3%	6.7%
30～34歳	26.3%	13.2%	2.6%	55.3%	5.3%	13.2%	0.0%	7.9%	7.9%
35～39歳	17.0%	4.3%	4.3%	83.0%	2.1%	8.5%	0.0%	0.0%	6.4%
40歳以上	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

- ・「18～24歳」では「正規の職員・従業員」が最も多く回答されている。「25～29歳」では「正規の職員・従業員」と「パート・アルバイト」が最多、「30～34歳」では「パート・アルバイト」が、「35歳～39歳」でも「パート・アルバイト」が最も回答されている。

**問 11-7 就労する場合の希望勤務地はどちらですか。[1つに〇]**

- 「ひたちなか市内（自宅勤務を含む）」が52.0%で最も多く、「場所は問わない」が22.1%で続いている。「ひたちなか市以外の茨城県内」は8.8%となっている。
- 『その他』の回答では、「ひたちなか市から30分以内で通える範囲」、「ひたちなか市近隣の市町村」等の意見がみられた。
- 前回調査（H27）との比較では、「ひたちなか市内（自宅勤務を含む）」を希望する回答割合が増加している。

総数	204	100.0%
ひたちなか市内(自宅勤務を含む)	106	52.0%
ひたちなか市以外の茨城県内	18	8.8%
東京圏	18	8.8%
場所は問わない	45	22.1%
その他	13	6.4%
無回答	4	2.0%



【男女別の就労を希望する勤務地】

%	ひたちなか 市内(自宅勤 務を含む)	ひたちなか 市以外の茨 城県内	東京圏	その他	場所は問わ ない	無回答
総数	52.0%	8.8%	8.8%	6.4%	22.1%	2.0%
男性	35.7%	7.1%	8.9%	10.7%	35.7%	1.8%
女性	58.1%	9.5%	8.8%	4.7%	16.9%	2.0%

- 男性は「ひたちなか市内（自宅勤務を含む）」、「場所は問わない」がともに 35.7%で最多となっており、女性では「ひたちなか市内（自宅勤務を含む）」が 58.1%で最多となっている。

【年齢別の就労を希望する勤務地】

%	ひたちなか 市内(自宅勤 務を含む)	ひたちなか 市以外の茨 城県内	東京圏	その他	場所は問わ ない	無回答
総数	52.0%	8.8%	8.8%	6.4%	22.1%	2.0%
18～24歳	22.0%	14.0%	18.0%	10.0%	36.0%	0.0%
25～29歳	66.7%	6.7%	0.0%	6.7%	20.0%	0.0%
30～34歳	76.3%	5.3%	0.0%	2.6%	10.5%	5.3%
35～39歳	87.2%	2.1%	0.0%	2.1%	4.3%	4.3%
40歳以上	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

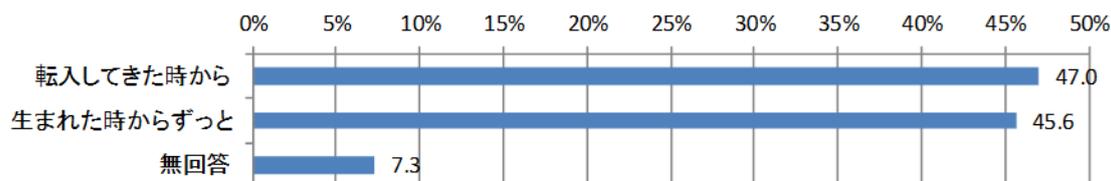
- 「18～24歳」では「場所は問わない」が 36.0%で最も多く回答されている。「25～29歳」, 「30～34歳」, 「35歳～39歳」では「ひたちなか市内（自宅勤務を含む）」がそれぞれ最多となっている。

#### (4) 定住意向などについて

##### 問 12 あなたはいつからひたちなか市にお住まいですか。[1つに〇]

- ・「転入してきた時から」が47.0%、「生まれた時からずっと」が45.6%となっている。

総数	793	100.0%
転入してきた時から	373	47.0%
生まれた時からずっと	362	45.6%
無回答	58	7.3%

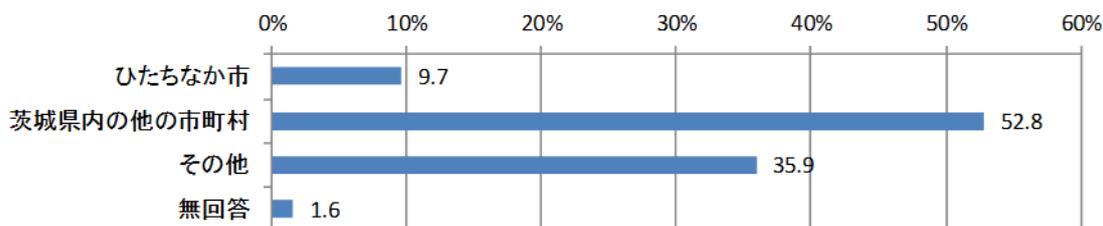


##### 【問 12-1, 12-2 は問 12 で「1. 転入してきた時から」と回答した方が対象】

##### 問 12-1 あなたの生まれはどちらですか。[1つに〇]

- ・「ひたちなか市」は9.7%、「茨城県内の他の市町村」が52.8%となっている。
- ・「茨城県内の他の市町村」の回答では、「水戸市」が64件で最も多く、「日立市」が54件で続いている。
- ・『その他』の回答では、「東京都」、「埼玉県」との回答が18件で最も多く、福島県が12件で続いている。

総数	373	100.0%
ひたちなか市	36	9.7%
茨城県内の他の市町村	197	52.8%
その他	134	35.9%
無回答	6	1.6%



##### 【茨城県内の他の市町村の回答内容】

回答内容	回答数
水戸市	64
日立市	54
常陸太田市	12
東海村	10
笠間市	9
那珂市	8

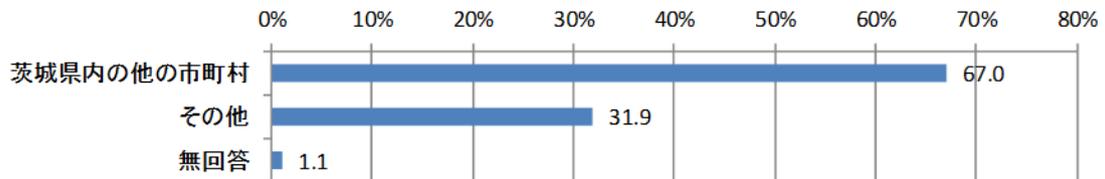
##### 【その他の回答内容】

回答内容	回答数
東京または東京都	18
埼玉または埼玉県	18
福島または福島県	12
栃木または栃木県	10
千葉または千葉県	7
神奈川または神奈川県	7

**問 12-2 転入前の住所地はどちらですか。[1つに〇]**

- 転入前の所在地では「茨城県内の他の市町村」が67.0%で最も多くなっている。
- 「茨城県内の他の市町村」の回答では、「水戸市」が79件で最も多く、「日立市」が65件で続いている。
- 『その他』の回答では、「東京」または「東京都」との回答数が28件で最も多く、埼玉県、千葉県が共に14件で続いている。

総数	373	100.0%
茨城県内の他の市町村	250	67.0%
その他	119	31.9%
無回答	4	1.1%



**【茨城県内の他の市町村の回答内容】**

回答内容	回答数
水戸市	79
日立市	65
那珂市	23
東海村	22
常陸太田市	12

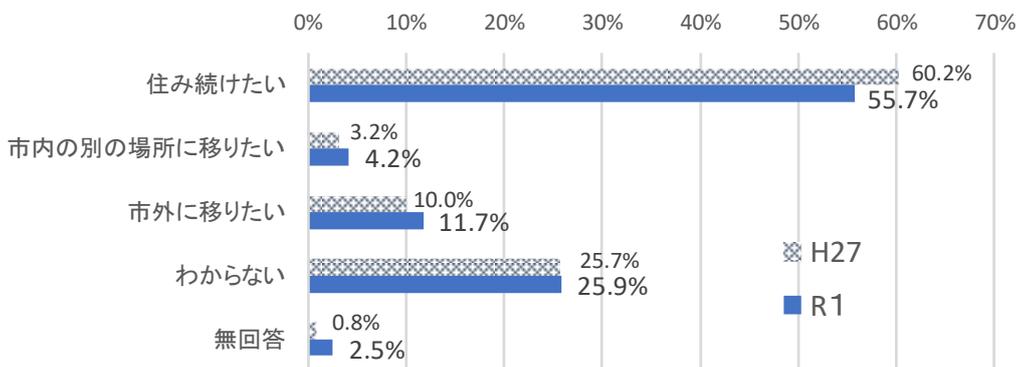
**【その他の回答内容】**

回答内容	回答数
東京または東京都	28
埼玉または埼玉県	14
千葉または千葉県	14
神奈川または神奈川県	12
栃木または栃木県	12

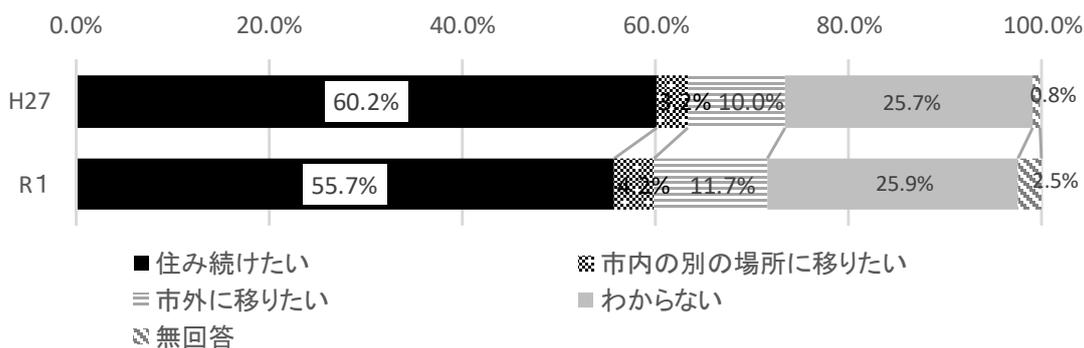
問 13 あなたは、これからもひたちなか市に住み続けたいと思いますか。[1つに〇]

- ひたちなか市への定住意向では、「住み続けたい」が55.7%ともっとも多いが、前回調査（H27）と比べ4.5%低くなっている。他の項目についてはほぼ変化していない。
- 市への誇りや愛着を「とても感じる」と回答した方の82.0%が「住み続けたい」と回答しており、「感じる」と回答した方も65.6%が「住み続けたい」と回答している。一方で「どちらともいえない」や「あまり感じない」と回答した方は、「住み続けたい」との回答割合が少なくなっており、市への誇りや愛着を感じるほど定住への意向が高くなっている。

総数	793	100.0%
住み続けたい	442	55.7%
市内の別の場所に移りたい	33	4.2%
市外に移りたい	93	11.7%
わからない	205	25.9%
無回答	20	2.5%



【前回調査（H27）との比較】



【定住への意向別の NPS スコア】

項目	NPS スコア	定住意向（問 13 の回答）別 NPS スコアの算出			
		住み続けた い(n=442)	市内の別の 場所に移り たい(n=33)	市外に移り たい(n=93)	わからない (n=205)
1. 全般的によいまちである こと	-18.2	2.0	-30.3	-49.5	-45.9
2. 買い物・遊びなどで訪れ ること	-40.2	-26.7	-33.3	-60.2	-61.0
3. 住むこと	-14.8	7.7	-24.2	-52.7	-42.9
4. 働くこと	-50.1	-36.4	-42.4	-75.3	-69.3
5. 子育てすること	-48.4	-37.1	-57.6	-67.7	-63.9
6. 仕事後の時間を楽しむこ と	-66.5	-57.5	-81.8	-86.0	-75.1
7. いろいろな人と交友を深 めること	-67.6	-59.7	-75.8	-83.9	-77.6
8. 趣味や教養を深めること	-68.6	-61.3	-78.8	-81.7	-77.6
9. デートすること	-68.0	-59.3	-69.7	-80.7	-81.0

- 定住に関する意向別に、ひたちなか市の各項目に対する推奨度である NPS を算出すると、「住み続けたい」と回答した人は NPS の数値が高くなっており、定住の意向を持つ人はひたちなか市をよりおすすめすることがわかる。

【市への誇りや愛着の回答（問7）別の定住意向に対する回答割合】

%	住み続けたい	市内の別の場所に移りたい	市外に移りたい	わからない	無回答
総数	55.7%	4.2%	11.7%	25.9%	2.5%
とても感じる	82.0%	1.0%	8.0%	5.0%	4.0%
感じる	65.6%	5.1%	7.2%	21.0%	1.0%
どちらともいえない	39.4%	4.5%	12.1%	40.9%	3.0%
あまり感じない	28.2%	2.8%	28.2%	32.4%	8.5%
まったく感じない	11.1%	3.7%	48.1%	37.0%	0.0%
無回答	42.9%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%

【性別・年齢別・居住歴別の定住意向（クロス分析）について】

【性別の定住意向】

%	住み続けたい	市内の別の場所に移りたい	市外に移りたい	わからない	無回答
総数	55.7%	4.2%	11.7%	25.9%	2.5%
男性	61.2%	5.0%	9.7%	23.0%	1.1%
女性	51.2%	3.5%	13.5%	28.1%	3.7%
無回答	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

- ・男性のひたちなか市へ「住み続けたい」との回答は、61.2%で女性よりも高くなっており、市外への転出の希望も女性で割合が高くなっている。

【年齢別の定住意向】

%	住み続けたい	市内の別の場所に移りたい	市外に移りたい	わからない	無回答
総数	55.7%	4.2%	11.7%	25.9%	2.5%
18～24歳	40.5%	4.2%	17.9%	34.2%	3.2%
25～29歳	55.8%	5.0%	10.0%	26.7%	2.5%
30～34歳	64.2%	5.2%	10.4%	18.1%	2.1%
35～39歳	59.8%	3.1%	9.4%	25.0%	2.7%
40歳以上	63.0%	3.7%	7.4%	25.9%	0.0%
無回答	57.1%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%

- ・年齢別の結果では、ひたちなか市へ「住み続けたい」との回答は、「30～34歳」で64.2%と最も高くなっている。一方で市外への転出を希望する割合が最も多いのは「18歳～24歳」である。

【居住歴別の定住意向】

%	住み続けたい	市内の別の場所に移りたい	市外に移りたい	わからない	無回答
総数	55.7%	4.2%	11.7%	25.9%	2.5%
3～5年未満	52.0%	2.7%	20.0%	22.7%	2.7%
5～10年未満	53.4%	4.6%	14.5%	22.9%	4.6%
10～20年未満	53.5%	5.3%	15.5%	24.6%	1.1%
20～30年未満	51.1%	2.7%	9.8%	33.3%	3.1%
30年以上	68.2%	5.3%	4.7%	20.6%	1.2%
無回答	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%

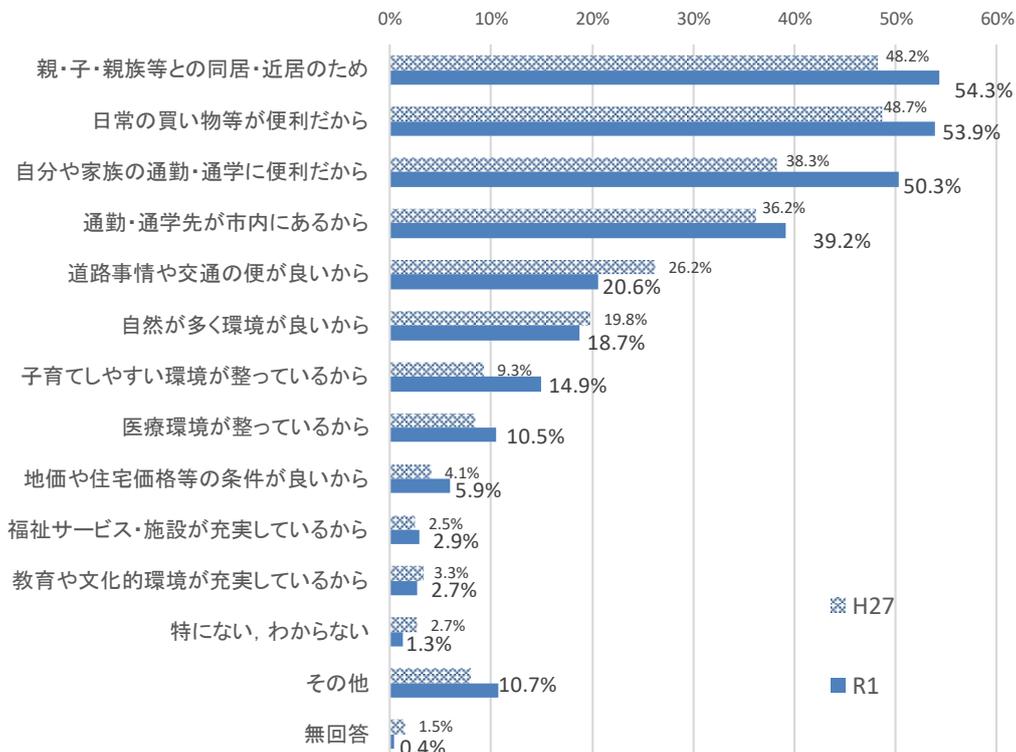
- ・居住歴別の結果では、「30年以上」で「住み続けたい」の回答割合が最も大きくなっているが、その他の居住歴では大きな差はない。

【問 13 で「1.住み続けたい」「2.市内の別の場所に移りたい」と回答した方が対象】

問 13-1 市内に住み続けたいと思う理由についてお答えください。[あてはまるものすべてに〇]

- 市内に住み続けたいと思う理由では、「親・子・親族等との同居・近居のため」が最も回答されており、全体の 54.3%が選択している。「日常の買い物等が便利だから」が 53.9%、「自分や家族の通勤・通学に便利だから」が 50.3%で続いている。
- 『その他』の回答では、「家を建てたから」、「持ち家だから」等の住居に関する回答が多く挙がっていた。その他には、「ひたちなか市が好きだから」、「なんとなく愛着がある」等もみられた。
- 前回調査（H27）との比較では、「道路事情や交通の便が良いから」を選択する方が減少しており、他の選択肢は概ね回答割合が増加しており、住み続けたい理由も多様化している。

理由	人数	割合
総数	475	100.0%
親・子・親族等との同居・近居のため	258	54.3%
日常の買い物等が便利だから	256	53.9%
自分や家族の通勤・通学に便利だから	239	50.3%
通勤・通学先が市内にあるから	186	39.2%
道路事情や交通の便が良いから	98	20.6%
自然が多く環境が良いから	89	18.7%
子育てしやすい環境が整っているから	71	14.9%
医療環境が整っているから	50	10.5%
地価や住宅価格等の条件が良いから	28	5.9%
福祉サービス・施設が充実しているから	14	2.9%
教育や文化的環境が充実しているから	13	2.7%
特にない、わからない	6	1.3%
その他	51	10.7%
無回答	2	0.4%

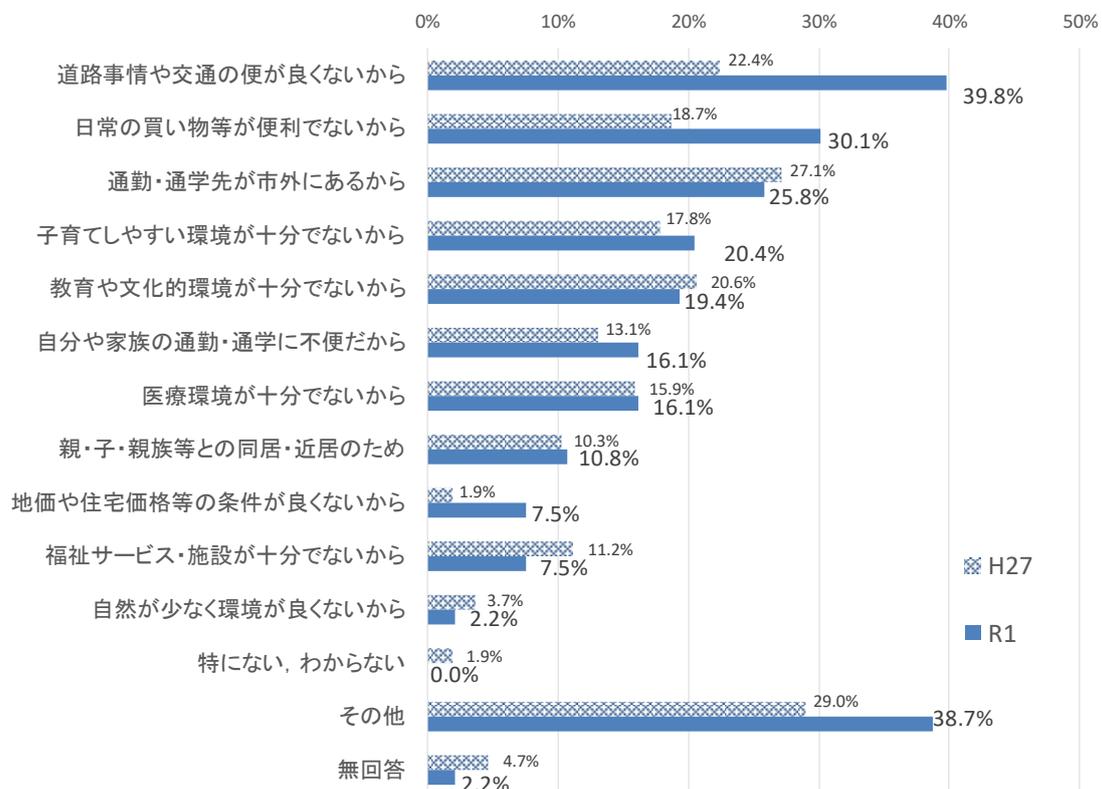


【問 13-2, 13-3 は問 13 で「3. 市外に移りたい」と回答した方が対象】

問 13-2 市外に移りたいと思う理由についてお答えください。[あてはまるものすべてに○]

- 「道路事情や交通の便が良くないから」が 39.8% で最も多くなっており、「日常の買い物等が便利でないから」が 30.1% , 「通勤・通学先が市外にあるから」が 25.8% で続いている。
- 『その他』の回答では、「魅力をあまり感じない」、「公共交通機関があまりに少ないから」、「原発が近い」等が挙げられている。
- 前回調査（H27）と比較し、「道路事情や交通の便が良くないから」、「日常の買い物等が便利でないから」を選択する方が大きく増加している。

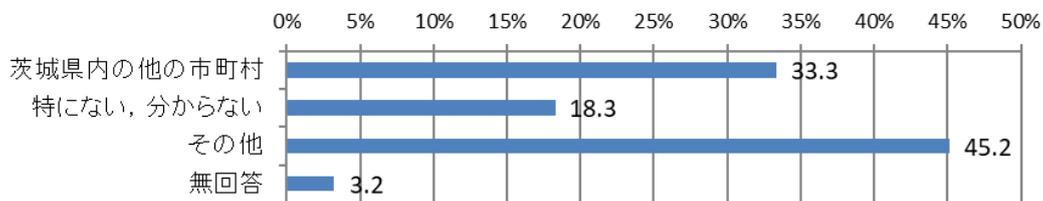
理由	人数	割合
総数	93	100.0%
道路事情や交通の便が良くないから	37	39.8%
日常の買い物等が便利でないから	28	30.1%
通勤・通学先が市外にあるから	24	25.8%
子育てしやすい環境が十分でないから	19	20.4%
教育や文化的環境が十分でないから	18	19.4%
自分や家族の通勤・通学に不便だから	15	16.1%
医療環境が十分でないから	15	16.1%
親・子・親族等との同居・近居のため	10	10.8%
地価や住宅価格等の条件が良くないから	7	7.5%
福祉サービス・施設が十分でないから	7	7.5%
自然が少なく環境が良くないから	2	2.2%
特にない, わからない	0	0.0%
その他	36	38.7%
無回答	2	2.2%



問 13-3 あなたが将来的に住みたいまちはどこですか。あてはまるもの1つに○をつけ、その理由についても下欄にご記入ください。

- 将来的に住みたいまちについて、「茨城県内の他の市町村」が 33.3%で主につくば市や水戸市と回答する人が多くなっている。『その他』は 45.2%となっている。
- 『その他』の回答では、「東京都」、「神奈川県」等の回答が多くなっている。

総数	93	100.0%
茨城県内の他の市町村	31	33.3%
特にない, 分からない	17	18.3%
その他	42	45.2%
無回答	3	3.2%



【主な茨城県内の他の市町村の回答数とその理由】

市町村名	回答数	住みたいと思う理由
つくば市	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 都内にアクセスしやすい</li> <li>• 交通の便が良さそうだから</li> <li>• 都内にもアクセスが良く、町が綺麗だし、美味しいものもいっぱいあるし</li> <li>• 都心にも近く、遊ぶところもたくさんあって良いので</li> <li>• 仕事がある。商業施設が充実している</li> <li>• 水戸よりも発展している</li> <li>• 東京へ行きやすい（つくばT x）</li> </ul> 等
水戸市	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バスなど移動がしやすく病院や買い物等行きやすいから。子どもが遊べる公園もたくさんあるから</li> <li>• 子どもを私学へと考えているが、通学の利便性を考えると、学校がある水戸市内の方が、負担が少ないと思うから</li> <li>• 事務の仕事を探しやすい</li> <li>• 県庁所在地なので県庁付近は廃れなそう</li> </ul> 等
常陸大宮市	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育てに良いところ（常陸大宮）と聞いた</li> <li>• 店が近い。沢山ある。便利</li> </ul> 等
那珂市	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分達の条件にあう家がひたちなか市内になかったため</li> <li>• 自分の実家が近い。土地が安い。待機児童がひたちなかよりは少ない</li> </ul> 等
東海村	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育に熱心だと良く聞く。ひたちなか市の近くだけど、自然が多くて大好き</li> <li>• 税金が安い。インフルエンザの予防接種や村の健康診断が0円</li> </ul> 等

【主な茨城県外の他の都道府県の回答数とその理由】

都道府県	回答数	住みたいと思う理由
東京都	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年住んできて、便利だったから。車社会じゃないから。仕事の選択肢が多いから。活気があるから</li> <li>・今までひたちなかで生きてきて、田舎者だから東京に行って都会の生き方を学びたい（人生経験のため）</li> <li>・会社の本社が新宿にあり、将来的には本社内勤業務に携わりたいので</li> <li>・子どもの遊べる場所がたくさんあるから</li> <li>・専門職を希望しており、講習など勉強の機会や専門スタッフの求人等考え、首都圏の方が利便性が高いと思うので</li> <li>・流行の最先端の東京に憧れがある。お洒落なお店、遊べるスポットが多い 等</li> </ul>
神奈川県	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光スポットやフランチャイズ以外の店が多いから</li> <li>・色々な施設がいっぱいあって楽しいから</li> <li>・今の職業を続けていくのに非常に魅力的な制度、サービスが整っており、そちらに移り住んで仕事をしたいと考えているため</li> <li>・電車・バス等交通機関が発達しているから。買い物したい店が近くにある</li> <li>・緑（自然）も多いし、町も綺麗 等</li> </ul>
埼玉県	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元が無いものが揃っているから</li> <li>・交通の便がよい（電車の本数が多い）。都会に出やすい 等</li> </ul>
千葉県	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディズニーランドが好きだからディズニーがある千葉に住みたい</li> <li>・交通手段が充実し、商業施設も数多くあるため 等</li> </ul>
福岡県	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物等の便が良い。ひたちなかに魅力を感じない</li> <li>・街がコンパクトなのに活気があり都会的、バス電車が充実（年をとって運転したくないのでここ重要）、都会なのに物価安い。何でも手に入る。勢いがあるまち、商店街（小さなまちの）も活気ある 等</li> </ul>
北海道	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道大学に見学に行った際、札幌という町にとっても魅力を感じ、余生を過ごしたいと感じたから 等</li> </ul>

問 14 あなたの現在のお住まいの形態と、将来的に希望する住まいの形態について、あてはまるものをそれぞれ次の中からお選びください。[1つに〇]

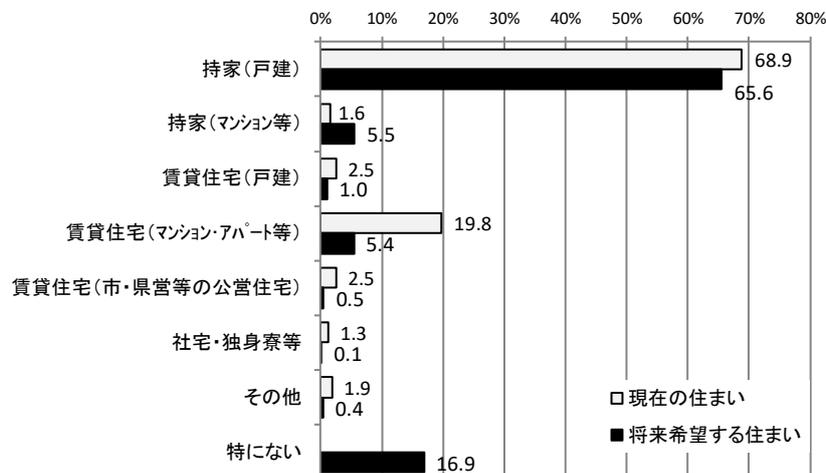
- 現在の住まいの形態では「持家（戸建）」が68.9%で最も多く、「賃貸住宅（マンション・アパート等）」が19.8%で次点となっている。
- 将来希望する住まいの形態では、「持家（戸建）」が65.6%と最も多く、「特にない」が16.9%で次点となっている。
- 現在の住まいの『その他』の回答では、「親の家」や「駐屯地」等が、将来希望する住まいの『その他』の回答では「グループホームなど」等の回答が見られた。

【現在の住まいの形態】

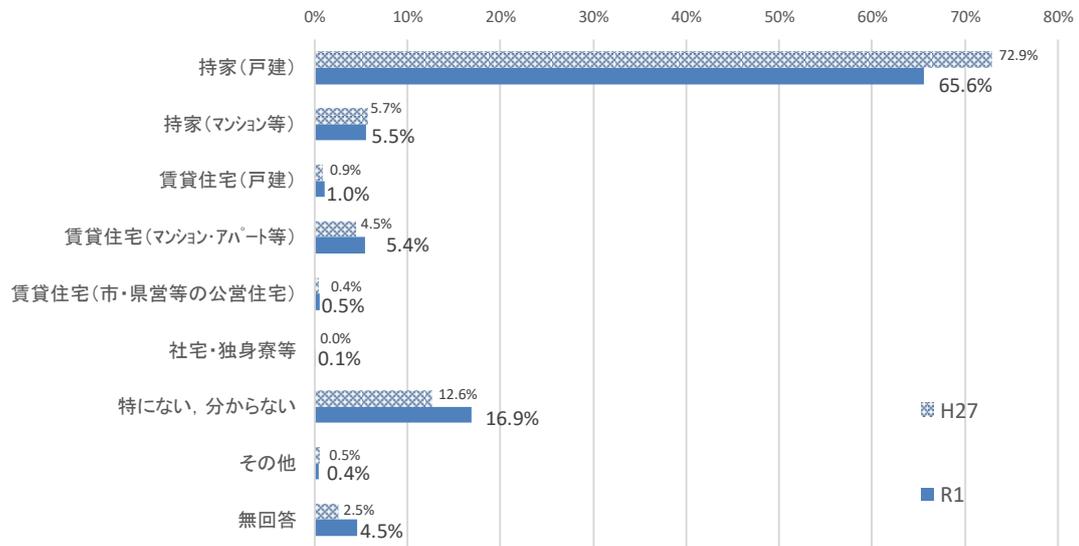
総数	793	100.0%
持家(戸建)	546	68.9%
持家(マンション等)	13	1.6%
賃貸住宅(戸建)	20	2.5%
賃貸住宅(マンション・アパート等)	157	19.8%
賃貸住宅(市・県営等の公営住宅)	20	2.5%
社宅・独身寮等	10	1.3%
その他	15	1.9%
無回答	12	1.5%

【将来的に希望する住まいの形態】

総数	793	100.0%
持家(戸建)	520	65.6%
持家(マンション等)	44	5.5%
賃貸住宅(戸建)	8	1.0%
賃貸住宅(マンション・アパート等)	43	5.4%
賃貸住宅(市・県営等の公営住宅)	4	0.5%
社宅・独身寮等	1	0.1%
特にない, 分からない	134	16.9%
その他	3	0.4%
無回答	36	4.5%



【将来的に希望する住まいの形態について前回調査（H27）と比較】



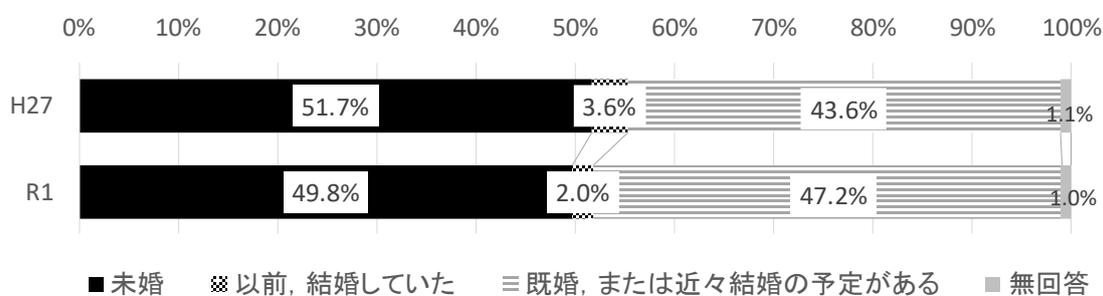
- 将来的に希望する住まいの形態について、前回調査（H27）に比べ「持ち家（戸建）」との回答が減少している。

## (5) 結婚・出産・子育ての状況、意識について

### 問 15 あなたは、結婚していますか。[1つに〇]

- ・「未婚」が 49.8%、「既婚、または近々結婚の予定がある」が 47.2%となっている。
- ・「未婚」の回答割合は男性が 52.1%であり、女性の 47.9%より高くなっている。
- ・年代別の回答結果では、「未婚」の回答割合は「25～29 歳」で 70.0%、「30～34 歳」で 31.6%、「35～39 歳」で 22.3%となっている。

	総数		
	793	100.0%	
未婚	395	49.8%	
以前、結婚していた	16	2.0%	
既婚、または近々結婚の予定がある	374	47.2%	
無回答	8	1.0%	



#### 【性別の回答結果】

	未婚	以前、結婚していた	既婚、または近々結婚の予定がある	無回答
%				
総数	49.8%	2.0%	47.2%	1.0%
男性	52.1%	1.1%	46.0%	0.8%
女性	47.9%	2.8%	48.1%	1.2%
無回答	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%

#### 【年代別の回答結果】

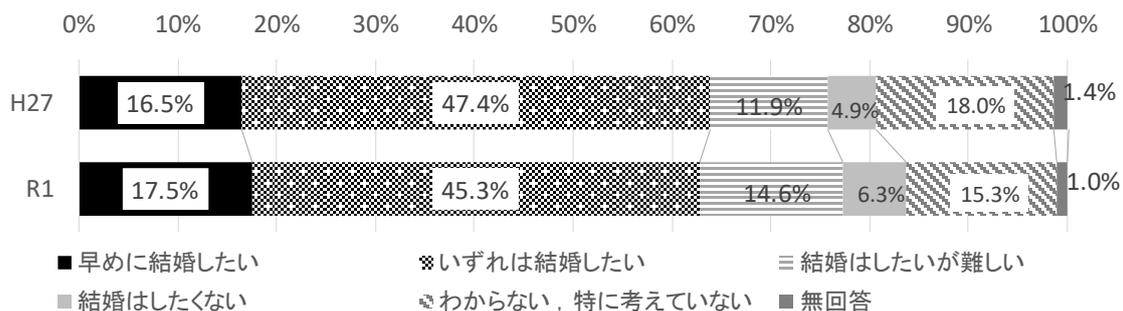
	未婚	以前、結婚していた	既婚、または近々結婚の予定がある	無回答
%				
総数	49.8%	2.0%	47.2%	1.0%
18～24歳	96.8%	0.0%	1.6%	1.6%
25～29歳	70.0%	0.8%	29.2%	0.0%
30～34歳	31.6%	4.7%	63.7%	0.0%
35～39歳	22.3%	2.0%	75.0%	0.8%

【問 15 で「1. 未婚」または「2. 以前、結婚していた」と回答した方が対象】

問 15-1 あなたは、今後結婚したいと思いますか。[1つに〇]

- 「いずれは結婚したい」が 45.3%で最も多く、「早めに結婚したい」が 17.5%、「わからない、特に考えていない」が 15.3%で続いている。
- 男女別の回答では、「早めに結婚したい」との回答は女性が多く、「結婚はしたいが難しい」は男性の方が多い結果となっている。
- 年齢別の結果では、「30～34 歳」で「結婚はしたいが難しい」との回答割合が最も多く 34.3%となっている。
- 前回調査（H27）と比べ、「結婚はしたいが難しい」が増加している。

総数	411	100.0%
早めに結婚したい	72	17.5%
いずれは結婚したい	186	45.3%
結婚はしたいが難しい	60	14.6%
結婚はしたくない	26	6.3%
わからない、特に考えていない	63	15.3%
無回答	4	1.0%



【性別の回答結果】

%	早めに結婚したい	いずれは結婚したい	結婚はしたいが難しい	結婚はしたくない	わからない、特に考えていない	無回答
総数	17.5%	45.3%	14.6%	6.3%	15.3%	1.0%
男性	13.0%	48.4%	17.2%	3.6%	16.1%	1.6%
女性	21.6%	42.2%	12.4%	8.7%	14.7%	0.5%

【年代別の回答結果】

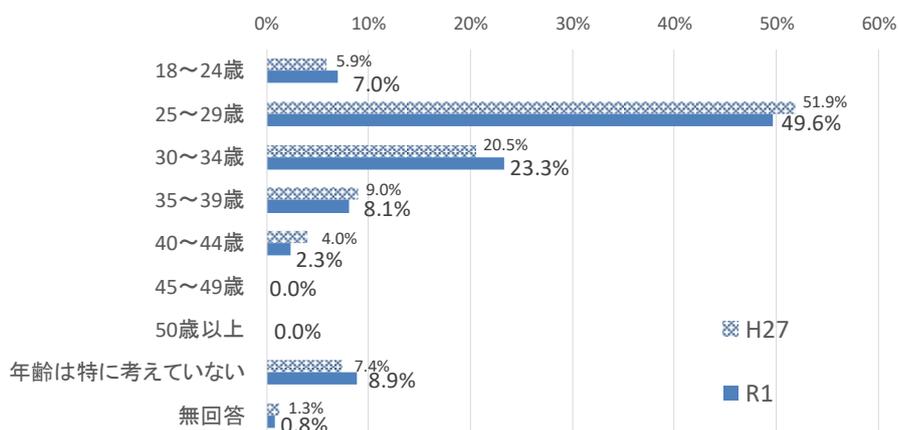
%	早めに結婚したい	いずれは結婚したい	結婚はしたいが難しい	結婚はしたくない	わからない、特に考えていない	無回答
総数	17.5%	45.3%	14.6%	6.3%	15.3%	1.0%
18～24歳	16.8%	56.5%	4.9%	5.4%	15.8%	0.5%
25～29歳	24.7%	38.8%	15.3%	7.1%	12.9%	1.2%
30～34歳	14.3%	34.3%	31.4%	5.7%	12.9%	1.4%
35～39歳	11.3%	32.3%	22.6%	9.7%	22.6%	1.6%

【問 15-1 で「1. 早めに結婚したい」または「2. いずれは結婚したい」と回答した方が対象】

**問 15-2 あなたは、何歳ぐらいで結婚したい（したかった）ですか。 [1つに〇]**

- 「25～29 歳」が 49.6%で最多となっており、「30～34 歳」が 23.3%で続いている。
- 男女ともに「25～29 歳」が最多となっており、30 歳以降では現在の年齢で結婚を望んでいる。
- 前回調査（H27）と比較すると、「30～34 歳」の回答が増加している。

年齢	総数	割合
18～24歳	18	7.0%
25～29歳	128	49.6%
30～34歳	60	23.3%
35～39歳	21	8.1%
40～44歳	6	2.3%
45～49歳	0	0.0%
50歳以上	0	0.0%
年齢は特に考えていない	23	8.9%
無回答	2	0.8%



【性別の回答結果】

	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	年齢は特に考えていない
総数	7.0%	49.6%	23.3%	8.1%	2.3%	0.0%	0.0%	8.9%
男性	2.5%	42.4%	28.8%	11.0%	5.1%	0.0%	0.0%	9.3%
女性	10.8%	56.1%	18.7%	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%

【年代別の回答結果】

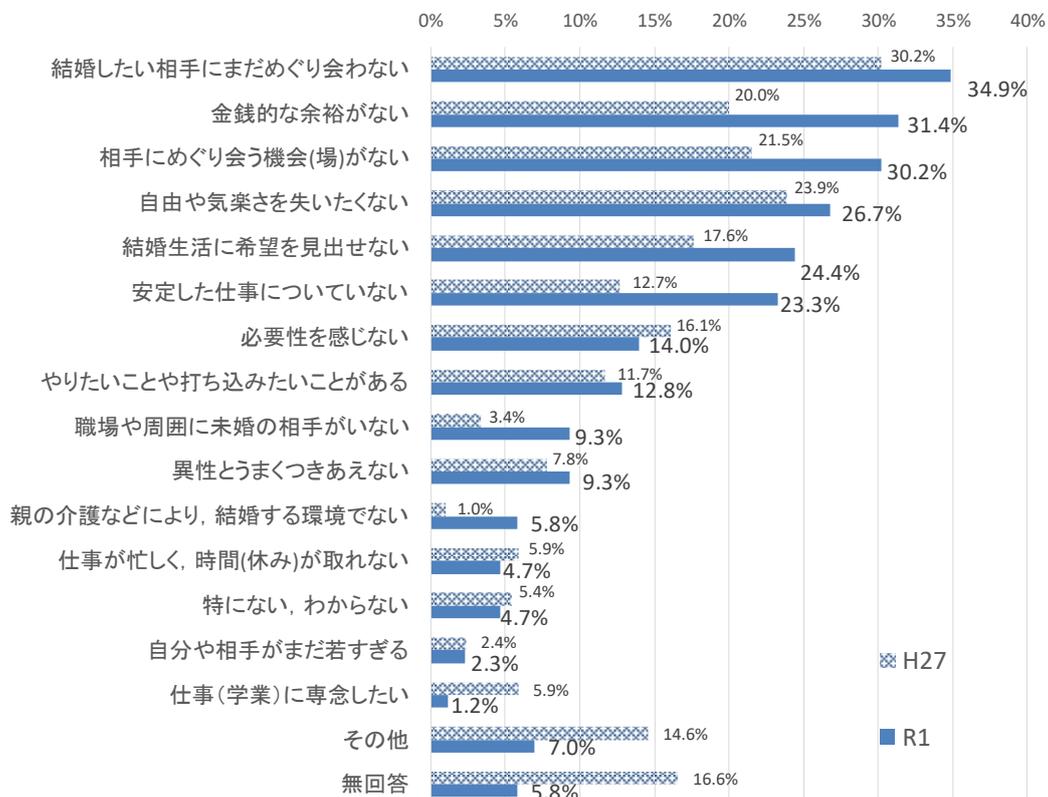
	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	年齢は特に考えていない
総数	7.0%	49.6%	23.3%	8.1%	2.3%	0.0%	0.0%	8.9%
18～24歳	11.1%	65.2%	12.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	9.6%
25～29歳	3.7%	53.7%	38.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
30～34歳	0.0%	14.7%	50.0%	26.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%
35～39歳	0.0%	14.8%	14.8%	40.7%	14.8%	0.0%	0.0%	14.8%

【問 15-1 で「3. 結婚はしたいが難しい」または「4. 結婚はしたくない」と回答した方が対象】

問 15-3 「結婚はしたいが難しい」または「結婚はしたくない」理由は何ですか。〔3つに〇〕

- 「結婚したい相手にまだめぐり合わない」が 34.9% で最も多く、「金銭的な余裕がない」が 31.4%、「相手にめぐり会う機会(場)がない」が 30.2% で続いている。
- 『その他』の回答では、「子どもがいるため」、「LGBT のため」等がみられる。
- 前回調査 (H27) との比較では、「金銭的な余裕がない」、「安定した仕事についていない」との回答割合が 10% 以上増加していた。

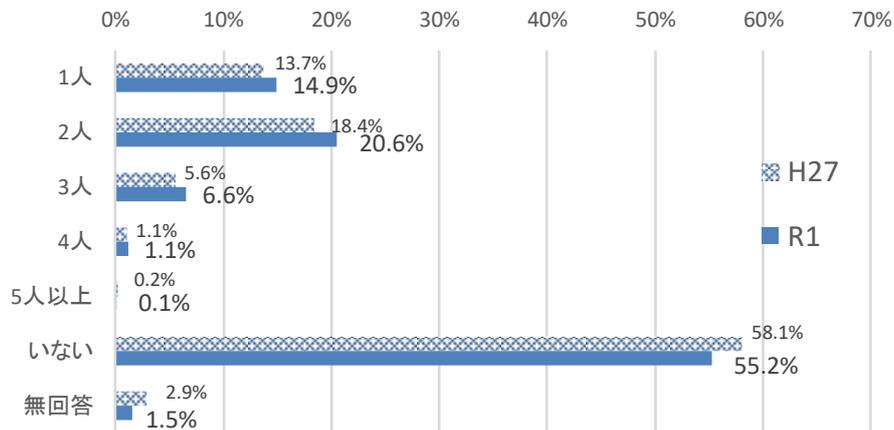
理由	人数	割合
総数	86	100.0%
結婚したい相手にまだめぐり合わない	30	34.9%
金銭的な余裕がない	27	31.4%
相手にめぐり会う機会(場)がない	26	30.2%
自由や気楽さを失いたくない	23	26.7%
結婚生活に希望を見出せない	21	24.4%
安定した仕事についていない	20	23.3%
必要性を感じない	12	14.0%
やりたいことや打ち込みたいことがある	11	12.8%
職場や周囲に未婚の相手がいらない	8	9.3%
異性とうまくつきあえない	8	9.3%
親の介護などにより、結婚する環境でない	5	5.8%
仕事が忙しく、時間(休み)が取れない	4	4.7%
特になし、わからない	4	4.7%
自分や相手がまだ若すぎる	2	2.3%
仕事(学業)に専念したい	1	1.2%
その他	6	7.0%
無回答	5	5.8%



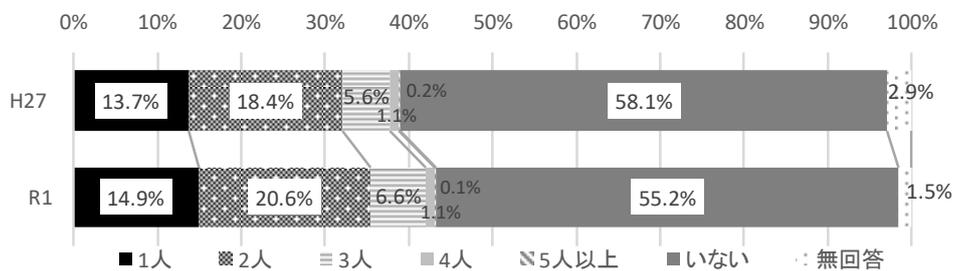
問 16 現在、あなたにはお子さんが何人いらっしゃいますか。[1つに〇]

- 現在の子どもの人数への回答は、「2人」が最も多く、20.6%となっている。
- 子どもがいると回答した方の子どもの数の平均人数は 1.87 となっており、前回調査（H27）と同じ数となっている。

総数	793	100.0%
1人	118	14.9%
2人	163	20.6%
3人	52	6.6%
4人	9	1.1%
5人以上	1	0.1%
いない	438	55.2%
無回答	12	1.5%



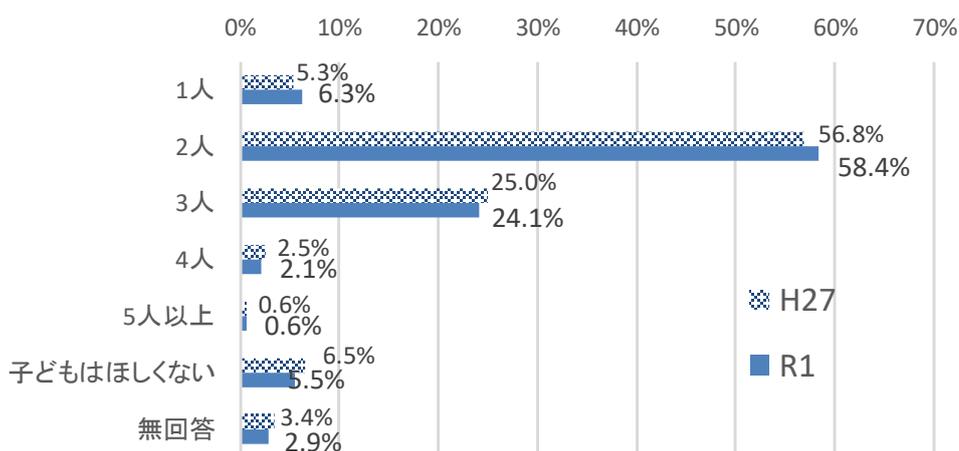
【前回調査（H27）との比較】



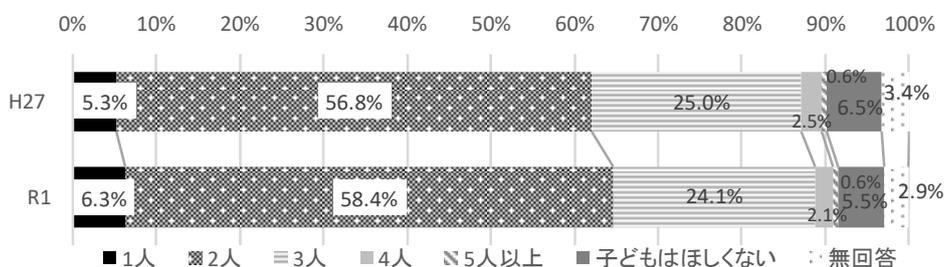
問 17 理想とする子どもの数は何人ですか。[1つに〇]

- 理想とする子どもの人数への回答は、「2人」が最も多く、58.4%となっている。前回調査(H27)と比べ、「1人」や「2人」の回答割合は増加し、「3人」、「4人」の回答割合は下がっている。

総数	793	100.0%
1人	50	6.3%
2人	463	58.4%
3人	191	24.1%
4人	17	2.1%
6人以上	5	0.6%
子どもはほしくない	44	5.5%
無回答	23	2.9%



【前回調査 (H27) との比較】



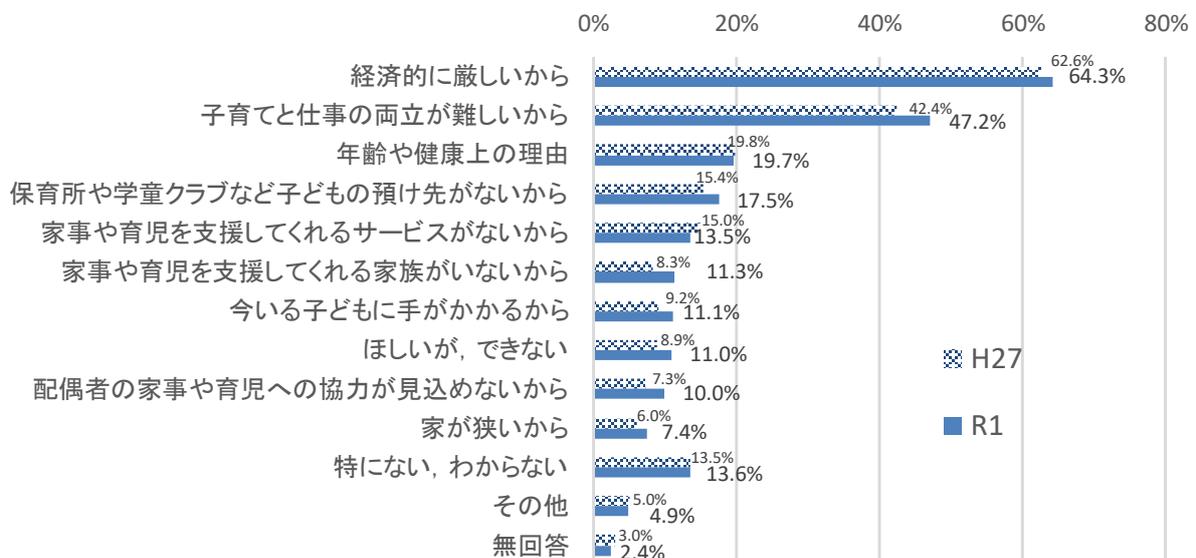
問 18 子どもを持つことの妨げになっている（なりそうな）ことは何だとお考えですか。

【あてはまるものすべてに○】

- 子どもを持つことの妨げになっている要因について、「経済的に厳しいから」が 64.3%で最も多くの方が選択しており、「子育てと仕事の両立が難しいから」が 47.2%、「年齢や健康上の理由」が 19.7%と続いている。
- 『その他』の回答では、「相手がいない」、「育て上げることが自分のできるのか不安」等が挙がっている。
- 前回調査（H27）との比較では、「家事や育児を支援してくれるサービスがないから」と「年齢や健康上の理由」と選択する人は減っており、それ以外の項目では選択する人が増えており、要因は多様化している。前回調査と比べ最も回答割合が増加していたのは「子育てと仕事の両立が難しいから」で 4.8%増加している。

総数	793	100.0%
経済的に厳しいから	510	64.3%
子育てと仕事の両立が難しいから	374	47.2%
年齢や健康上の理由	156	19.7%
保育所や学童クラブなど子どもの預け先がないから	139	17.5%
特にない、わからない	108	13.6%
家事や育児を支援してくれるサービスがないから	107	13.5%
家事や育児を支援してくれる家族がいないから	90	11.3%
今いる子どもに手がかかるから	88	11.1%
ほしいが、できない	87	11.0%
配偶者の家事や育児への協力が見込めないから	79	10.0%
家が狭いから	59	7.4%
その他	39	4.9%
無回答	19	2.4%

【前回調査（H27）との比較】

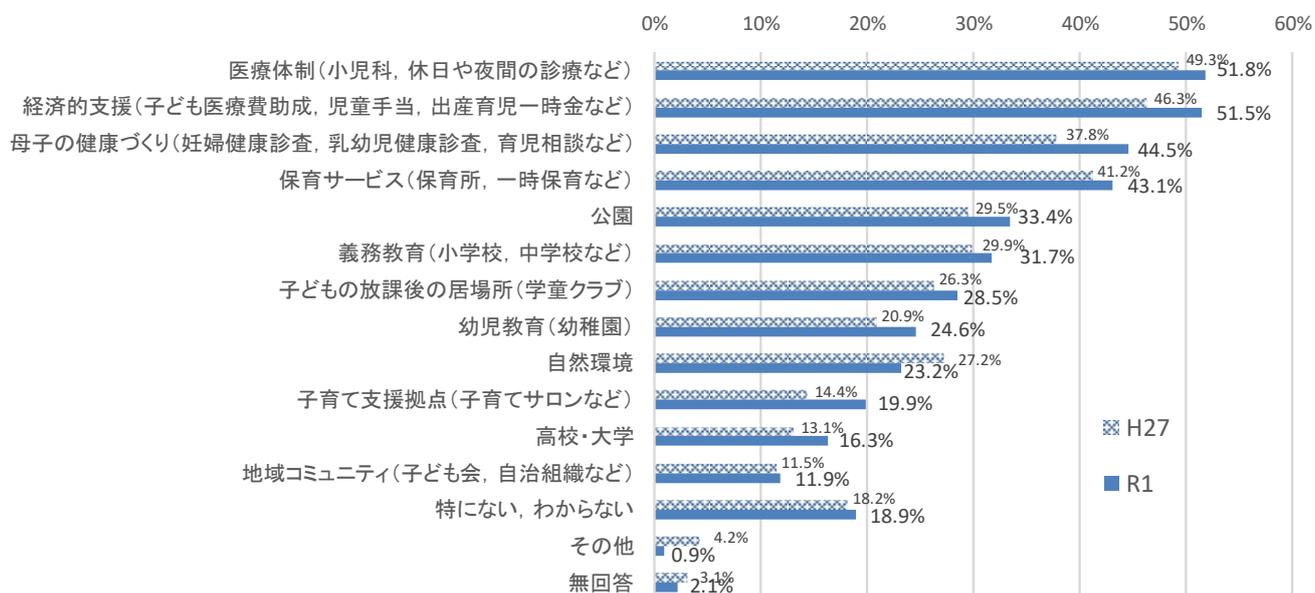


問 19 あなたは、ひたちなか市で子育てをするうえで、充実していると安心できることは何だとお考えですか。[あてはまるものすべてに○]

- ひたちなか市で子育てをするうえで、充実していると安心できることとして、「医療体制（小児科，休日や夜間の診療など）」が最も選択されており，51.8%となっている。続いて「経済的支援（子ども医療費助成，児童手当，出産育児一時金など）」が51.5%，「母子の健康づくり（妊婦健康診査，乳幼児健康診査，育児相談など）」が44.5%で続いている。
- 『その他』の回答では，「高校，大学など子どもでも年齢が大きくなってからの経済的支援」，「公園遊具の整備」等が挙がっている。
- 前回調査（H27）との比較では，「自然環境」を除く項目で回答割合が増加しており，「母子の健康づくり（妊婦健康診査，乳幼児健康診査，育児相談など）」が前回調査と比べ最も増加しており，6.7%増加している。

総数	793	100.0%
医療体制(小児科, 休日や夜間の診療など)	411	51.8%
経済的支援(子ども医療費助成, 児童手当, 出産育児一時金など)	408	51.5%
母子の健康づくり(妊婦健康診査, 乳幼児健康診査, 育児相談など)	353	44.5%
保育サービス(保育所, 一時保育など)	342	43.1%
公園	265	33.4%
義務教育(小学校, 中学校など)	251	31.7%
子どもの放課後の居場所(学童クラブ)	226	28.5%
幼児教育(幼稚園)	195	24.6%
自然環境	184	23.2%
子育て支援拠点(子育てサロンなど)	158	19.9%
特にない, わからない	150	18.9%
高校・大学	129	16.3%
地域コミュニティ(子ども会, 自治組織など)	94	11.9%
その他	7	0.9%
無回答	17	2.1%

【前回調査（H27）との比較】



【現在の子どもの数別の理想の子どもの数】

%	1人	2人	3人	4人	6人以上	子どもはほしくない	無回答
総数	6.3%	58.4%	24.1%	2.1%	0.6%	5.5%	2.9%
1人	11.9%	65.3%	17.8%	0.0%	0.0%	1.7%	3.4%
2人	0.0%	61.3%	36.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.6%
3人	0.0%	0.0%	80.8%	11.5%	3.8%	0.0%	3.8%
4人	0.0%	11.1%	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%
5人以上	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
いない	8.2%	65.1%	14.8%	0.7%	0.5%	9.6%	1.1%

- ・現在の子どもの数別に理想の子どもの数の回答割合をみると、現在子どもの数が「1人」の方は65.3%が理想の子どもの数は「2人」と回答している。現在の子どもの数が「2人」、「3人」と回答した方の場合は現在の数が理想との回答が最も多くなっている。

【既婚者における（婚姻）子どもを持つことの妨げになっていることについて】

%	経済的に厳しいから	子育てと仕事の両立が難しいから	今いる子どもに手がかかるから	年齢や健康上の理由	配偶者の家事や育児への協力が見込めないから	家事や育児を支援してくれる家族がいないから	家事や育児を支援してくれるサービスがないから	保育所や学童クラブなど子どもの預け先がないから	家が狭いから	ほしいが、できない	その他	特になし、わからない	無回答
総数	64.3%	47.2%	11.1%	19.7%	10.0%	11.3%	13.5%	17.5%	7.4%	11.0%	4.9%	13.6%	2.4%
既婚、または近々結婚の予定がある	68.2%	54.5%	21.1%	24.3%	13.9%	16.6%	14.7%	21.9%	11.2%	16.0%	4.3%	6.4%	1.3%

- ・「既婚者または、近々結婚の予定がある」の子どもを持つことの妨げになっていることとして、「経済的に厳しいから」、「子育てと仕事の両立が難しいから」が多く回答されている。

【既婚者における（婚姻）子育てをするうえで、充実していると安心できることについて】

%	母子の健康づくり（妊婦健康診査、乳幼児健康診査、育児相談など）	医療体制（小児科、休日や夜間の診療など）	保育サービス（保育所、一時保育など）	子育て支援拠点（子育てサロンなど）	経済的支援（子ども医療費助成、児童手当、出産育児一時金など）	幼児教育（幼稚園）	義務教育（小学校、中学校など）	高校・大学	地域コミュニティ（子ども会、自治組織など）	子どもの放課後の居場所（学童クラブ）	公園	自然環境	その他	特になし、わからない	無回答
総数	44.5%	51.8%	43.1%	19.9%	51.5%	24.6%	31.7%	16.3%	11.9%	28.5%	33.4%	23.2%	0.9%	18.9%	2.1%
既婚、または近々結婚の予定がある	53.7%	61.8%	50.0%	23.5%	63.6%	28.6%	35.6%	17.9%	11.0%	34.5%	42.5%	25.9%	1.3%	9.4%	0.0%

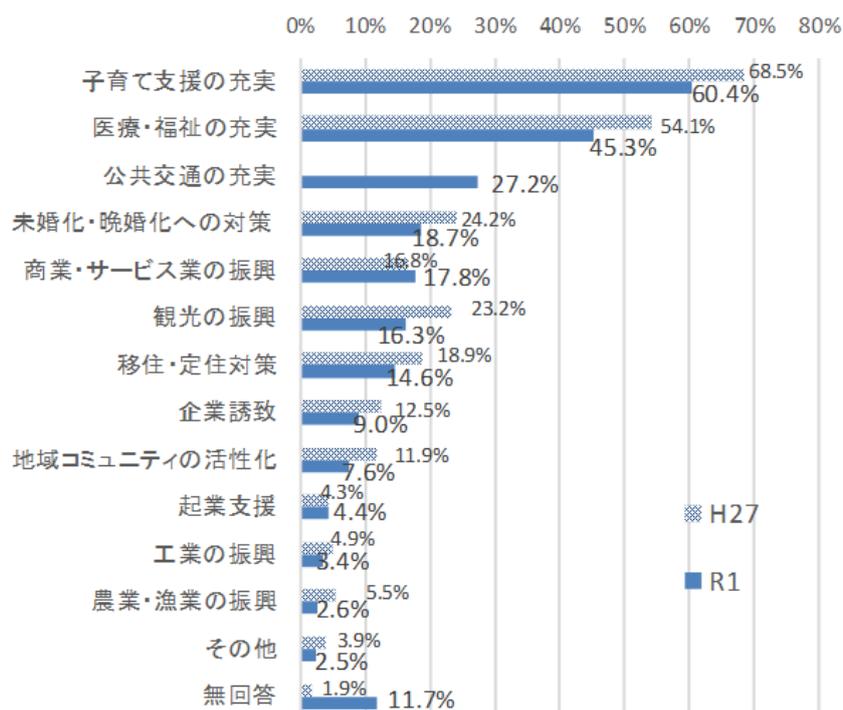
- ・「既婚者または、近々結婚の予定がある」の子育てをするうえで、充実していると安心できることとして、「経済的支援（子ども医療費助成、児童手当、出産育児一時金など）」、「医療体制（小児科、休日や夜間の診療など）」と6割以上の方が回答している。

## (6) 人口減少社会におけるまちづくりについて

問 20 人口減少社会を見据えた取り組みとして、ひたちなか市はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。〔3つまでに〇〕

- 人口減少社会を見据えた取り組みとして力を入れるべき施策として「子育て支援の充実」が最も選ばれており、60.4%が回答している。「医療・福祉の充実」が45.3%、「公共交通の充実」が27.2%で続いている。
- 前回調査（H27）と比べ選択肢に「公共交通の充実」が追加されており、各項目の回答割合は概ね低下している。
- 『その他』の回答では、「公園の遊具の整備」、「給食費の無料（助成）」等が挙がっていた。

施策	件数	割合
総数	793	100.0%
子育て支援の充実	479	60.4%
医療・福祉の充実	359	45.3%
公共交通の充実	216	27.2%
未婚化・晩婚化への対策	148	18.7%
商業・サービス業の振興	141	17.8%
観光の振興	129	16.3%
移住・定住対策	116	14.6%
企業誘致	71	9.0%
地域コミュニティの活性化	60	7.6%
起業支援	35	4.4%
工業の振興	27	3.4%
農業・漁業の振興	21	2.6%
その他	20	2.5%
無回答	93	11.7%



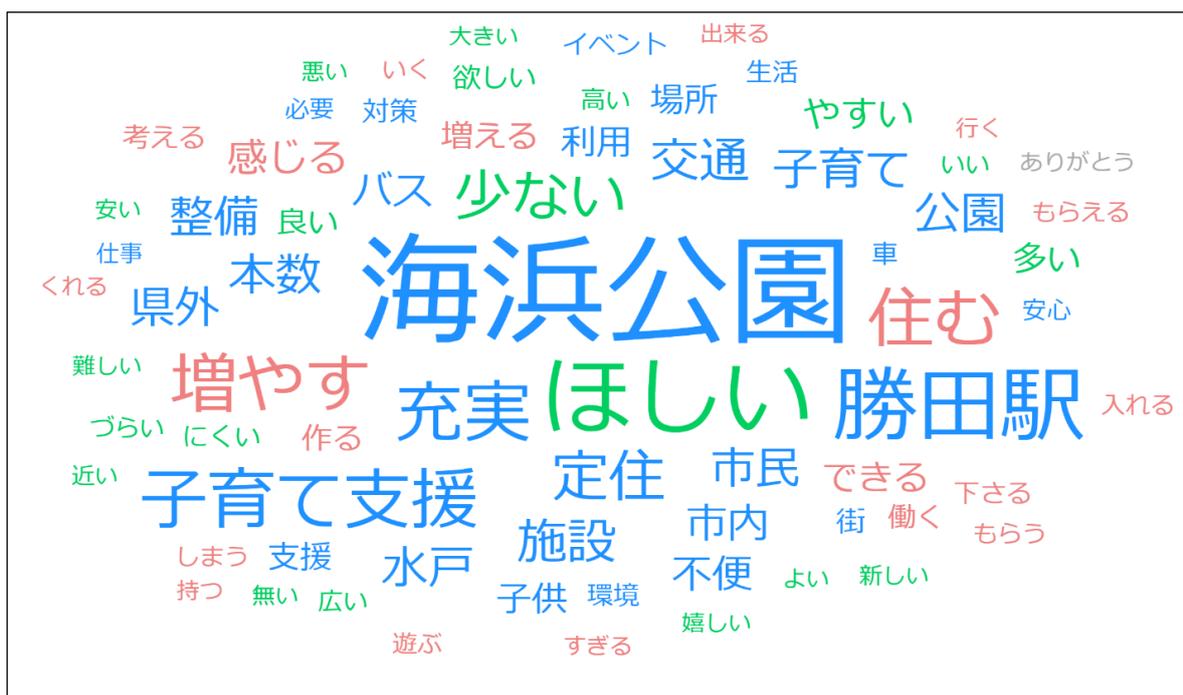
◇今後のひたちなか市のまちづくりに関するご意見やアイデアなどありましたら、自由にご記入ください。

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール（ <https://textmining.userlocal.jp/> ）により分析

■ワードクラウド

・「海浜公園」、「子育て支援」、「勝田駅」といったワードが出現している。



■単語出現度

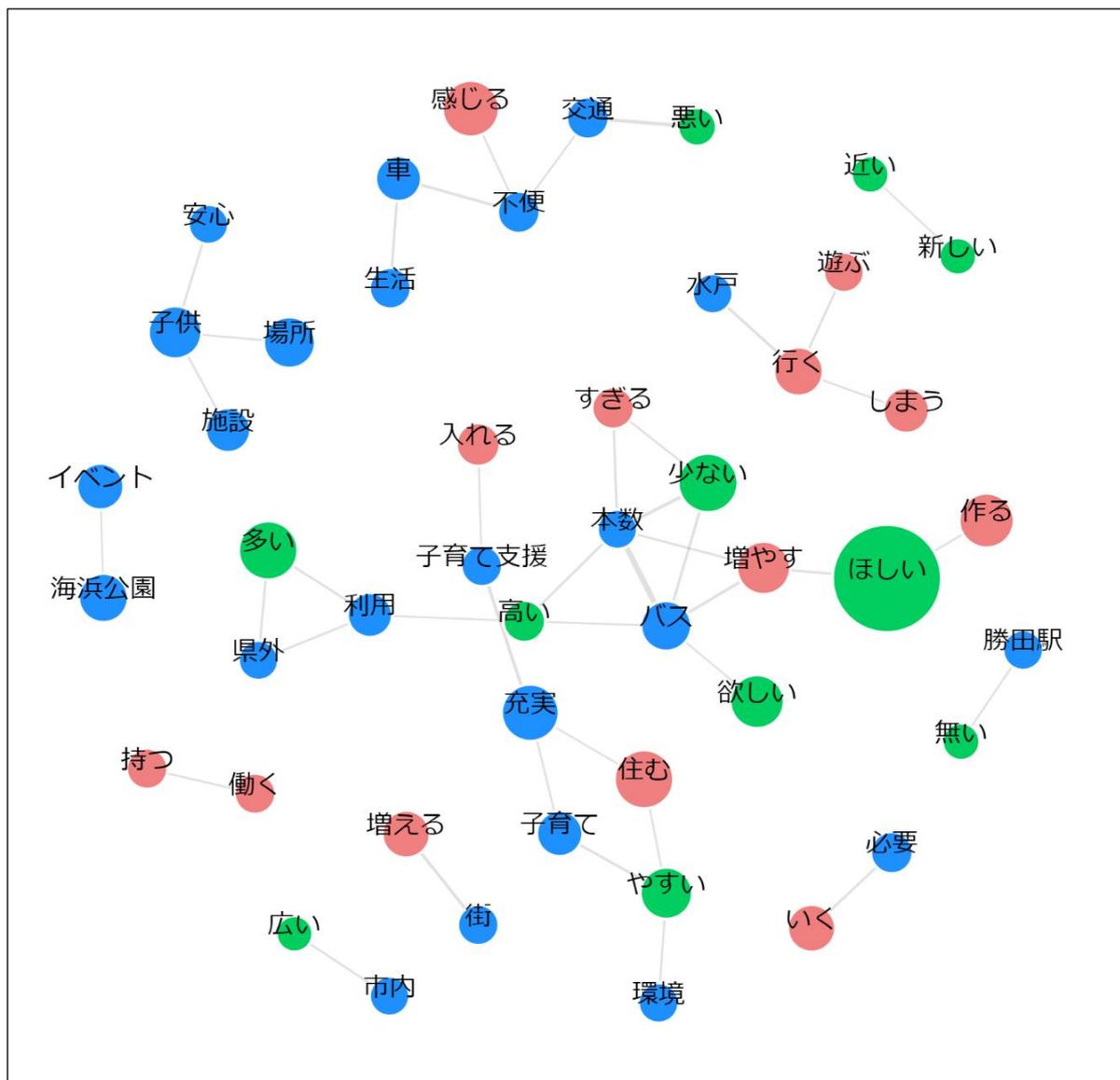
- ・「子ども」、「子育て」等の出現回数が多くなっている。
- ・その他に「充実」、「増やす」、等の単語の出現回数も多くなっている。

（一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語（※ほしい、できる、良い、少ない等））

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
充実	名詞	64	イベント	名詞	36
子ども	名詞	53	子育て	名詞	34
バス	名詞	46	公園	名詞	33
海浜公園	名詞	43	車	名詞	33
増やす	動詞	43	施設	名詞	31

### ■出現パターン

- ・出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「ほしい」は「増やす」や「バス」と、「充実」は「子育て」や「子育て支援」との関連が多い。
- ・また、「海浜公園」は「イベント」との関連が多く、「感じる」は「不便」や「車」、「交通」と関連して出現している傾向がある。



### ■自由記述分析結果まとめ

- “子育て支援の充実”や“子どもを安心して育てられる環境”等への意見が多い傾向がみられる。
- また、“海浜公園でのイベントの増加”や“バスの本数の増加”への要望もみられる。
- その他市への意見として、“勝田駅周辺に資源がない”，“遊ぶなら水戸へ行く”等の意見も多い傾向もあることがわかる。

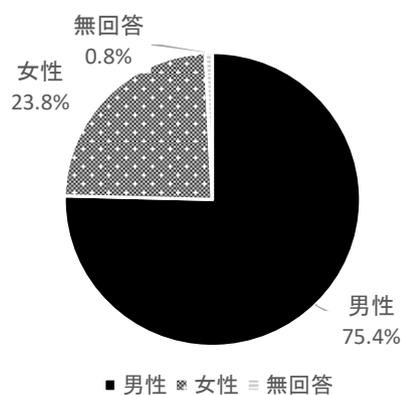
## 2. 転入に関する意識調査 調査結果

### (1) 回答者について

#### 問1 あなたの性別をお答えください。[1つに○]

- ・「男性」が75.4%、「女性」が23.8%となっている。

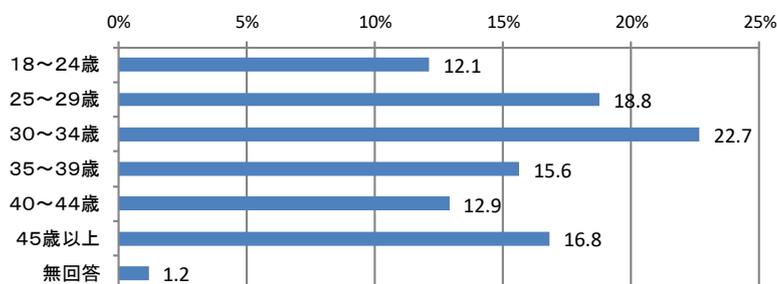
総数	256	100.0%
男性	193	75.4%
女性	61	23.8%
無回答	2	0.8%



#### 問2 あなたの年齢

- ・回答者の年齢は、「30～34歳」が22.7%で最も多く、「25～29歳」が18.8%、「45歳以上」が16.8%で続いている。
- ・回答者の平均年齢は、34.5歳となっている。

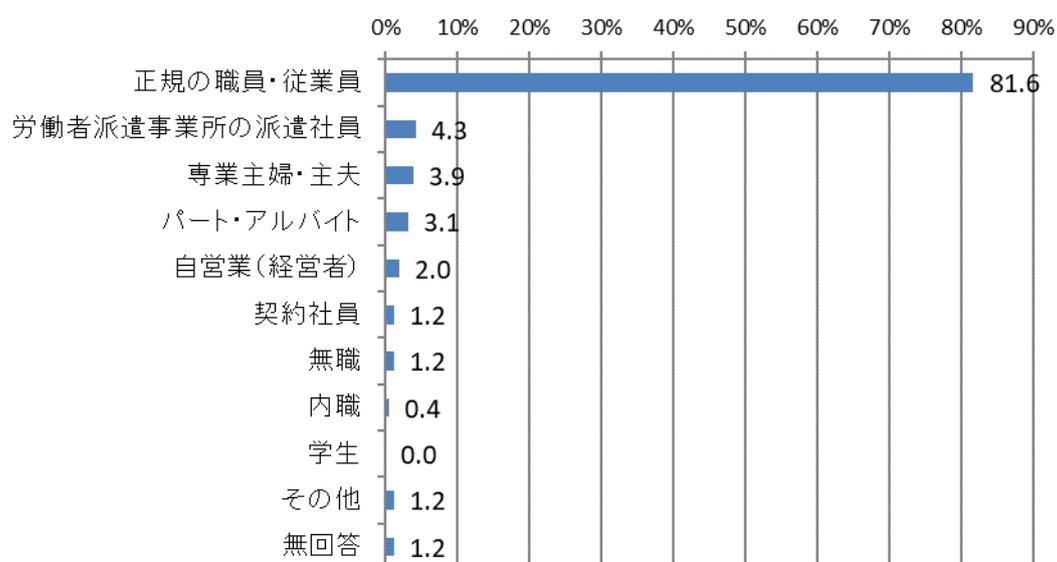
総数	256	100.0%
18～24歳	31	12.1%
25～29歳	48	18.8%
30～34歳	58	22.7%
35～39歳	40	15.6%
40～44歳	33	12.9%
45歳以上	43	16.8%
無回答	3	1.2%



**問3 (1) あなたのお仕事について、就業形態についてお答えください。[1つに〇]**

- 「正規の職員・従業員」が81.6%で全体の8割以上を占めている。
- 『その他』の回答では、「陸上自衛隊」、「臨時的任用(講師)」等がみられた。

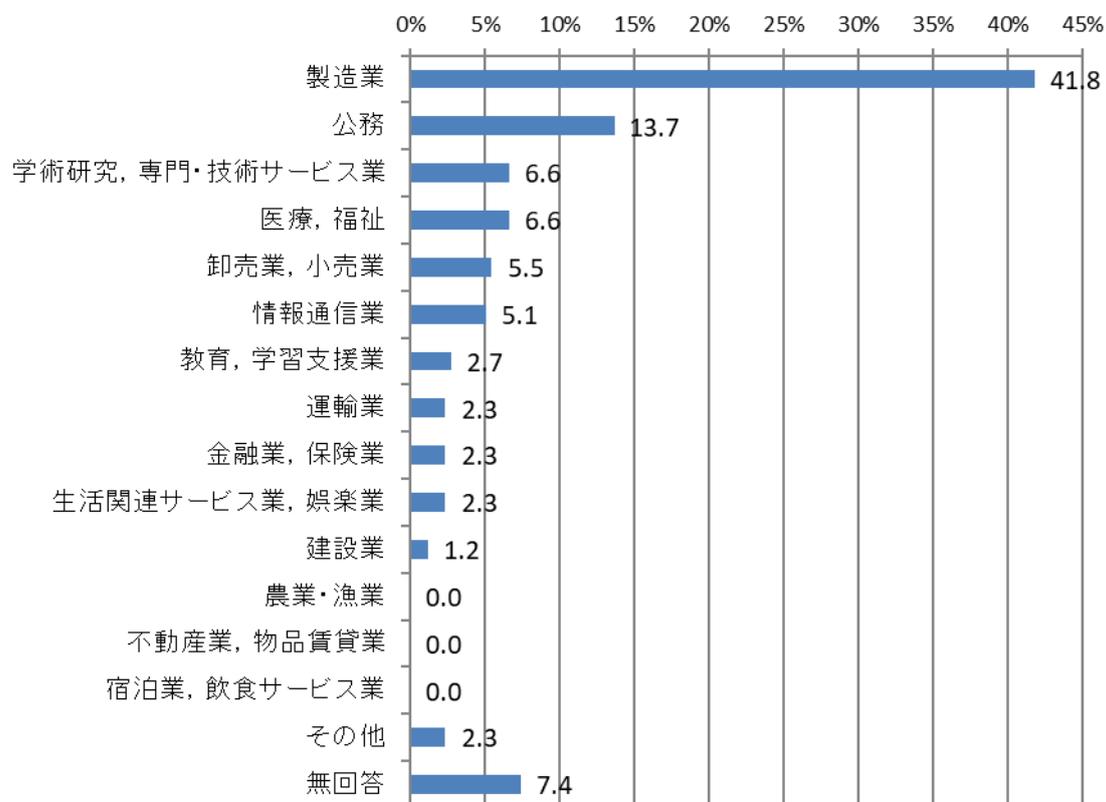
就業形態	人数	割合
総数	256	100.0%
正規の職員・従業員	209	81.6%
労働者派遣事業所の派遣社員	11	4.3%
専業主婦・主夫	10	3.9%
パート・アルバイト	8	3.1%
自営業(経営者)	5	2.0%
契約社員	3	1.2%
無職	3	1.2%
内職	1	0.4%
学生	0	0.0%
その他	3	1.2%
無回答	3	1.2%



問3 (2) あなたのお仕事について、業種についてお答えください。[1つに〇]

- 「製造業」が41.8%で最多、「公務」が13.7%で次点となっている。
- 『その他』の回答では、「テレビ関係」、「電気」等の回答が挙がっている。

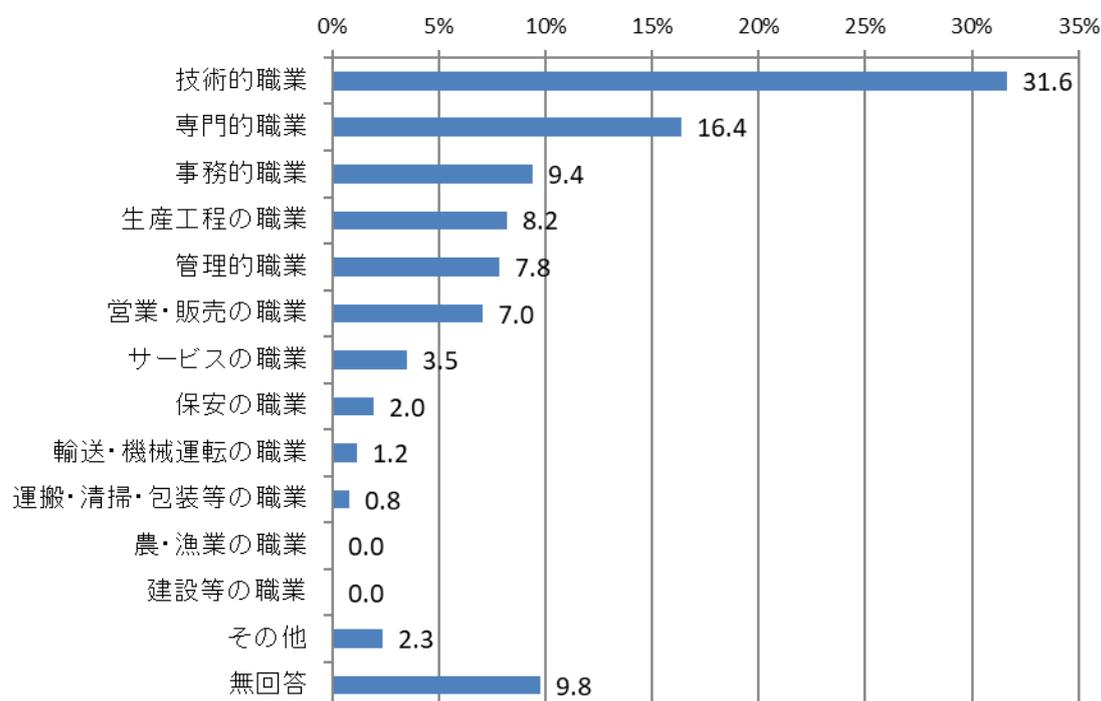
業種	総数	割合
製造業	107	41.8%
公務	35	13.7%
学術研究, 専門・技術サービス業	17	6.6%
医療, 福祉	17	6.6%
卸売業, 小売業	14	5.5%
情報通信業	13	5.1%
教育, 学習支援業	7	2.7%
運輸業	6	2.3%
金融業, 保険業	6	2.3%
生活関連サービス業, 娯楽業	6	2.3%
建設業	3	1.2%
農業・漁業	0	0.0%
不動産業, 物品賃貸業	0	0.0%
宿泊業, 飲食サービス業	0	0.0%
その他	6	2.3%
無回答	19	7.4%



問3 (3) あなたのお仕事について、職種についてお答えください。[1つに○]

- 「技術的職業」が31.6%で最も多く、「専門的職業」が16.4%が続いている。
- 『その他』の回答は、「教員」、「自衛官」等が挙がっている。

職種	総数	割合
技術的職業	81	31.6%
専門的職業	42	16.4%
事務的職業	24	9.4%
生産工程の職業	21	8.2%
管理的職業	20	7.8%
営業・販売の職業	18	7.0%
サービスの職業	9	3.5%
保安の職業	5	2.0%
輸送・機械運転の職業	3	1.2%
運搬・清掃・包装等の職業	2	0.8%
農・漁業の職業	0	0.0%
建設等の職業	0	0.0%
その他	6	2.3%
無回答	25	9.8%

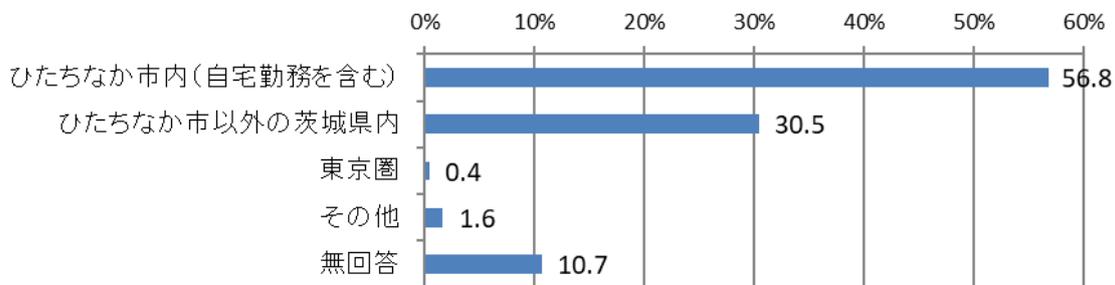


【問4は、問3（1）で「7. 専業主婦・主夫」「8. 学生」「9. 無職」と回答した方以外の方に  
おたずねします】

**問4 あなたの勤務先はどちらですか。[1つに○]**

- ・「ひたちなか市内（自宅勤務を含む）」が56.8%、「ひたちなか市以外の茨城県内」が30.5%となっている。
- ・『その他』の回答では、「東北」,「栃木県」等が挙げられている。

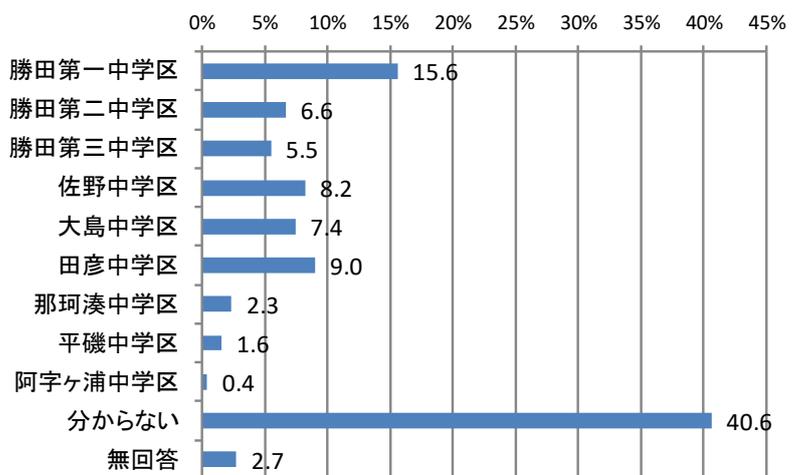
総数	243	100.0%
ひたちなか市内(自宅勤務を含む)	138	56.8%
ひたちなか市以外の茨城県内	74	30.5%
東京圏	1	0.4%
その他	4	1.6%
無回答	26	10.7%



**問5 あなたのお住まいは中学校区で分類するとどの地区ですか。[1つに○]**

- ・「分からない」が40.6%で最も多い。
- ・「勝田第一中学校区」が15.6%、「田彦中学校区」が9.0%となっている。

総数	256	100.0%
勝田第一中学校区	40	15.6%
勝田第二中学校区	17	6.6%
勝田第三中学校区	14	5.5%
佐野中学校区	21	8.2%
大島中学校区	19	7.4%
田彦中学校区	23	9.0%
那珂湊中学校区	6	2.3%
平磯中学校区	4	1.6%
阿字ヶ浦中学校区	1	0.4%
分からない	104	40.6%
無回答	7	2.7%



## 問6 転入前のご住所

- 転入前の都道府県では「茨城県」が122件で最多となっている。
- 転入前の市町村については、「水戸市」が35件、「日立市」が27件、「東海村」が11件の順となっている。

上位5都道府県		上位県内5市町村	
都道府県	回答数	市町村	回答数
茨城県	122	水戸市	35
東京都	18	日立市	27
神奈川県	20	東海村	11
千葉県	9	那珂市	10
埼玉県	8	つくば市	4
福島県	8	土浦市	4

問7 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。転入前と転入後で、それぞれあてはまるものを次の中からお選びください。[各1つに○]

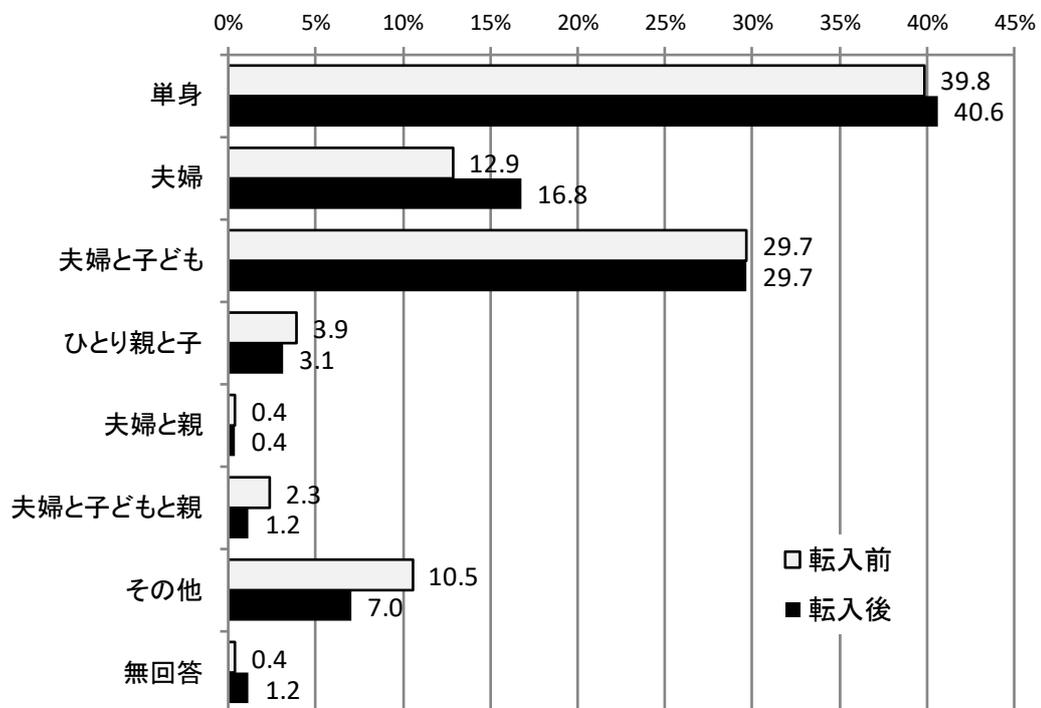
- 転入前の同居家族の構成では、「単身」が39.8%で最も多く、「夫婦と子ども」が29.7%で続いている。
- 転入後の同居家族の構成では、「単身」が40.6%で最も多く、「夫婦と子ども」が29.7%で次点となっている。転入前と比較すると「夫婦」が3.9%増加している。
- 転入前の『その他』の回答では、「親と自分」、「両親と自分」等が、転入後の『その他』の回答では、「同棲」、「両親と自分」等が挙がっている。

【転入前の家族構成】

総数	256	100.0%
単身	102	39.8%
夫婦	33	12.9%
夫婦と子ども	76	29.7%
ひとり親と子	10	3.9%
夫婦と親	1	0.4%
夫婦と子どもと親	6	2.3%
その他	27	10.5%
無回答	1	0.4%

【転入後の家族構成】

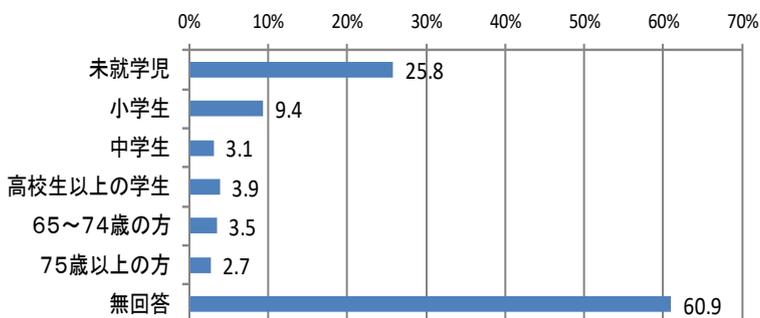
総数	256	100.0%
単身	104	40.6%
夫婦	43	16.8%
夫婦と子ども	76	29.7%
ひとり親と子	8	3.1%
夫婦と親	1	0.4%
夫婦と子どもと親	3	1.2%
その他	18	7.0%
無回答	3	1.2%



**問8 転入後の同居家族に次の方はいますか。[あてはまるものすべてに○]**

・「未就学児」が最も選択されており25.8%、「小学生」が9.4%で続いている。

総数	256	100.0%
未就学児	66	25.8%
小学生	24	9.4%
中学生	8	3.1%
高校生以上の学生	10	3.9%
65～74歳の方	9	3.5%
75歳以上の方	7	2.7%
無回答	156	60.9%



**問9 あなたのお住まいの形態は、次のどれにあたりますか。転入前と転入後で、それぞれあてはまるものを次の中からお選びください。[各1つに○]**

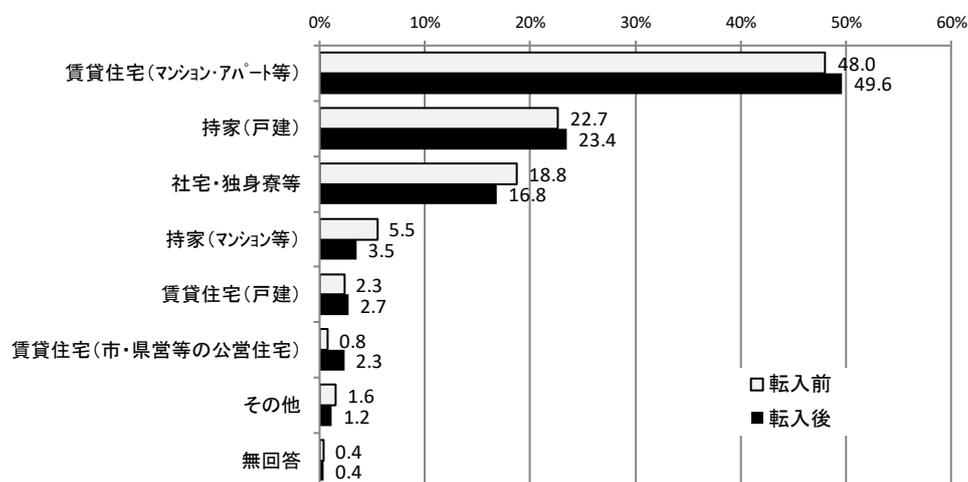
- ・転入前の住まいでは「賃貸住宅(マンション・アパート等)」が48.0%で最も多く、「持家(戸建)」が22.7%で続いている。
- ・転入後の住まいでは「賃貸住宅(マンション・アパート等)」が49.6%で最も多く、「持家(戸建)」が23.4%で次点となっている。転入後の住まいの形態では「持家」(戸建、マンション等の合計)と回答した方の割合は転入前に比べ3.4%増加している。
- ・『その他』の回答では、転入前は「親の家」等が、転入後では「施設」等が挙がっている。

**【転入前の住まい】**

総数	256	100.0%
賃貸住宅(マンション・アパート等)	123	48.0%
持家(戸建)	58	22.7%
社宅・独身寮等	48	18.8%
賃貸住宅(戸建)	14	5.5%
賃貸住宅(市・県営等の公営住宅)	6	2.3%
持家(マンション等)	2	0.8%
その他	4	1.6%
無回答	1	0.4%

**【転入後住まい】**

総数	256	100.0%
賃貸住宅(マンション・アパート等)	127	49.6%
持家(戸建)	60	23.4%
社宅・独身寮等	43	16.8%
持家(マンション等)	9	3.5%
賃貸住宅(戸建)	7	2.7%
賃貸住宅(市・県営等の公営住宅)	6	2.3%
その他	3	1.2%
無回答	1	0.4%

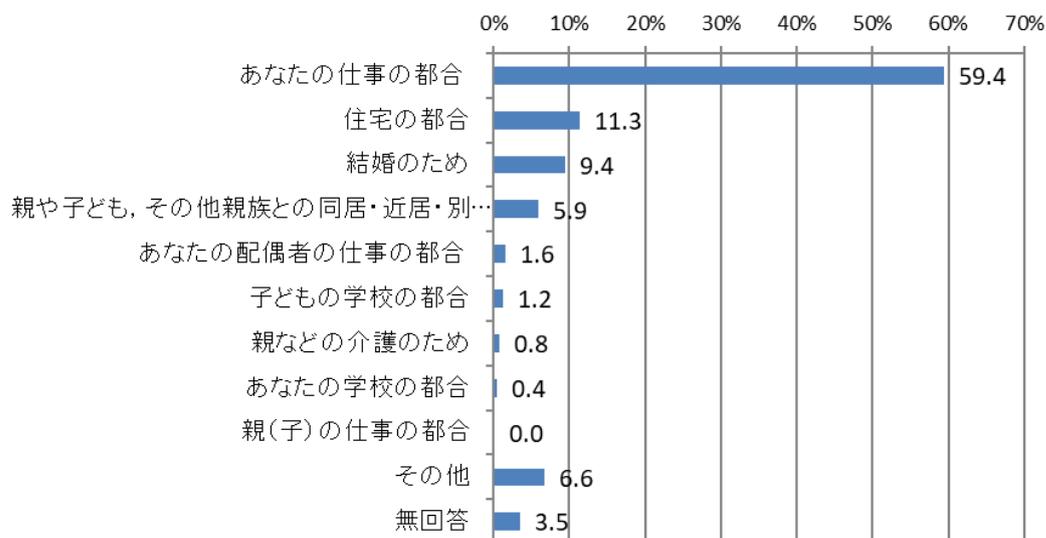


## (2) 転入のきっかけやひたちなか市の住み心地などについて

問 10 転入前にお住まいの市区町村から転出することになった、もっとも大きなきっかけは何ですか。[1つに〇, 内容も1つに〇]

- ・「あなたの仕事の都合」が59.4%で最も多く、「住宅の都合」が11.3%、「結婚のため」が9.4%で続いている。仕事の都合の内容について、「あなたの仕事の都合」の内容では「転勤」が52%となっている。
- ・『その他』の回答では、「家を建てた」、「離婚」等の意見が挙がっている。

総数	256	100.0%
あなたの仕事の都合	152	59.4%
住宅の都合	29	11.3%
結婚のため	24	9.4%
親や子ども, その他親族との同居・近居・別居のため	15	5.9%
あなたの配偶者の仕事の都合	4	1.6%
子どもの学校の都合	3	1.2%
親などの介護のため	2	0.8%
あなたの学校の都合	1	0.4%
親(子)の仕事の都合		0.0%
その他	17	6.6%
無回答	9	3.5%



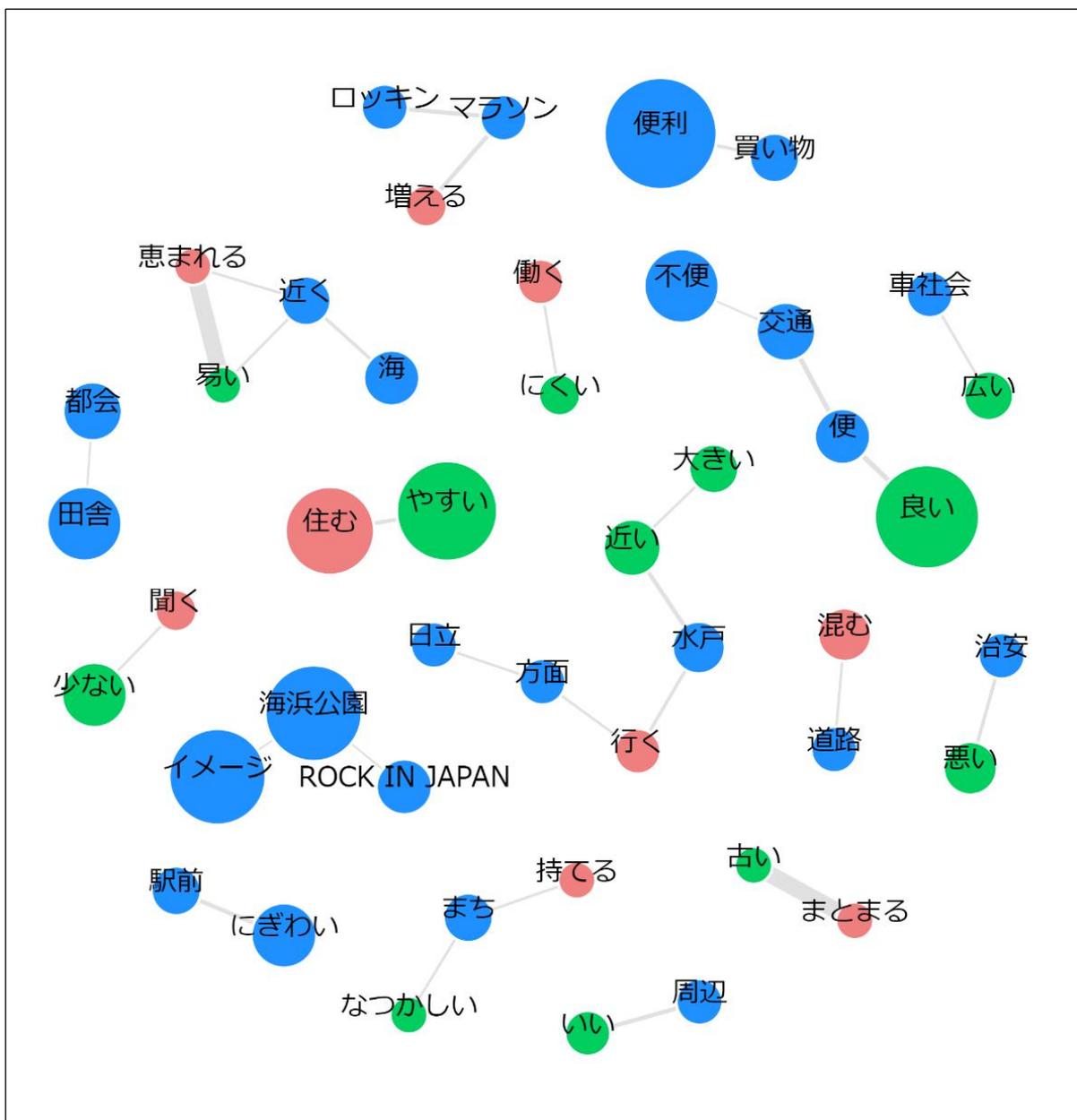
### 【仕事の都合の内容について】

内容	あなたの仕事の都合		あなたの配偶者の仕事の都合	
	回答数	割合	回答数	割合
就職	34	22.4%	1	25.0%
転職	26	17.1%	1	25.0%
転勤	79	52.0%	1	25.0%
退職	3	2.0%	0	0%
その他	5	3.3%	0	0%



## ■出現パターン

- ・出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「便利」は「買い物」と、「海浜公園」は「イメージ」や「ROCK IN JAPAN」との関連が多い。
- ・また、「交通」「便」は「不便」「良い」両方と関連が多く、「道路」は「混む」と、「治安」は「悪い」と関連して出現している傾向がある。



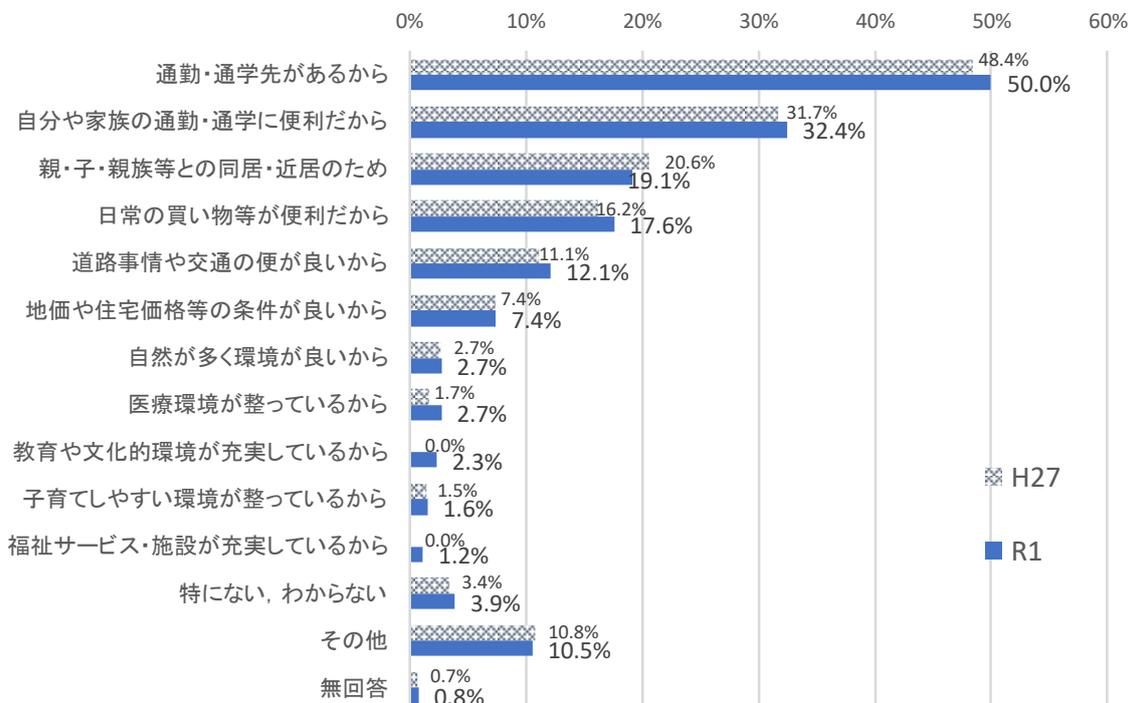
## ■自由記述分析結果まとめ

- “買い物が便利など住みやすいまち” や “海浜公園や ROCK IN JAPAN のまち” 等のイメージを転入前にもっていたとの意見が多い傾向がみられる。
- また，“交通の便が悪く田舎なまち”，“海が近く自然に恵まれたまち” 等の意見もみられる。

問 12 あなたがひたちなか市に住むことを決めた主な理由は何ですか。[3つまでに○]

- ひたちなか市に住むことを決めた主な理由として「通勤・通学先があるから」が最も多く 50.0%、「自分や家族の通勤・通学に便利だから」が 32.4%、「親・子・親族等との同居・近居のため」が 19.1%で続いている。
- 『その他』の回答では、「会社の寮があるから」、「知人がいるから」等がみられた。
- 前回調査（H27）との比較では、特に大きな変化は見られなかった。

理由	人数	割合
総数	256	100.0%
通勤・通学先があるから	128	50.0%
自分や家族の通勤・通学に便利だから	83	32.4%
親・子・親族等との同居・近居のため	49	19.1%
日常の買い物等が便利だから	45	17.6%
道路事情や交通の便が良いから	31	12.1%
地価や住宅価格等の条件が良いから	19	7.4%
特にない, わからない	10	3.9%
自然が多く環境が良いから	7	2.7%
医療環境が整っているから	7	2.7%
教育や文化的環境が充実しているから	6	2.3%
子育てしやすい環境が整っているから	4	1.6%
福祉サービス・施設が充実しているから	3	1.2%
その他	27	10.5%
無回答	2	0.8%



※回答者の属性別の住むことを決めた主な理由について

- 性別の回答結果では、男女とも「通勤・通学先があるから」が最多となっているが、女性では「親・子・親族等との同居・近居のため」の回答割合が多くなっている。
- 年代別の回答結果でも、「通勤・通学先があるから」がどの年代でも最多となっている。
- 転入前の家族構成の結果でも、同居家族の構成によらず「通勤・通学」が主な転入の理由となっている。
- ひたちなか市内に持家（戸建）での生活で転入した方の理由は「親・子・親族等との同居・近居のため」や「自分や家族の通勤・通学に便利だから」の割合が高くなっている。

【性別の回答結果】

%	通勤・通学先があるから	自分や家族の通勤・通学に便利だから	親・子・親族等との同居・近居のため	地価や住宅価格等の条件が良いから	日常の買い物等が便利だから	道路事情や交通の便が良いから	自然が多く環境が良いから	教育や文化的環境が充実しているから	子育てしやすい環境が整っているから	医療環境が整っているから	福祉サービス・施設が充実しているから	その他	特にない、わからない	無回答
総数	50.0%	32.4%	19.1%	7.4%	17.6%	12.1%	2.7%	2.3%	1.6%	2.7%	1.2%	10.5%	3.9%	0.8%
男性	54.4%	34.7%	17.1%	9.8%	17.1%	11.9%	3.6%	2.6%	2.1%	3.6%	1.6%	8.8%	3.6%	1.0%
女性	36.1%	26.2%	26.2%	0.0%	19.7%	13.1%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	13.1%	4.9%	0.0%

【年齢別の回答結果】

%	通勤・通学先があるから	自分や家族の通勤・通学に便利だから	親・子・親族等との同居・近居のため	地価や住宅価格等の条件が良いから	日常の買い物等が便利だから	道路事情や交通の便が良いから	自然が多く環境が良いから	教育や文化的環境が充実しているから	子育てしやすい環境が整っているから	医療環境が整っているから	福祉サービス・施設が充実しているから	その他	特にない、わからない	無回答
総数	50.0%	32.4%	19.1%	7.4%	17.6%	12.1%	2.7%	2.3%	1.6%	2.7%	1.2%	10.5%	3.9%	0.8%
18～24歳	64.5%	29.0%	3.2%	6.5%	12.9%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	12.9%	6.5%	0.0%
25～29歳	50.0%	33.3%	16.7%	10.4%	8.3%	12.5%	2.1%	2.1%	2.1%	0.0%	2.1%	8.3%	8.3%	0.0%
30～34歳	43.1%	36.2%	20.7%	5.2%	24.1%	12.1%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	0.0%	15.5%	1.7%	0.0%
35～39歳	60.0%	42.5%	20.0%	2.5%	20.0%	17.5%	2.5%	0.0%	2.5%	2.5%	0.0%	7.5%	2.5%	0.0%
40～44歳	45.5%	24.2%	30.3%	0.0%	24.2%	15.2%	0.0%	3.0%	0.0%	3.0%	3.0%	6.1%	0.0%	3.0%
45歳以上	41.9%	27.9%	20.9%	18.6%	16.3%	11.6%	4.7%	4.7%	0.0%	4.7%	2.3%	9.3%	4.7%	2.3%

【転入前の家族構成別の回答結果】

%	通勤・通学先があるから	自分や家族の通勤・通学に便利だから	親・子・親族等との同居・近居のため	地価や住宅価格等の条件が良いから	日常の買い物等が便利だから	道路事情や交通の便が良いから	自然が多く環境が良いから	教育や文化的環境が充実しているから	子育てしやすい環境が整っているから	医療環境が整っているから	福祉サービス・施設が充実しているから	その他	特にない、わからない	無回答
総数	50.0%	32.4%	19.1%	7.4%	17.6%	12.1%	2.7%	2.3%	1.6%	2.7%	1.2%	10.5%	3.9%	0.8%
単身(自分だけの一人暮らし)	54.9%	31.4%	11.8%	5.9%	14.7%	10.8%	2.9%	1.0%	0.0%	1.0%	1.0%	8.8%	4.9%	1.0%
夫婦	36.4%	39.4%	36.4%	9.1%	15.2%	15.2%	3.0%	6.1%	3.0%	3.0%	0.0%	12.1%	0.0%	0.0%
夫婦と子ども	51.3%	28.9%	26.3%	5.3%	15.8%	7.9%	3.9%	2.6%	3.9%	3.9%	1.3%	6.6%	3.9%	1.3%

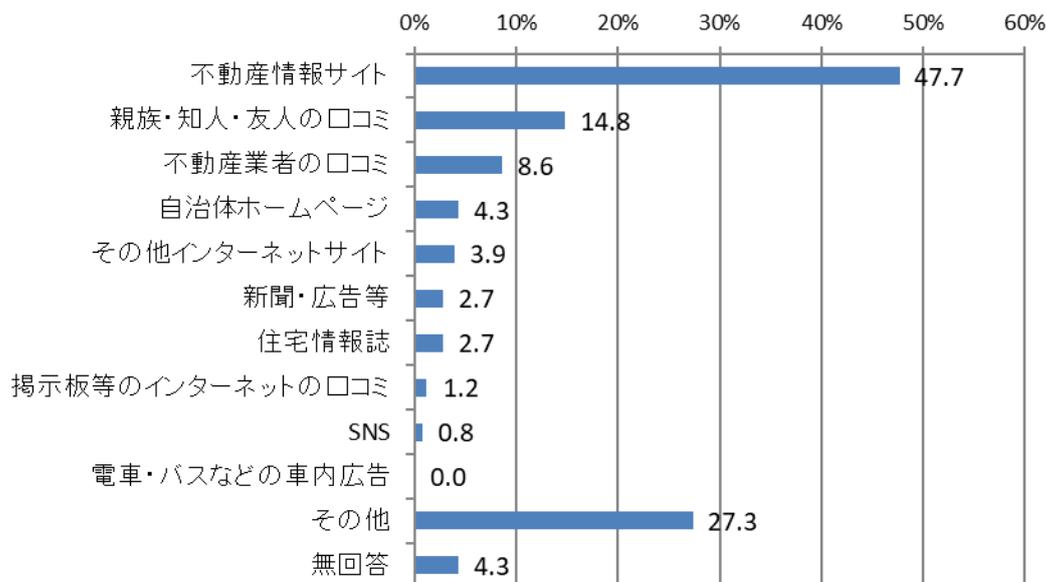
【転入後の住居形態別のひたちなか市に住むことを決めた主な理由への回答割合】

%	通勤・通学先があるから	自分や家族の通勤・通学に便利だから	親・子・親族等との同居・近居のため	地価や住宅価格等の条件が良いから	日常の買い物等が便利だから	道路事情や交通の便が良いから	自然が多く環境が良いから	教育や文化的環境が充実しているから	子育てしやすい環境が整っているから	医療環境が整っているから	福祉サービス・施設が充実しているから	その他	特にない、わからない	無回答
総数	50.0%	32.4%	19.1%	7.4%	17.6%	12.1%	2.7%	2.3%	1.6%	2.7%	1.2%	10.5%	3.9%	0.8%
持家(戸建)	23.3%	30.0%	51.7%	15.0%	18.3%	16.7%	1.7%	5.0%	1.7%	1.7%	0.0%	5.0%	3.3%	0.0%
賃貸住宅(マンション・アパート等)	52.8%	39.4%	10.2%	7.1%	23.6%	13.4%	2.4%	0.8%	0.8%	1.6%	0.0%	11.0%	2.4%	0.8%

**問 13 あなたが住む場所を探したときの主な情報源は何ですか。[あてはまるものすべてに○]**

- 住む場所を探したときの主な情報源としては、「不動産情報サイト」が最も多く 47.7%であった。年代別の回答結果では、年代による大きな差はなかった。
- 『その他』の回答では「勤め先からの案内や指定」や「実家への帰郷」などが挙がっている。

情報源	件数	割合
総数	256	100.0%
不動産情報サイト	122	47.7%
親族・知人・友人のロコミ	38	14.8%
不動産業者のロコミ	22	8.6%
自治体ホームページ	11	4.3%
その他インターネットサイト	10	3.9%
新聞・広告等	7	2.7%
住宅情報誌	7	2.7%
掲示板等のインターネットのロコミ	3	1.2%
SNS	2	0.8%
電車・バスなどの車内広告	0	0.0%
その他	70	27.3%
無回答	11	4.3%



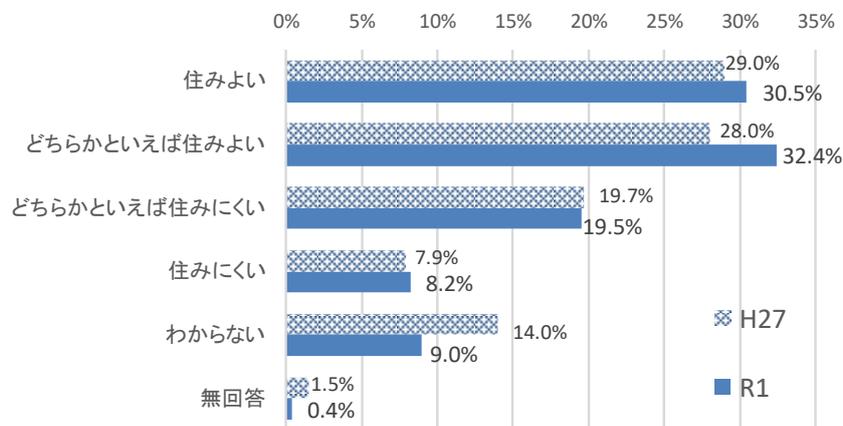
**【年代別の回答結果】**

%	自治体ホームページ	不動産情報サイト	掲示板等のインターネットのロコミ	SNS	その他インターネットサイト	新聞・広告等	住宅情報誌	電車・バスなどの車内広告	不動産業者のロコミ	親族・知人・友人のロコミ	その他	無回答
総数	4.3%	47.7%	1.2%	0.8%	3.9%	2.7%	2.7%	0.0%	8.6%	14.8%	27.3%	4.3%
18～24歳	12.9%	35.5%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	12.9%	38.7%	6.5%
25～29歳	2.1%	45.8%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	4.2%	0.0%	6.3%	12.5%	31.3%	4.2%
30～34歳	3.4%	46.6%	1.7%	0.0%	5.2%	6.9%	3.4%	0.0%	8.6%	20.7%	20.7%	5.2%
35～39歳	10.0%	50.0%	2.5%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	25.0%	2.5%
40～44歳	0.0%	51.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	18.2%	24.2%	18.2%	3.0%
45歳以上	0.0%	55.8%	0.0%	2.3%	4.7%	4.7%	2.3%	0.0%	7.0%	9.3%	32.6%	2.3%

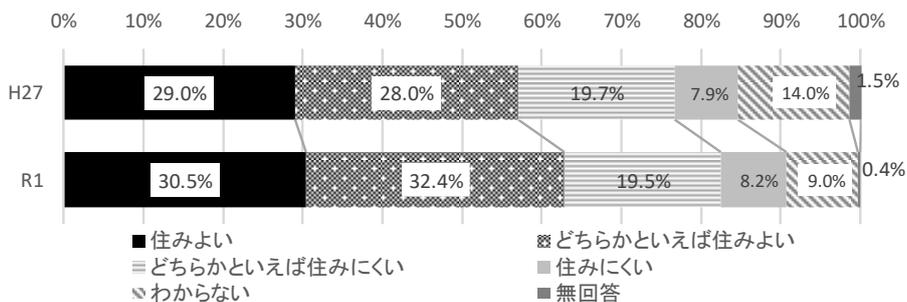
**問 14 あなたは、前住地と比べてひたちなか市の住み心地をどう感じていますか。[1つに〇]**

- 前住地と比べてひたちなか市の住み心地については、「住みよい」との回答は 30.5%となっており、前回調査（H27）の 29.0%より 1.5%増加している。「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」の合計値は 62.9%となっており、前回調査（H27）の 57.0%から 5.9%増加している。
- 年齢別にみた前住地と比べたひたちなか市の住み心地については、「40～44 歳」で「住みよい」と回答した割合が 42.4%と最も高くなっている。

	総数	割合
住みよい	78	30.5%
どちらかといえば住みよい	83	32.4%
どちらかといえば住みにくい	50	19.5%
住みにくい	21	8.2%
わからない	23	9.0%
無回答	1	0.4%



**【前回調査（H27）との比較】**



**【年齢別の前住地と比べたひたちなか市の住み心地への回答割合】**

%	住みよい	どちらかとい えば住 みよい	どちらかとい えば住 みにくい	住みにく い	わからな い	無回答
総数	30.5%	32.4%	19.5%	8.2%	9.0%	0.4%
18～24歳	25.8%	29.0%	22.6%	16.1%	6.5%	0.0%
25～29歳	18.8%	50.0%	10.4%	12.5%	8.3%	0.0%
30～34歳	32.8%	25.9%	24.1%	6.9%	8.6%	1.7%
35～39歳	30.0%	37.5%	15.0%	5.0%	12.5%	0.0%
40～44歳	42.4%	24.2%	21.2%	0.0%	12.1%	0.0%
45歳以上	37.2%	25.6%	23.3%	7.0%	7.0%	0.0%
無回答	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%

【問 14 で「1. 住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」と回答した方が対象】

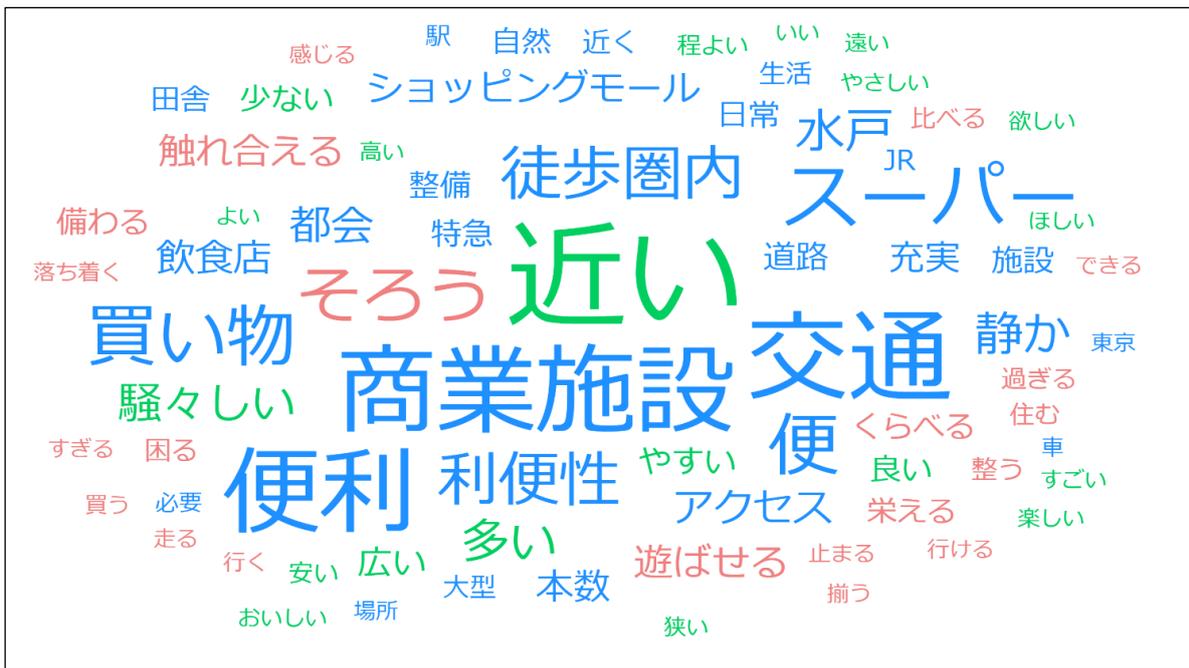
問 14-1 どのようなところに住みよさを感じますか。具体的な内容をご記入ください。

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール（ <https://textmining.userlocal.jp/> ）により分析

■ワードクラウド

・「近い」、「商業施設」、「便利」、「交通」といったワードが出現している。



■単語出現度

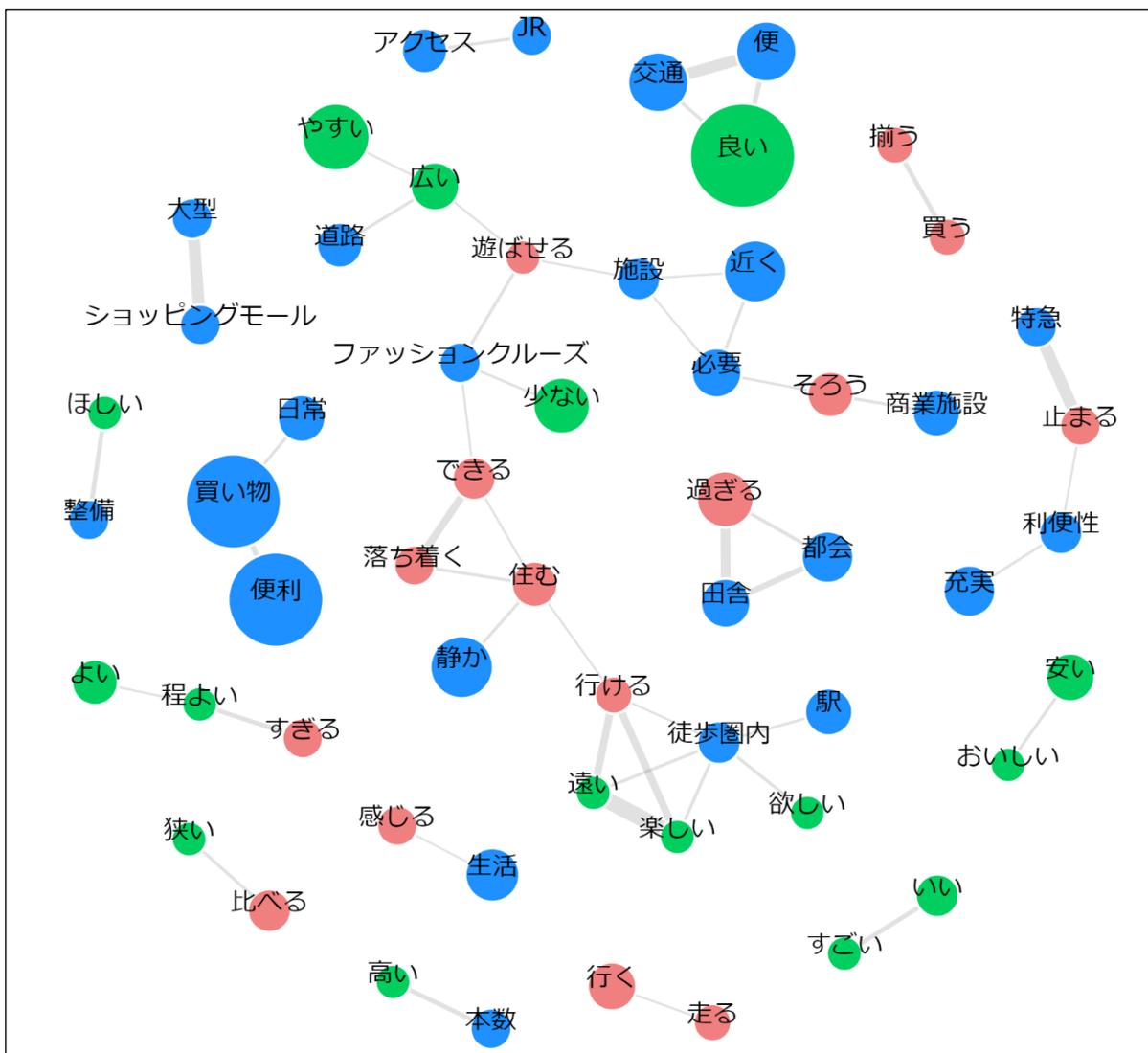
- ・「便利」、「海浜公園」の出現回数が多くなっている。
- ・その他に「住みやすい」、「不便」、「田舎」等の単語の出現回数も多くなっている。

（一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語（※近い、多い、良い等））

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
便利	形容詞	29	生活	名詞	10
買い物	名詞	29	都会	名詞	9
スーパー	名詞	26	充実	名詞	9
静か	名詞	14	自然	名詞	8
交通	名詞	13	田舎	名詞	8

■出現パターン

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「便利」は「買い物」や「日常」と、「良い」は「交通」と、「静か」は「住む」「落ち着く」との関連が多い。
- また、「駅」と「徒歩圏内」、「特急」と「利便性」や「充実」等も関連して出現している。



■自由記述分析結果まとめ

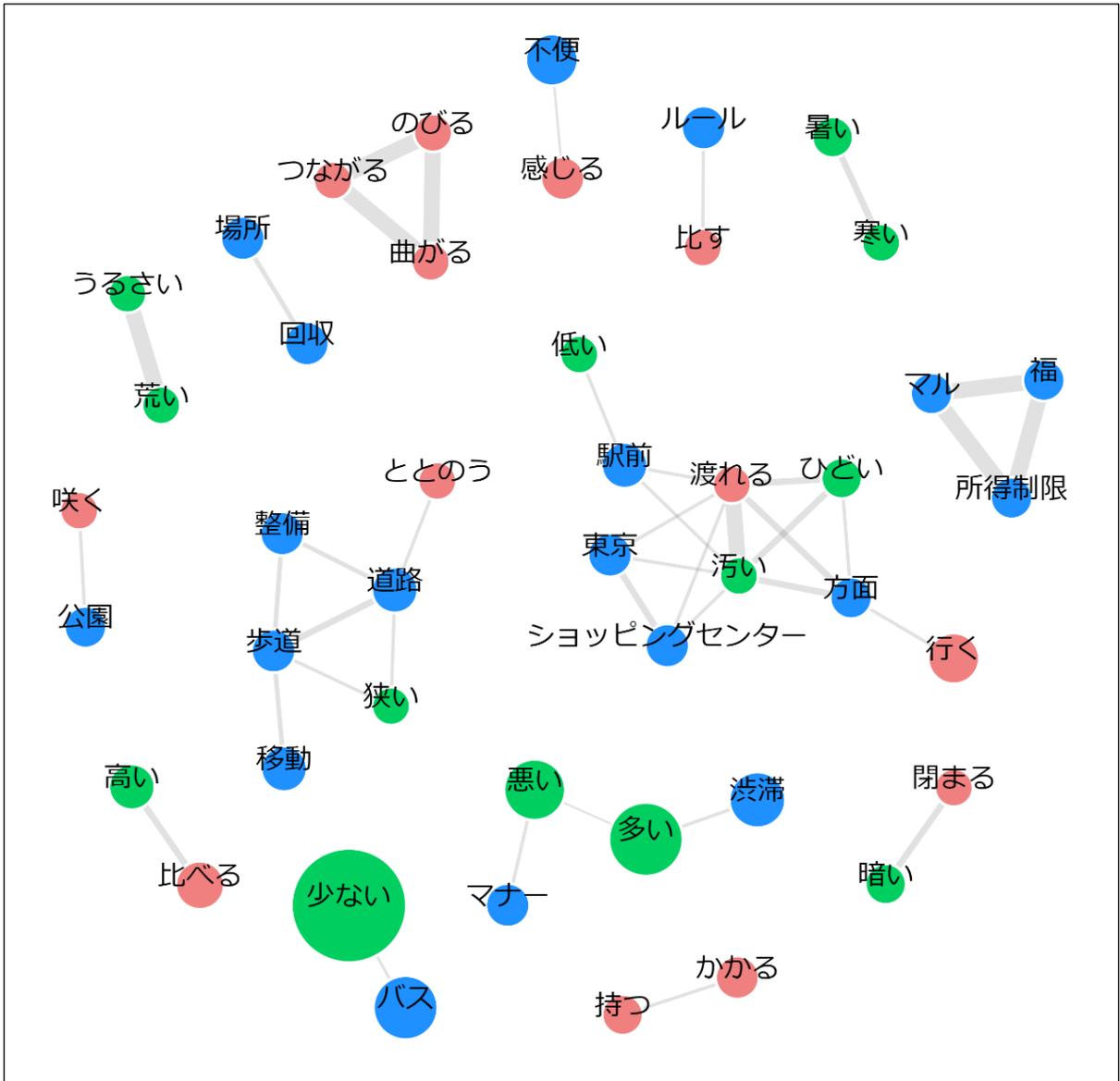
○ “特急が止まるなど交通の利便性が良い点” や “日常の買い物が便利な点”, “田舎すぎず, 都会すぎない点”, “静かで落ち着いて住むことができる点” 等が, 前住地と比べてひたちなか市が住みやすいと感じる要因となっている傾向があるとわかる。



## ■出現パターン

- ・出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「少ない」は「バス」と、「悪い」は「渋滞」や「マナー」との関連が多い。
- ・また、「所得制限」は「マル」,「福」と関連して出現している。

※マル福…医療福祉費支給制度。小児・妊産婦・ひとり親家庭・重度心身障害者などの医療福祉受給対象者の方が、医療保険で病院などにかかった場合の一部負担金相当額を公費で助成し、医療費の負担を軽減する制度



## ■自由記述分析結果まとめ

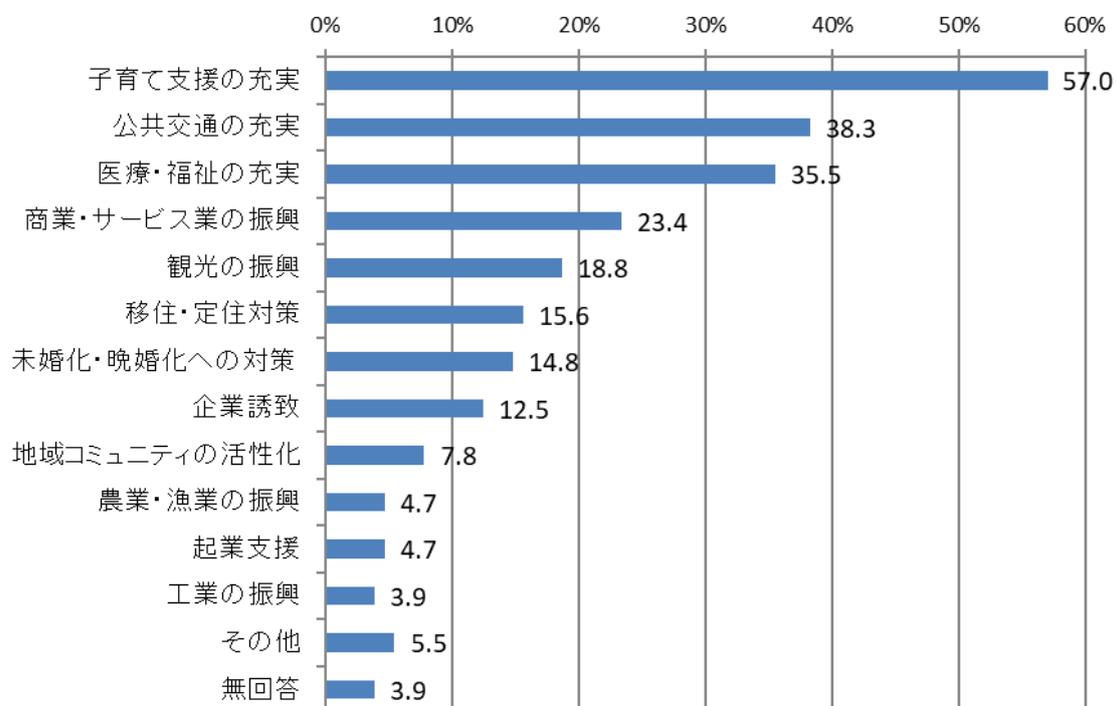
○ “バスが少ないなど交通の不便な点” や “渋滞の多さやマナーの悪さ”, “駅前やショッピングセンターが汚い, 暗い” 等が, 前住地と比べてひたちなか市が住みにくいと感じる要因となっている傾向があるとわかる。

### (3) 人口減少社会におけるまちづくりについて

問 15 人口減少社会を見据えた取り組みとして、今後ひたちなか市はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。[3つまでに〇]

- ・「子育て支援の充実」が 57.0%で最も多く、「公共交通の充実」が 38.3%、「医療・福祉の充実」が 35.5%で続いている。
- ・『その他』の回答では、「妊娠から出産までの支援」、「街灯を増やす」等の意見が挙がっている。

総数	256	100.0%
子育て支援の充実	146	57.0%
公共交通の充実	98	38.3%
医療・福祉の充実	91	35.5%
商業・サービス業の振興	60	23.4%
観光の振興	48	18.8%
移住・定住対策	40	15.6%
未婚化・晩婚化への対策	38	14.8%
企業誘致	32	12.5%
地域コミュニティの活性化	20	7.8%
農業・漁業の振興	12	4.7%
起業支援	12	4.7%
工業の振興	10	3.9%
その他	14	5.5%
無回答	10	3.9%



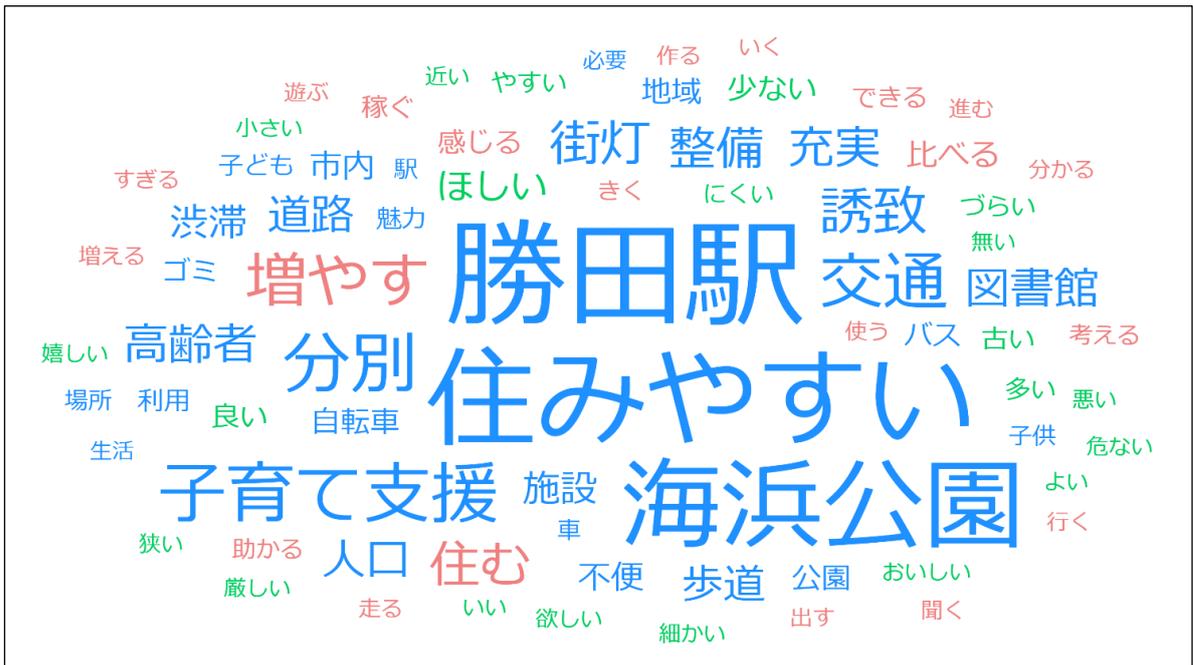
◇今後のひたちなか市のまちづくりに関するご意見やアイデアなどありましたら、自由にご記入ください。

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール（ <https://textmining.userlocal.jp/> ）により分析

■ワードクラウド

・「勝田駅」、「住みやすい」、「海浜公園」、「子育て支援」といったワードが出現している。



■単語出現度

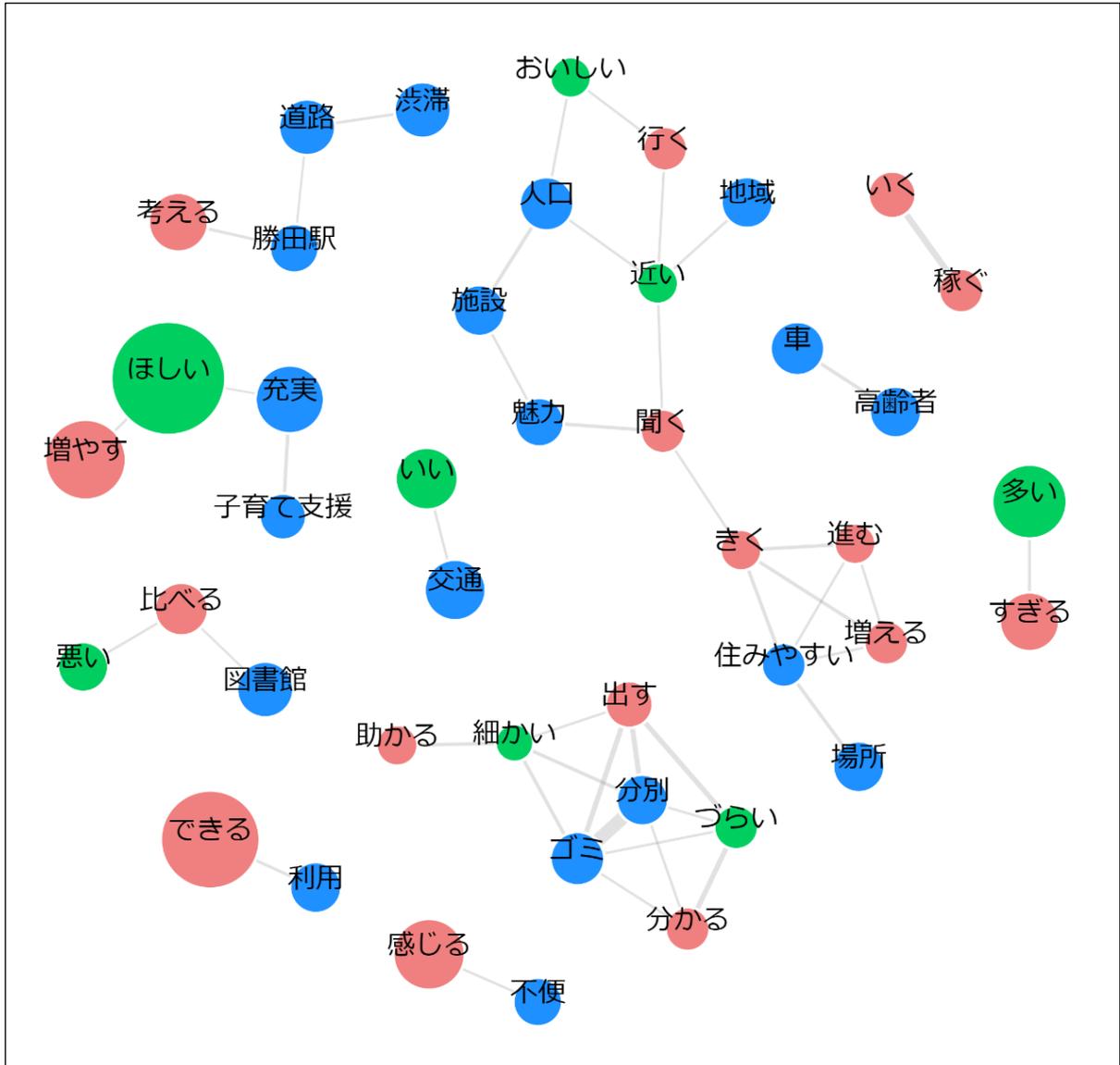
- ・「充実」、「交通」、「バス」等の出現回数が多くなっている。
- ・その他に「図書館」、「道路」、「渋滞」、「海浜公園」等の単語の出現回数も多くなっている。

（一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語（※良い、ほしい、できる、住む等）

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
充実	名詞	15	渋滞	名詞	10
交通	名詞	12	自転車	名詞	9
バス	名詞	12	海浜公園	名詞	9
図書館	名詞	10	整備	名詞	9
道路	動詞	10	ゴミ	名詞	9

## ■出現パターン

- ・出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「欲しい」は「充実」や「子育て支援」との関連が多い。
- ・また、「車」と「高齢者」、「ゴミ」と「分別」や「細かい」、「図書館」と「比べる」「悪い」が関連して出現している傾向がある。



## ■自由記述分析結果まとめ

- 転入者アンケートの特徴として“勝田駅”に関する意見が特徴としてみられるほか，“子育て支援への充実”への要望が多くみられる。
- また、バスや渋滞等の“交通”に関する意見が多くみられる。
- その他の意見として，“ごみの分別が細かすぎる”，“他地域と比べた図書館への不満”等の意見もみられる。

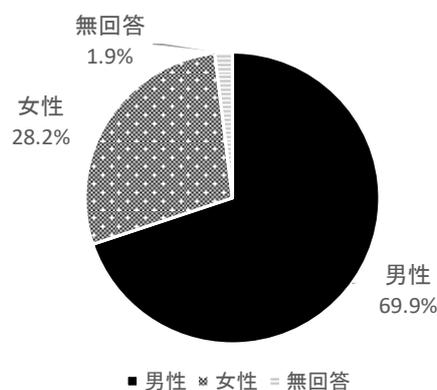
### 3. 転出に関する意識調査 調査結果

#### (1) 回答者について

##### 問1 あなたの性別

- ・「男性」が69.9%、「女性」が28.2%となっている。

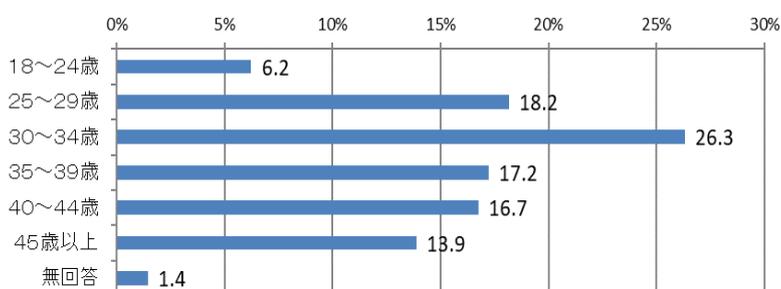
総数	209	100.0%
男性	146	69.9%
女性	59	28.2%
無回答	4	1.9%



##### 問2 あなたの年齢

- ・回答者の年齢は、「30～34歳」が26.3%で最も多く、「25～29歳」が18.2%、「35～39歳」が17.2%で続いている。
- ・回答者の平均年齢は、35.1歳となっている。

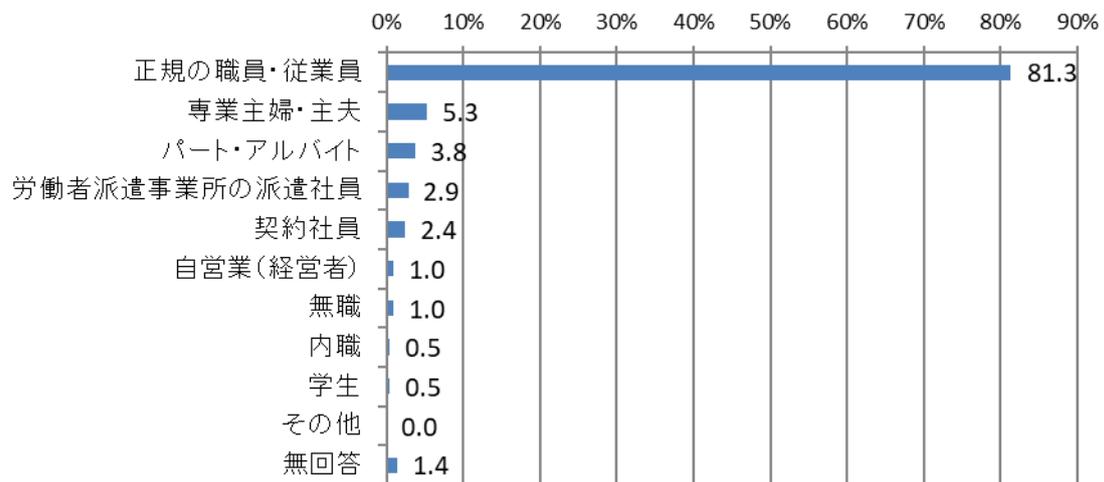
総数	209	100.0%
18～24歳	13	6.2%
25～29歳	38	18.2%
30～34歳	55	26.3%
35～39歳	36	17.2%
40～44歳	35	16.7%
45歳以上	29	13.9%
無回答	3	1.4%



**問3 (1) あなたのお仕事について、就業形態についてお答えください。[1つに〇]**

- 「正規の職員・従業員」が81.3%で最も多くなっており、回答者の大部分を占めている。
- 「専業主婦・主夫」が5.3%、「パート・アルバイト」が3.8%で続いている。

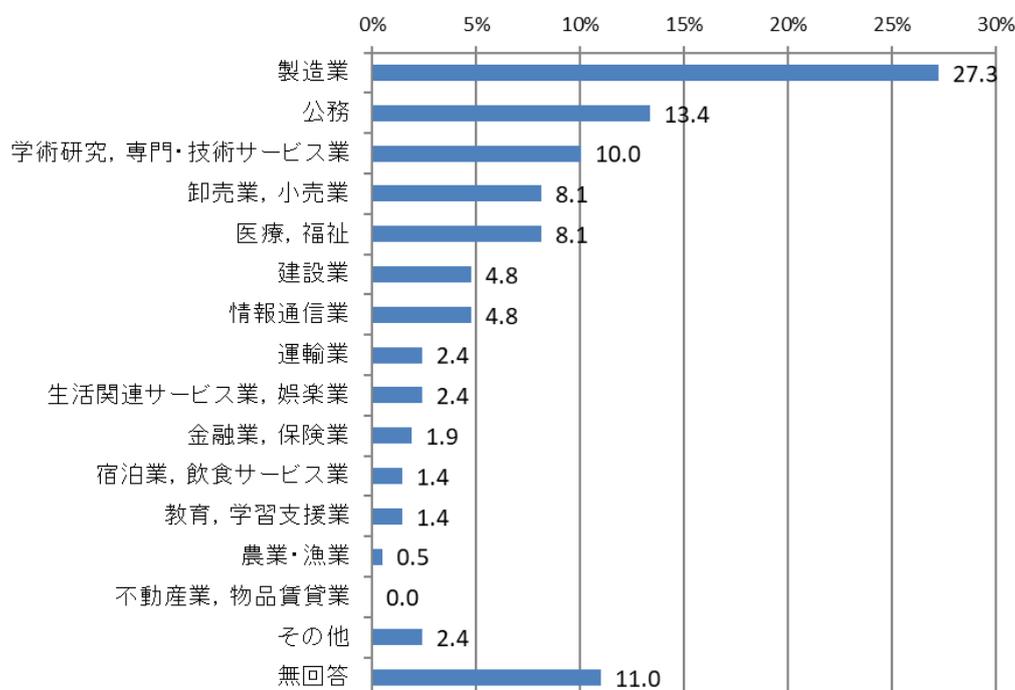
総数	209	100.0%
正規の職員・従業員	170	81.3%
専業主婦・主夫	11	5.3%
パート・アルバイト	8	3.8%
労働者派遣事業所の派遣社員	6	2.9%
契約社員	5	2.4%
自営業(経営者)	2	1.0%
無職	2	1.0%
内職	1	0.5%
学生	1	0.5%
その他	0	0.0%
無回答	3	1.4%



**問3 (2) あなたのお仕事について、業種についてお答えください。[1つに〇]**

- 「製造業」が 27.3%で最も多く、「公務」が 13.4%、「学術研究, 専門・技術サービス業」が 10.0%で続いている。
- 『その他』の回答では、「電気工事」、「派遣先企業」等の回答がみられた。

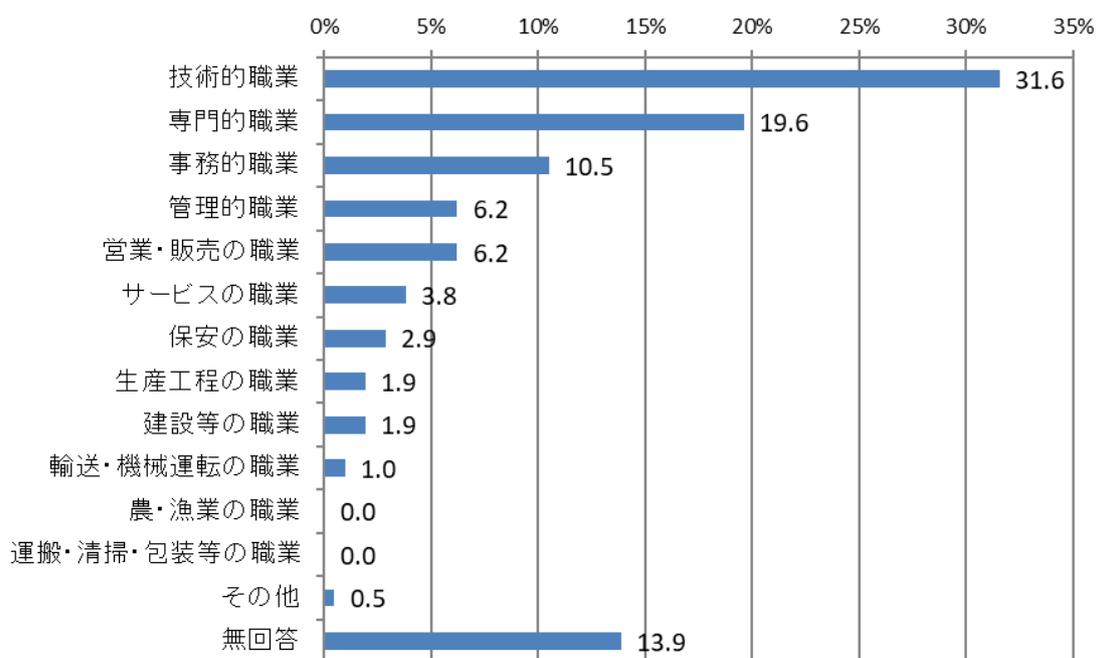
業種	総数	割合
製造業	57	27.3%
公務	28	13.4%
学術研究, 専門・技術サービス業	21	10.0%
卸売業, 小売業	17	8.1%
医療, 福祉	17	8.1%
建設業	10	4.8%
情報通信業	10	4.8%
運輸業	5	2.4%
生活関連サービス業, 娯楽業	5	2.4%
金融業, 保険業	4	1.9%
宿泊業, 飲食サービス業	3	1.4%
教育, 学習支援業	3	1.4%
農業・漁業	1	0.5%
不動産業, 物品賃貸業	0	0.0%
その他	5	2.4%
無回答	23	11.0%



**問3 (3) あなたのお仕事について、職種についてお答えください。[1つに〇]**

・「技術的職業」が31.6%で最多、「専門的職業」が19.6%、「事務的職業」が10.5%で続いている。

職種	総数	割合
技術的職業	66	31.6%
専門的職業	41	19.6%
事務的職業	22	10.5%
管理的職業	13	6.2%
営業・販売の職業	13	6.2%
サービスの職業	8	3.8%
保安の職業	6	2.9%
生産工程の職業	4	1.9%
建設等の職業	4	1.9%
輸送・機械運転の職業	2	1.0%
農・漁業の職業	0	0.0%
運搬・清掃・包装等の職業	0	0.0%
その他	1	0.5%
無回答	29	13.9%

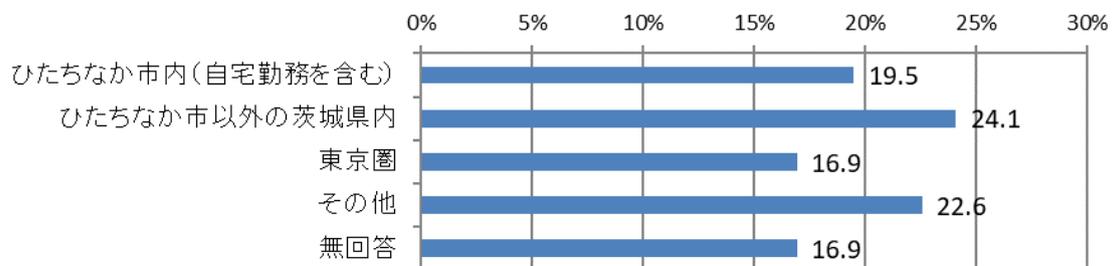


【問4は、問3（1）で「7. 専業主婦・主夫」「8. 学生」「9. 無職」と回答した方以外の方におたずねします】

**問4 あなたの勤務先はどちらですか。[1つに〇]**

- 「ひたちなか市以外の茨城県内」が 24.1%で最も多く、「ひたちなか市内（自宅勤務を含む）」は 19.5%となっている。
- 『その他』の回答としては、「神奈川県」や「埼玉県」等の関東地方や、「宮城県」や「長野県」等の回答がみられた。

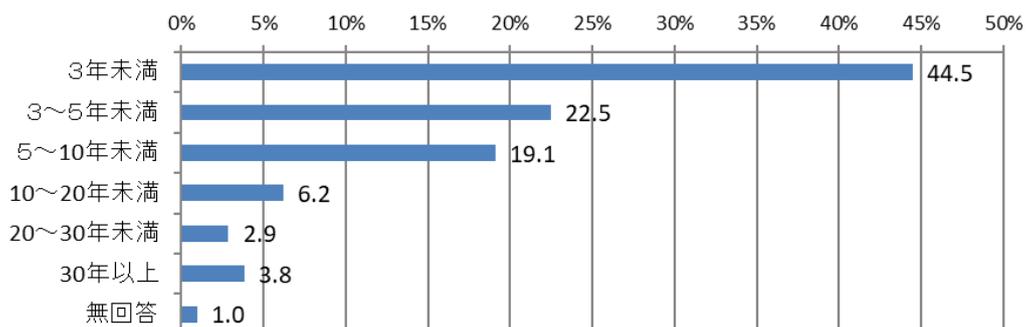
勤務先	人数	割合
総数	195	100.0%
ひたちなか市内(自宅勤務を含む)	38	19.5%
ひたちなか市以外の茨城県内	47	24.1%
東京圏	33	16.9%
その他	44	22.6%
無回答	33	16.9%



**問5 あなたはひたちなか市に何年間お住まいでしたか。[1つに〇]**

- 「3年未満」が 44.5%で最も多く、「3～5年未満」が 22.5%で次点となっている。

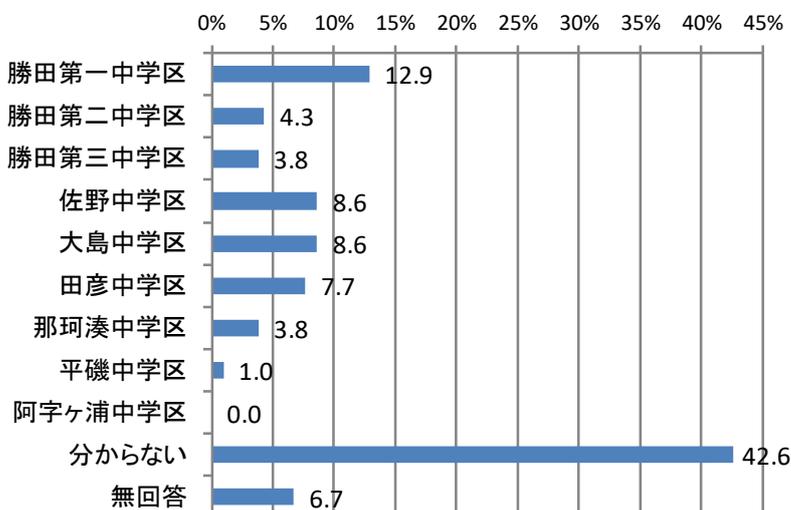
居住年数	人数	割合
総数	209	100.0%
3年未満	93	44.5%
3～5年未満	47	22.5%
5～10年未満	40	19.1%
10～20年未満	13	6.2%
20～30年未満	6	2.9%
30年以上	8	3.8%
無回答	2	1.0%



**問6 あなたのお住まいは中学校区で分類するとどの地区でしたか。[1つに○]**

- ・「勝田第一中学区」が12.9%で最も多くなっている。
- ・「わからない」との回答は42.6%となっている。

総数	209	100.0%
勝田第一中学区	27	12.9%
勝田第二中学区	9	4.3%
勝田第三中学区	8	3.8%
佐野中学区	18	8.6%
大島中学区	18	8.6%
田彦中学区	16	7.7%
那珂湊中学区	8	3.8%
平磯中学区	2	1.0%
阿字ヶ浦中学区	0	0.0%
分からない	89	42.6%
無回答	14	6.7%



**問7 転出後のご住所について、差し支えない範囲でカッコ内にご記入ください。**

- ・転出先の都道府県では、「茨城県」が回答数 84 件で最多、「東京都」が 27 件で次点となっている。
- ・転出先の市町村では、「水戸市」が回答数 32 件で最多、「那珂市」、「日立市」、「東海村」がそれぞれ回答数 10 件で続いている。

上位 5 都道府県		上位 5 市町村	
都道府県	回答数	市町村	回答数
茨城県	84	水戸市	32
東京都	27	那珂市	10
神奈川県	17	日立市	10
埼玉県	15	東海村	10
千葉県	14	横浜市	6

問8 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。転出前と転出後で、それぞれあてはまるものを次の中からお選びください。[各1つに〇]

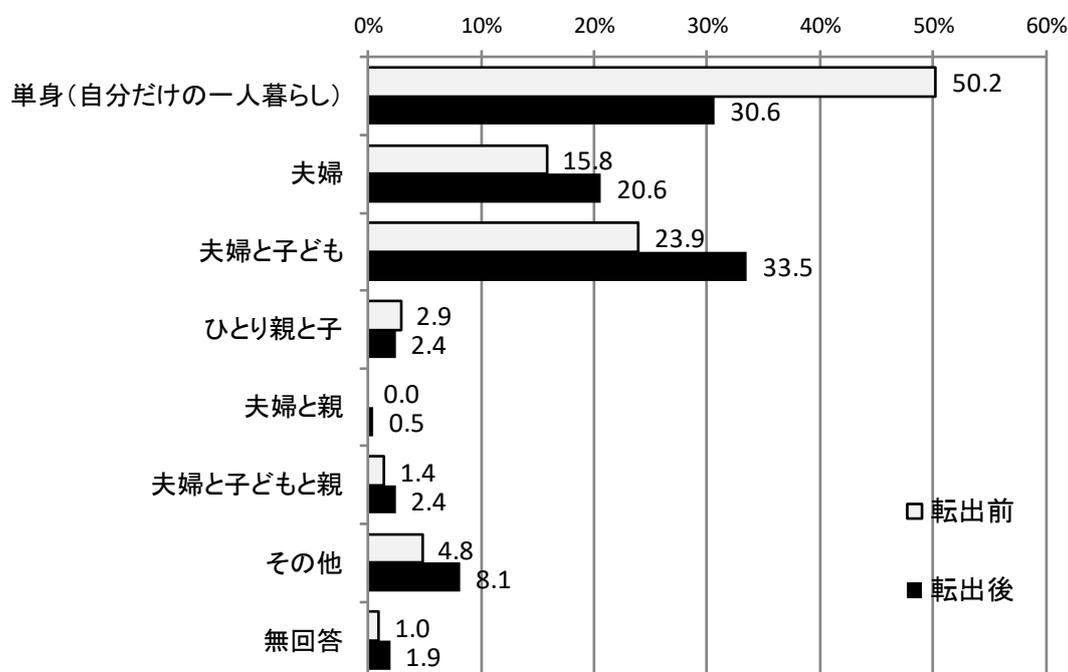
- 転出前の同居家族の構成では、「単身（自分だけの一人暮らし）」が 50.2%で最も多く、「夫婦と子ども」が 23.9%で続いている。
- 転出後の同居家族の構成は、「夫婦と子ども」が 33.5%で最も多く、「単身（自分だけの一人暮らし）」が 30.6%で次点となっている。
- 転出前後の比較では、「単身（自分だけの一人暮らし）」は転出後では 19.6%減少し、「夫婦」で 4.8%、「夫婦と子ども」で 9.6%増加している。
- 『その他』の回答では、「親と兄弟」、「単身赴任」等の回答が挙がっている。

【転出前の同居家族の構成】

総数	209	100.0%
単身(自分だけの一人暮らし)	105	50.2%
夫婦	33	15.8%
夫婦と子ども	50	23.9%
ひとり親と子	6	2.9%
夫婦と親	0	0.0%
夫婦と子どもと親	3	1.4%
その他	10	4.8%
無回答	2	1.0%

【転出後の同居家族の構成】

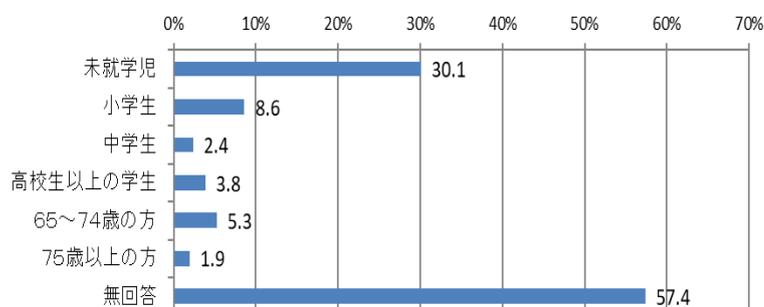
総数	209	100.0%
単身(自分だけの一人暮らし)	64	30.6%
夫婦	43	20.6%
夫婦と子ども	70	33.5%
ひとり親と子	5	2.4%
夫婦と親	1	0.5%
夫婦と子どもと親	5	2.4%
その他	17	8.1%
無回答	4	1.9%



問9 転出後の同居家族に次の方はいますか。[あてはまるものすべてに○]

- ・「未就学児」が30.1%で最も多く選択されており、「小学生」が8.6%、「65～74歳の方」が5.3%で続いている。

総数	209	100.0%
未就学児	63	30.1%
小学生	18	8.6%
中学生	5	2.4%
高校生以上の学生	8	3.8%
65～74歳の方	11	5.3%
75歳以上の方	4	1.9%
無回答	120	57.4%



問10 あなたのお住まいの形態は、次のどれにあたりますか。転出前と転出後で、それぞれあてはまるものを次の中からお選びください。[各1つに○]

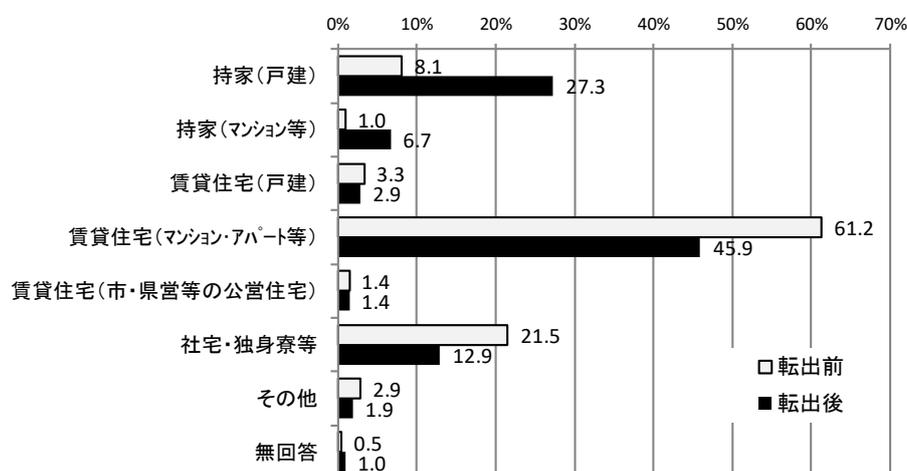
- ・転出前の住まいでは「賃貸住宅（マンション・アパート等）」が61.2%で最も多く、「社宅・独身寮等」が21.5%で続いている。
- ・転出後の住まいでも、「賃貸住宅（マンション・アパート等）」が45.9%で最多だが、「持家」（戸建、マンション等の合計）と回答した方の割合は34.0%で転出前に比べ24.9%増加している。
- ・『その他』の回答では、「親の家」等の回答がみられる。

【転出前の住まい】

総数	209	100.0%
持家(戸建)	17	8.1%
持家(マンション等)	2	1.0%
賃貸住宅(戸建)	7	3.3%
賃貸住宅(マンション・アパート等)	128	61.2%
賃貸住宅(市・県営等の公営住宅)	3	1.4%
社宅・独身寮等	45	21.5%
その他	6	2.9%
無回答	1	0.5%

【転出後住まい】

総数	209	100.0%
持家(戸建)	57	27.3%
持家(マンション等)	14	6.7%
賃貸住宅(戸建)	6	2.9%
賃貸住宅(マンション・アパート等)	96	45.9%
賃貸住宅(市・県営等の公営住宅)	3	1.4%
社宅・独身寮等	27	12.9%
その他	4	1.9%
無回答	2	1.0%

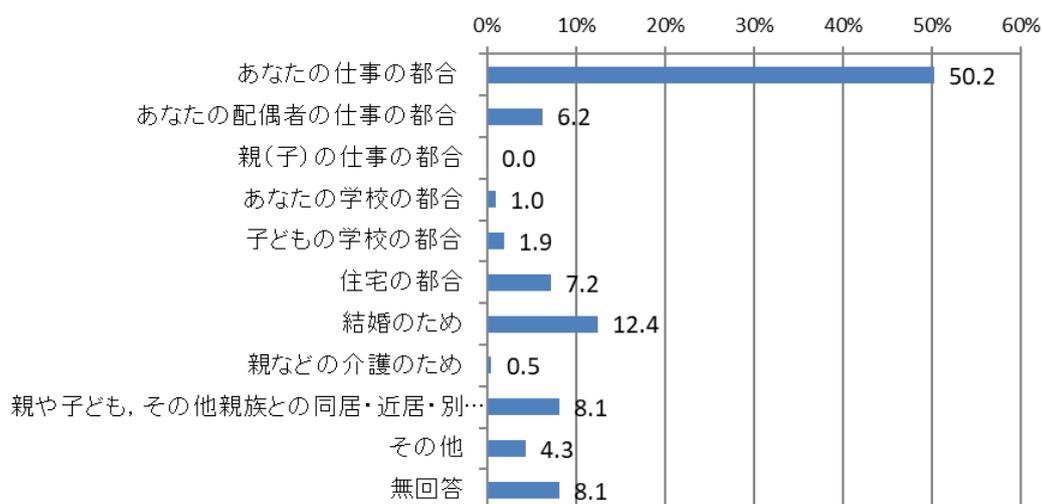


(2) 転出のきっかけやひたちなか市の住み心地などについて

問 11 ひたちなか市から転出されることになった、もっとも大きなきっかけは何ですか。  
 [1つに〇, 内容も1つに〇]

- ・「あなたの仕事の都合」が50.2%で最多, 「結婚のため」が12.4%で続いている。
- ・「あなたの仕事の都合」の内容では, 「転勤」が64.8%で最多, 「転職」が43.8%で続いている。
- ・『その他』の回答では, 「出産」, 「離婚」等の回答がみられた。

総数	209	100.0%
あなたの仕事の都合	105	50.2%
あなたの配偶者の仕事の都合	13	6.2%
親(子)の仕事の都合	0	0.0%
あなたの学校の都合	2	1.0%
子どもの学校の都合	4	1.9%
住宅の都合	15	7.2%
結婚のため	26	12.4%
親などの介護のため	1	0.5%
親や子ども, その他親族との同居・近居・別居のため	17	8.1%
その他	9	4.3%
無回答	17	8.1%



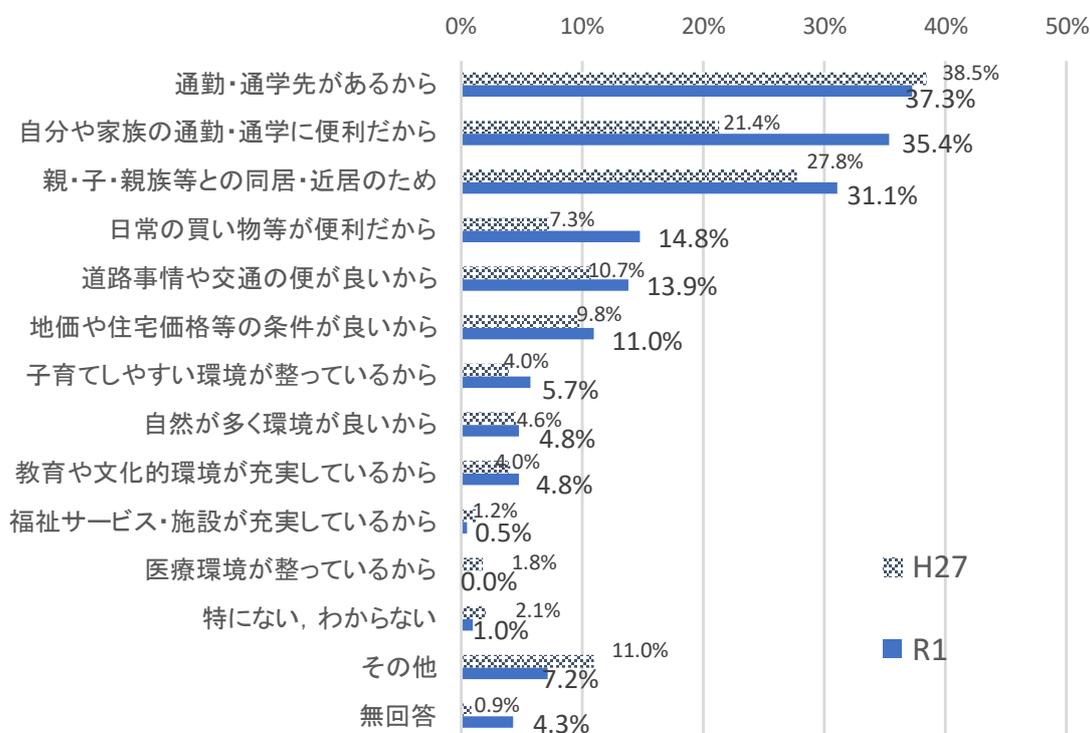
【仕事の都合の内容について】

内容	あなたの仕事の都合		あなたの配偶者の仕事の都合	
	回答数	割合	回答数	割合
就職	5	4.8%	1	7.7%
転職	46	43.8%	7	53.8%
転勤	68	64.8%	4	30.8%
退職	5	4.8%	0	0%
その他	1	3.3%	0	0%

**問 12 あなたが現在の居住地に住むことを決めた主な理由は何ですか。〔3つまでに〇〕**

- ・「通勤・通学先があるから」が最も選択されており、37.3%が選択している。「自分や家族の通勤・通学に便利だから」が35.4%、「親・子・親族等との同居・近居のため」が14.8%で続いている。
- ・前回調査（H27）との比較では、「自分や家族の通勤・通学に便利だから」と回答する割合が増え、14.0%と大きく増加している。
- ・『その他』の回答では、「家を建てるため」、「配偶者の勤務先が近い」、「会社指定」等の回答が挙がっている。

理由	総数	割合
通勤・通学先があるから	78	37.3%
自分や家族の通勤・通学に便利だから	74	35.4%
親・子・親族等との同居・近居のため	65	31.1%
日常の買い物等が便利だから	31	14.8%
道路事情や交通の便が良いから	29	13.9%
地価や住宅価格等の条件が良いから	23	11.0%
子育てしやすい環境が整っているから	12	5.7%
自然が多く環境が良いから	10	4.8%
教育や文化的環境が充実しているから	10	4.8%
特にない, わからない	2	1.0%
福祉サービス・施設が充実しているから	1	0.5%
医療環境が整っているから	0	0.0%
その他	15	7.2%
無回答	9	4.3%



※回答者の属性別の住むことを決めた主な理由について

- 性別の回答結果では、「男性」は「通勤・通学先があるから」が最多、「女性」は「自分や家族の通勤・通学に便利だから」が最多となっている。また、女性の回答では「道路事情や交通の便が良いから」の回答割合が高くなっている。
- 年齢別の回答結果では、「25～29歳」で「日常の買い物等が便利だから」の回答が多くなっている。
- 転出前の家族構成別の回答結果では、「夫婦」世帯は「自分や家族の通勤・通学に便利だから」が最多、「夫婦と子ども」世帯では、「親・子・親族等との同居・近居のため」が最多となっている。
- 持家（戸建）での生活のため市外へ転出した方の理由は「親・子・親族等との同居・近居のため」に加え「地価や住宅価格等の条件が良いから」や「子育てしやすい環境が整っているから」の割合が高くなっている。

【性別の回答結果】

%	通勤・通学先があるから	自分や家族の通勤・通学に便利だから	親・子・親族等との同居・近居のため	地価や住宅価格等の条件が良いから	日常の買い物等が便利だから	道路事情や交通の便が良いから	自然が多く環境が良いから	教育や文化的環境が充実しているから	子育てしやすい環境が整っているから	医療環境が整っているから	福祉サービス・施設が充実しているから	その他	特にない、わからない	無回答
総数	37.3%	35.4%	31.1%	11.0%	14.8%	13.9%	4.8%	4.8%	5.7%	0.0%	0.5%	7.2%	1.0%	4.3%
男性	41.1%	35.6%	31.5%	9.6%	13.7%	10.3%	6.2%	3.4%	6.2%	0.0%	0.7%	5.5%	1.4%	3.4%
女性	28.8%	35.6%	32.2%	15.3%	15.3%	23.7%	1.7%	6.8%	5.1%	0.0%	0.0%	11.9%	0.0%	5.1%

【年齢別の回答結果】

%	通勤・通学先があるから	自分や家族の通勤・通学に便利だから	親・子・親族等との同居・近居のため	地価や住宅価格等の条件が良いから	日常の買い物等が便利だから	道路事情や交通の便が良いから	自然が多く環境が良いから	教育や文化的環境が充実しているから	子育てしやすい環境が整っているから	医療環境が整っているから	福祉サービス・施設が充実しているから	その他	特にない、わからない	無回答
総数	37.3%	35.4%	31.1%	11.0%	14.8%	13.9%	4.8%	4.8%	5.7%	0.0%	0.5%	7.2%	1.0%	4.3%
18～24歳	38.5%	23.1%	53.8%	0.0%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25～29歳	34.2%	39.5%	23.7%	15.8%	26.3%	15.8%	2.6%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	13.2%	0.0%	2.6%
30～34歳	29.1%	40.0%	34.5%	12.7%	14.5%	16.4%	3.6%	7.3%	9.1%	0.0%	0.0%	3.6%	1.8%	1.8%
35～39歳	41.7%	36.1%	30.6%	5.6%	11.1%	11.1%	8.3%	5.6%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	8.3%
40～44歳	40.0%	31.4%	37.1%	17.1%	17.1%	14.3%	5.7%	5.7%	11.4%	0.0%	2.9%	5.7%	0.0%	2.9%
45歳以上	44.8%	34.5%	20.7%	6.9%	3.4%	10.3%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	20.7%	0.0%	6.9%

【転出前の家族構成別の回答結果】

%	通勤・通学先があるから	自分や家族の通勤・通学に便利だから	親・子・親族等との同居・近居のため	地価や住宅価格等の条件が良いから	日常の買い物等が便利だから	道路事情や交通の便が良いから	自然が多く環境が良いから	教育や文化的環境が充実しているから	子育てしやすい環境が整っているから	医療環境が整っているから	福祉サービス・施設が充実しているから	その他	特にない、わからない	無回答
総数	37.3%	35.4%	31.1%	11.0%	14.8%	13.9%	4.8%	4.8%	5.7%	0.0%	0.5%	7.2%	1.0%	4.3%
単身(自分だけの一人暮らし)	41.9%	32.4%	23.8%	9.5%	18.1%	17.1%	3.8%	2.9%	1.0%	0.0%	0.0%	9.5%	1.0%	1.9%
夫婦	39.4%	45.5%	36.4%	6.1%	18.2%	15.2%	3.0%	3.0%	9.1%	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%	3.0%
夫婦と子ども	32.0%	38.0%	44.0%	16.0%	10.0%	6.0%	8.0%	8.0%	12.0%	0.0%	0.0%	6.0%	2.0%	6.0%

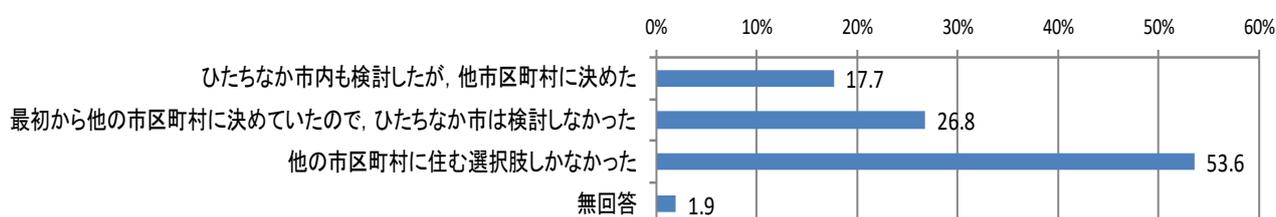
【転出後の住居形態別の現在の居住地に住むことを決めた主な理由への回答割合】

%	通勤・通学先があるから	自分や家族の通勤・通学に便利だから	親・子・親族等との同居・近居のため	地価や住宅価格等の条件が良いから	日常の買い物等が便利だから	道路事情や交通の便が良いから	自然が多く環境が良いから	教育や文化的環境が充実しているから	子育てしやすい環境が整っているから	医療環境が整っているから	福祉サービス・施設が充実しているから	その他	特にない、わからない	無回答
総数	37.7%	35.3%	30.9%	10.6%	15.0%	14.0%	4.8%	4.3%	5.8%	0.0%	0.5%	7.2%	1.0%	4.3%
持家(戸建)	14.3%	26.8%	66.1%	16.1%	3.6%	5.4%	8.9%	3.6%	12.5%	0.0%	1.8%	8.9%	0.0%	3.6%
賃貸住宅(マンション・アパート等)	44.8%	47.9%	15.6%	8.3%	24.0%	18.8%	3.1%	4.2%	2.1%	0.0%	0.0%	6.3%	2.1%	1.0%

**問 13 あなたは、転出前にひたちなか市内での転居も検討されましたか。[1つに〇]**

- ・「他の市区町村に住む選択肢しかなかった（勤務先が遠方になり通えなくなった，結婚で遠方に住むことになった など）」が 53.6%で最も多くなっている。
- ・「ひたちなか市内も検討したが，他市区町村に決めた」は 17.7%となっている。
- ・ひたちなか市への愛着を感じるかについて「とても思う」，「ややそう思う」と回答した方は，「ひたちなか市内も検討したが，他市区町村に決めた」と回答する割合が高くなっている。

総数	209	100.0%
ひたちなか市内も検討したが，他市区町村に決めた	37	17.7%
最初から他の市区町村に決めていたので，ひたちなか市は検討しなかった	56	26.8%
他の市区町村に住む選択肢しかなかった（勤務先が遠方になり通えなくなった，結婚で遠方に住むことになった など）	112	53.6%
無回答	4	1.9%



**【市への愛着別（問 17）のひたちなか市内での転居の検討についての回答割合】**

%	ひたちなか市内も検討したが，他市区町村に決めた	最初から他の市区町村に決めていたので，ひたちなか市は検討しなかった	他の市区町村に住む選択肢しかなかった	無回答
総数	17.9%	27.1%	53.1%	1.9%
とても思う	29.6%	20.4%	50.0%	0.0%
ややそう思う	20.0%	27.8%	51.1%	1.1%
どちらともいえない	2.9%	25.7%	68.6%	2.9%
あまり思わない	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
まったく思わない	8.3%	16.7%	75.0%	0.0%
無回答	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%

【問14は、問13で「ひたちなか市内も検討したが、他市区町村に決めた」と回答した方におたずねします】

問14 あなたがひたちなか市内も検討した理由や要因は何ですか。また、転出先として他市区町村に決定した理由や要因は何ですか。自由にご記入ください。

- ひたちなか市内も検討した理由としては、「通勤が便利」など通勤に関する理由が多く回答されていた。また、日常の買い物が便利など住みやすさを理由としている意見もみられた。
- 他市町村に決めた理由としては、「希望する物件がない」などの住居に関する意見が挙がっていた。

【ひたちなか市内も検討した主な理由・要因】

- 夫の通勤圏内だったため
  - 夫の帰宅が遅く家族の時間を多く作るため。職場の近くに引っ越した
  - 自分が住み慣れた街だったから。住居にかかる費用が都市に比べて安いから
  - 住宅の建築（土地価格、税金関係）、子どもの就学、駅・電車による通勤時間等
  - ショッピングモールが近い、便利。飲食店が多い
  - 住みやすいから。お店も多いし
  - 地価もまだ安いし商業施設、文化施設も多い
  - 特急が停車する本数が多いのでとても便利
- 等

【「ひたちなか市内も検討したが、他市区町村に決めた」と回答した方の主な転出先と要因】

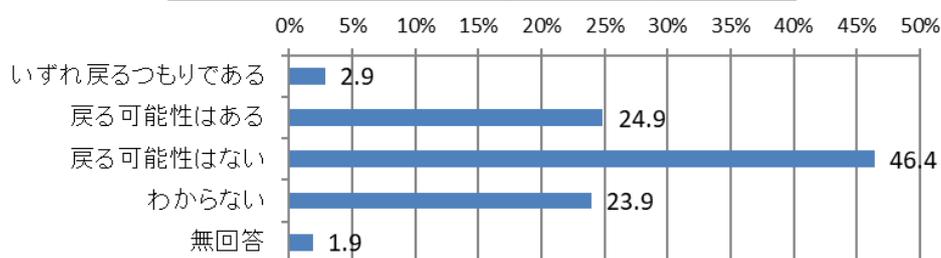
回答総数 n = 37

市町村	数	他市に決めた要因を一部抜粋
水戸市	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水戸への通勤時、道路が混むので職場の近い水戸に</li> <li>• 希望する条件の物件がなかった</li> <li>• 子どもの学校、通勤を便利にするため</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
日立市	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 勤め先が遠かったのでひたちなか市は断念</li> <li>• 共働きのため近くに親族等がいると安心だから</li> </ul>
那珂市	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 夫婦の職場から一番近い場所にした</li> <li>• 子どもの福祉面でも他と変わらない</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
東海村	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地がなかった（佐和駅側）</li> <li>• 家賃が高かったため（ひたちなか市の方が）</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

**問 15 あなたは将来、ひたちなか市に戻ることがあると思いますか。[1つに〇]**

- 将来ひたちなか市に「いずれ戻るつもりである」と回答した方は 2.9%、「戻る可能性はある」の回答割合は 24.9%となっている。

総数	209	100.0%
いずれ戻るつもりである	6	2.9%
戻る可能性はある	52	24.9%
戻る可能性はない	97	46.4%
わからない	50	23.9%
無回答	4	1.9%

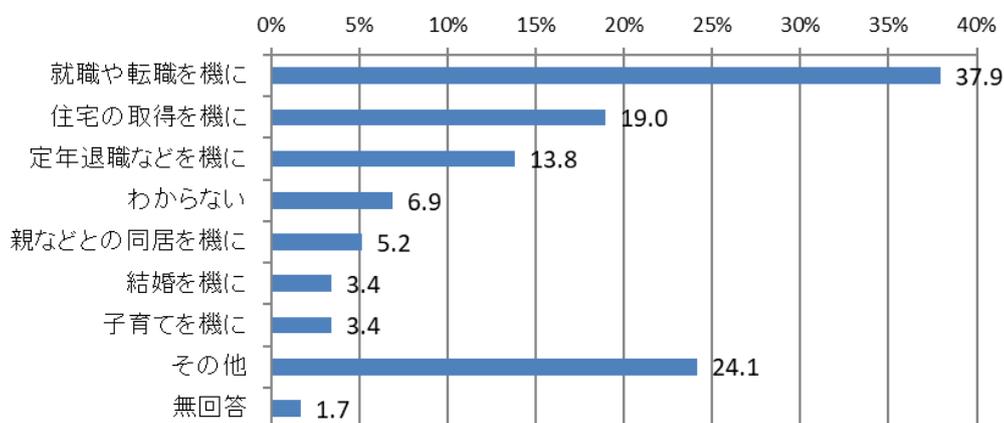


【問 15 で「1. いずれ戻るつもりである」「2. 戻る可能性はある」と回答した方が対象】

**問 15-1 戻るとしたらどのようなきっかけが考えられますか。[2つまでに〇]**

- 将来ひたちなか市に戻るきっかけについて、「就職や転職を機に」が 37.9%と最も高くなっており、「住宅の取得を機に」が 19.0%で次点となっている。

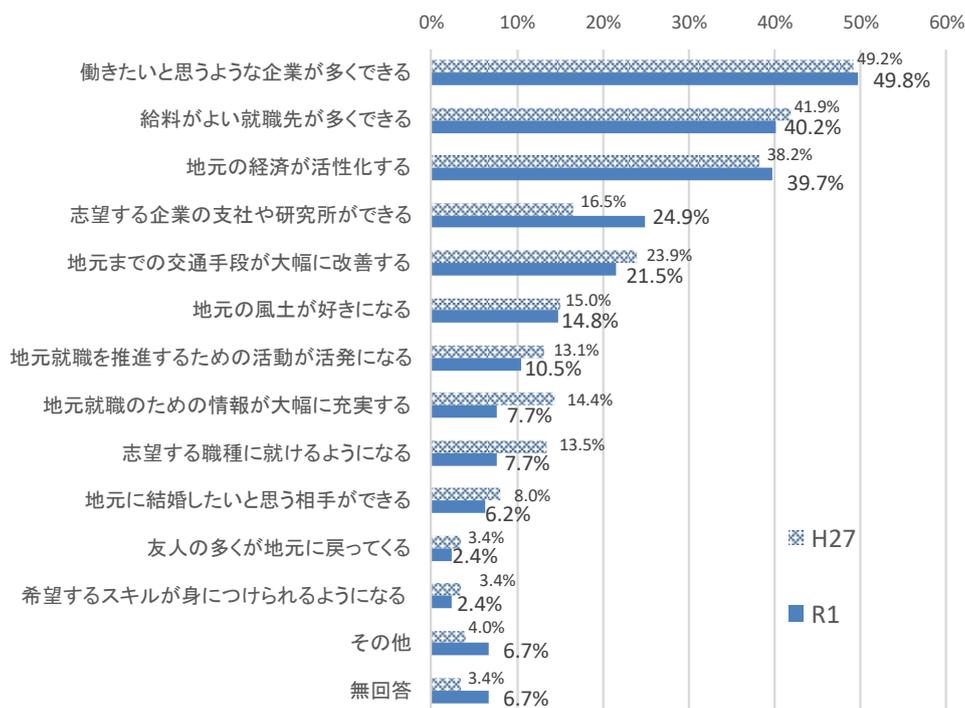
総数	58	100.0%
就職や転職を機に	22	37.9%
住宅の取得を機に	11	19.0%
定年退職などを機に	8	13.8%
わからない	4	6.9%
親などとの同居を機に	3	5.2%
結婚を機に	2	3.4%
子育てを機に	2	3.4%
その他	14	24.1%
無回答	1	1.7%



問 16 進学等で一度市外へ転出した方の U ターン就職などを含め、ひたちなか市で居住する方の増加につながるものとして、必要と思うことをお答えください。[3つまでに〇]

- ・「働きたいと思うような企業が多くできる」が 49.8%で最も多く回答されている。「給料がよい就職先が多くできる」、「地元の経済が活性化する」が続いている。
- ・前回調査（H27）との比較では、上位の項目に大きな変化はなかった。「志望する企業の支社や研究所ができる」との回答が前回調査に比べ 8.4%増加し、24.9%となっている。
- ・『その他』の回答では、「買い物や娯楽(スポーツ系、ショッピング系)が多くできる」や「交通（電車、バス）の本数をもっと多くなる」、「女性の職場、職権を増やす（特に高技能・高学歴向けの仕事がない）」といった回答が挙がっていた。

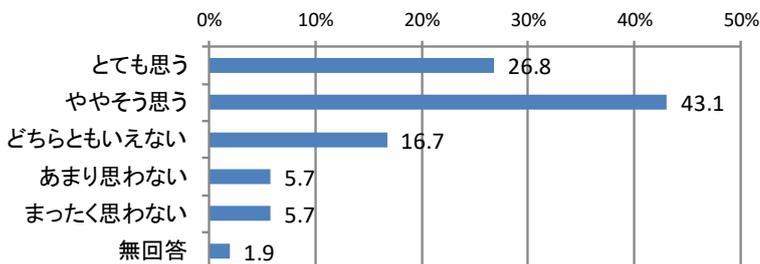
総数	209	100.0%
働きたいと思うような企業が多くできる	104	49.8%
給料がよい就職先が多くできる	84	40.2%
地元の経済が活性化する	83	39.7%
志望する企業の支社や研究所ができる	52	24.9%
地元までの交通手段が大幅に改善する	45	21.5%
地元の風土が好きになる	31	14.8%
地元就職を推進するための活動が活発になる	22	10.5%
地元就職のための情報が大幅に充実する	16	7.7%
志望する職種に就けるようになる	16	7.7%
地元で結婚したいと思う相手ができる	13	6.2%
友人の多くが地元に戻ってくる	5	2.4%
希望するスキルが身につけられるようになる	5	2.4%
その他	14	6.7%
無回答	14	6.7%



問 17 あなたは、ひたちなか市に愛着を感じますか（もしくは関心がありますか）。[1つに○]

- 「ややそう思う」が43.1%で最も多く、「とても思う」が26.8%が続いている。

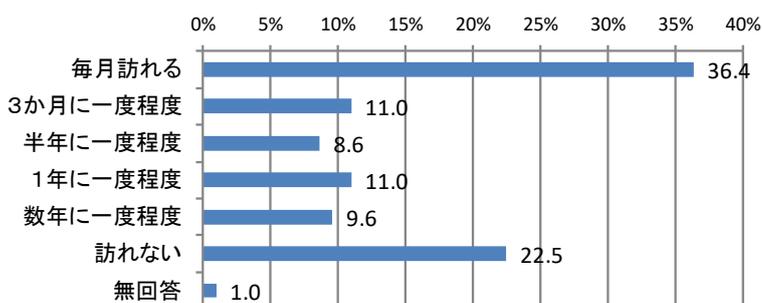
総数	209	100.0%
とても思う	56	26.8%
ややそう思う	90	43.1%
どちらともいえない	35	16.7%
あまり思わない	12	5.7%
まったく思わない	12	5.7%
無回答	4	1.9%



問 18 現在、あなたがひたちなか市を訪れる頻度をお選びください。また訪れる方はその主な理由をご記入ください。[1つに○]

- 「毎月訪れる」が36.4%で最も多く、「訪れない」が22.5%で次点となっている。
- 主に訪れる理由では、「友人等に会う」、「仕事」、「買い物」の順となっている。

総数	209	100.0%
毎月訪れる	76	36.4%
3か月に一度程度	23	11.0%
半年に一度程度	18	8.6%
1年に一度程度	23	11.0%
数年に一度程度	20	9.6%
訪れない	47	22.5%
無回答	2	1.0%



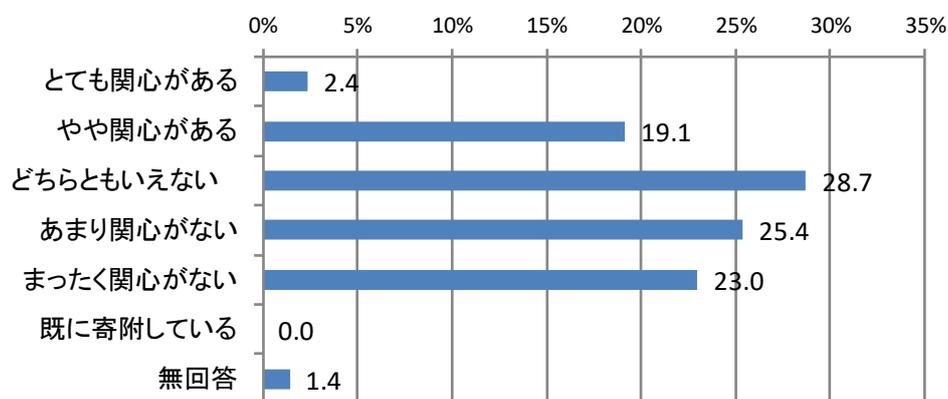
【主に訪れる理由】

理由	回答例	回答数
友人等に会う	・友人と合うため 等	40
仕事	・仕事の関係で ・職場があるから 等	36
買い物	・買い物 ・ショッピングセンターやコストコを利用するため 等	35
家族関係	・子どもが住んでいる ・実家への帰省 等	14
イベント	・Rock in Japan/ネモフィラ/出張 ・ひたち海浜公園, 海, マラソン大会等イベント 等	10

**問 19 あなたは、ひたちなか市へのふるさと納税に関心がありますか。[1つに〇]**

- ひたちなか市へのふるさと納税への関心について、「どちらともいえない」が 28.7%で最も多くなっており、「とても関心がある」は 2.4%、「やや関心がある」は 19.1%となっている。

総数	209	100.0%
とても関心がある	5	2.4%
やや関心がある	40	19.1%
どちらともいえない	60	28.7%
あまり関心がない	53	25.4%
まったく関心がない	48	23.0%
既に寄附している	0	0.0%
無回答	3	1.4%



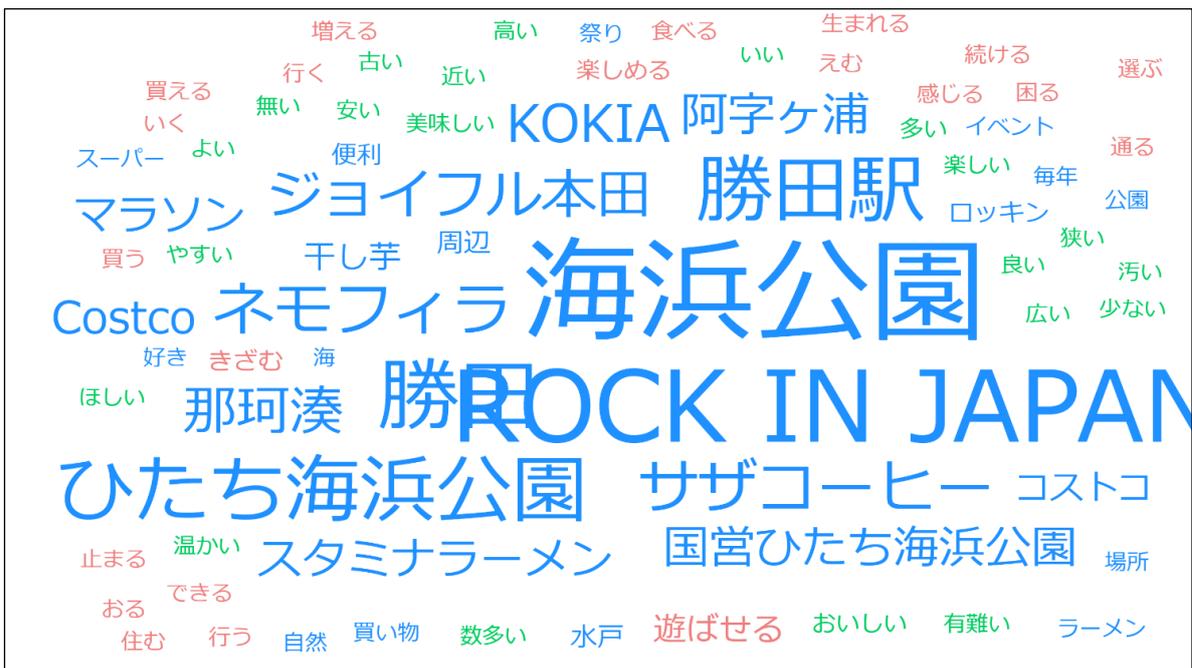
問 20 ひたちなか市で、あなたのお気に入りと感じたもの（イベント、場所、体験、グルメ、店舗など）は何ですか。自由にご記入ください。

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）により分析

■ワードクラウド

・「海浜公園」、「ROCK IN JAPAN」、「勝田駅」、「サザコーヒー」といったワードが出現している。



■単語出現度

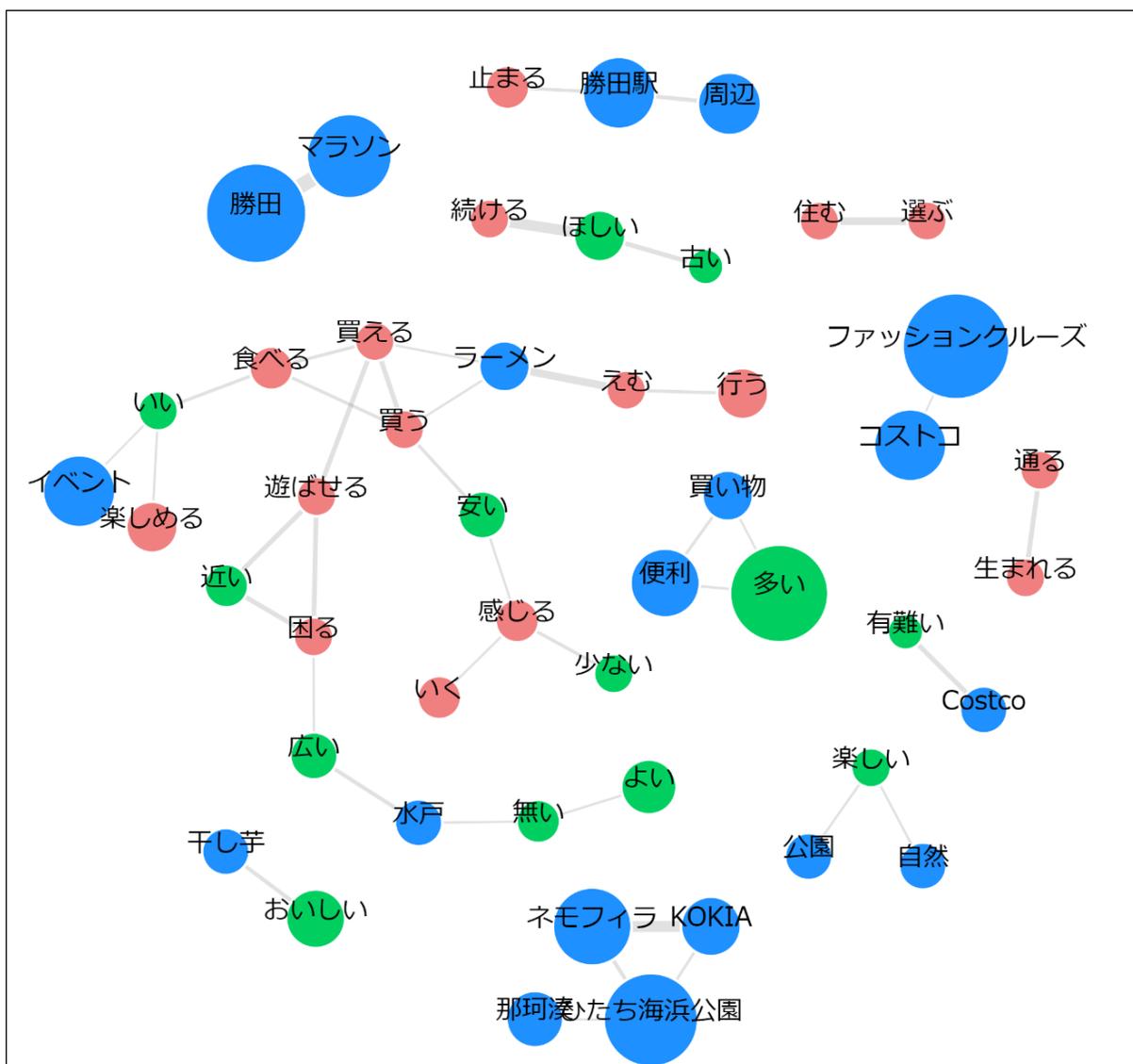
・「海浜公園」、「ROCK IN JAPAN」、「マラソン」、「勝田」等の出現回数が多くなっている。

（一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語（※良い、多い等））

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
海浜公園	名詞	33	マラソン	名詞	17
ROCK IN JAPAN	名詞	25	ネモフィラ	名詞	15
ファッションクルーズ	名詞	24	勝田駅	名詞	13
勝田	名詞	22	コストコ	名詞	13
ひたち海浜公園	動詞	20	イベント	名詞	13

## ■出現パターン

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「海浜公園」は「ネモフィラ」や「KOKIA」との関連が多い。
- また、「多い」は「買い物」、「便利」と関連して出現している傾向がある。



## ■自由記述分析結果まとめ

○ネモフィラや KOKIA や ROCK IN JAPAN 等の海浜公園がお気に入りと回答している人が多い。また、ファッショングルーズなど買い物が便利なることを気に入っている人も多い。

○その他として、サザコーヒーや美味しい干し芋、勝田マラソン等の意見もみられる。

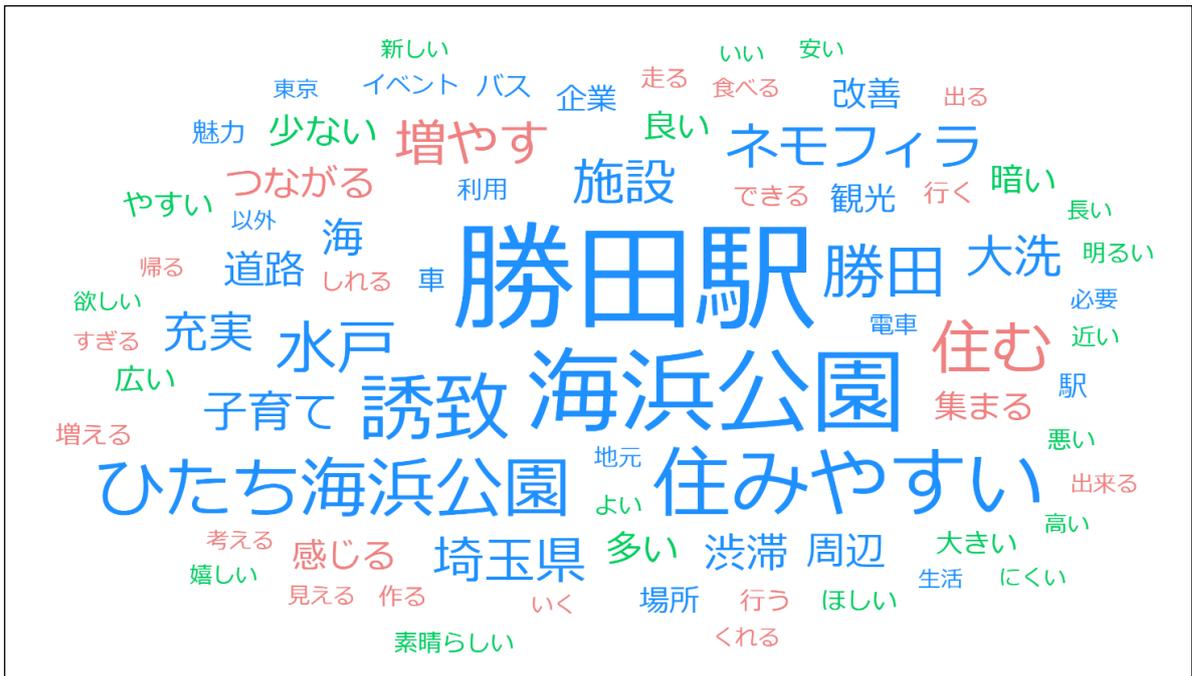
◇今後のひたちなか市のまちづくりに関するご意見やアイデアなどありましたら、自由にご記入ください。

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）により分析

■ワードクラウド

- ・「勝田駅」、「海浜公園」、「住みやすい」、「誘致」といったワードが出現している。



■単語出現度

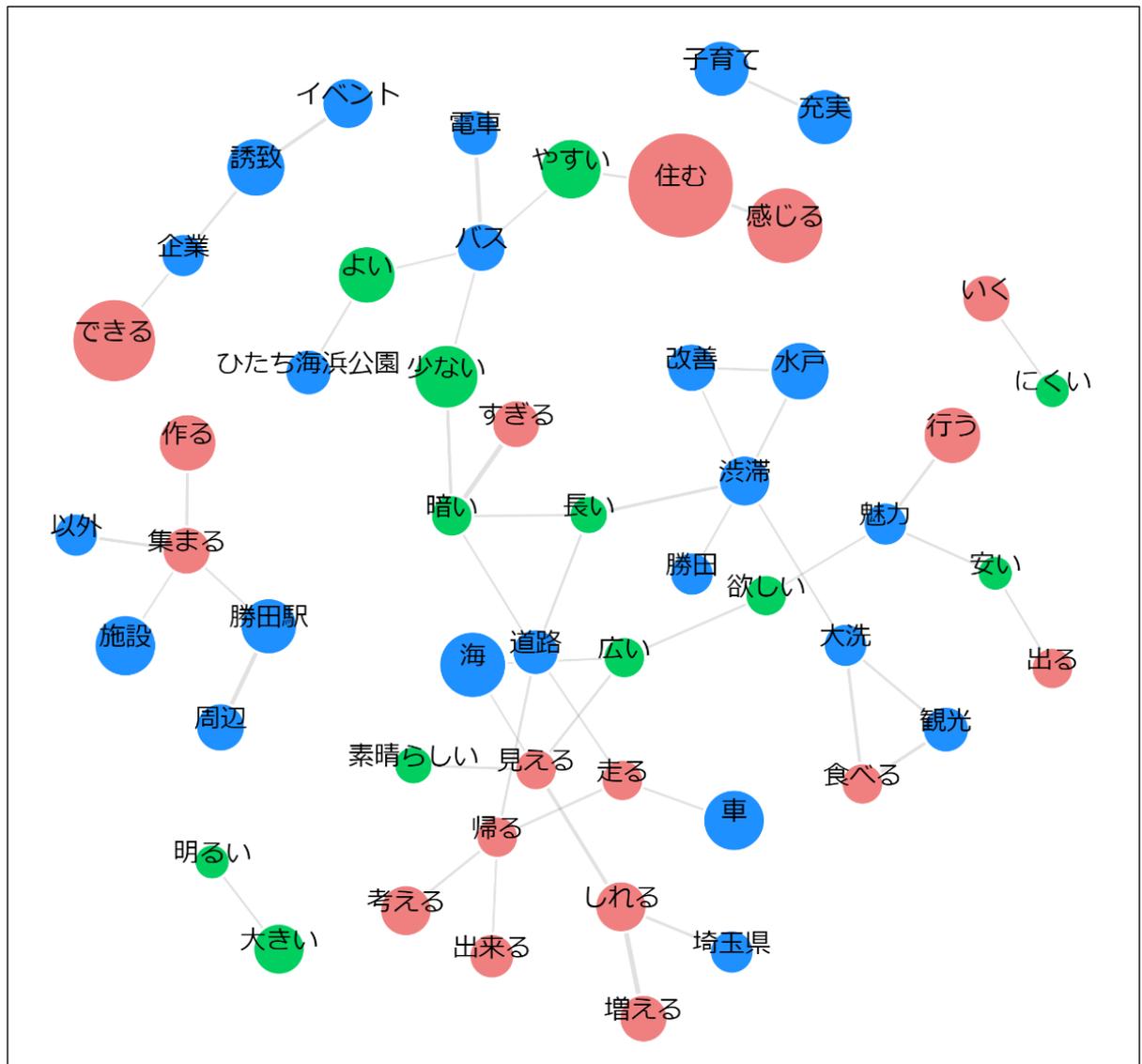
- ・「海」、「施設」、「車」、「海浜公園」等の出現回数が多くなっている。
- ・その他に「誘致」、「水戸」、「勝田駅」、「子育て」等の単語の出現回数も多くなっている。

（一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語（※良い、住む、行く、多い等）

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
海	名詞	16	水戸	名詞	13
施設	名詞	14	勝田駅	名詞	12
車	名詞	14	子育て	名詞	12
海浜公園	名詞	13	充実	名詞	12
誘致	名詞	13	駅	名詞	11

## ■出現パターン

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「住む」は「やすい」や「バス」、「電車」との関連が多い。
- また、「誘致」は「イベント」や「企業」と、「水戸」は「渋滞」や「改善」と関連して出現している傾向がある。



## ■ 自由記述分析結果まとめ

- 転入者アンケートの特徴として“勝田駅”に関する意見が特徴としてみられるほか、水戸への渋滞の改善など水戸とひたちなかの関係性に関する意見も多くみられた。
- また、イベントや企業の誘致など、外から何かを誘致する視点での意見もみられる。
- その他の意見として、“海”に関する意見も多い傾向がある。

# ひたちなか市定住意向意識調査

令和元年 9 月

皆さまへ

ひたちなか市長 大谷 明

## ご協力のおねがい

皆さまには、平素から市政へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
市では、現在、令和3年度から令和7年度までを計画期間とし、本市のまちづくりにおいて最上位の指針となる「ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画」及び人口減少への対応や地方創生を推進する「第2期ひたちなか市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に着手しています。

これらの計画の策定にあたり、市内にお住いの若い世代の方々の将来に関するお考えなど、率直なご意見をお聞きするため、アンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、令和元年8月1日現在で、市内に3年以上お住いの満18歳以上40歳未満の方から、無作為に選んだ2,000名の方々をお願いしております。

ご多用中のところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ひたちなか市のまちづくりのためにご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果につきまして、個人が特定される形での公表や、ご回答の内容が皆さまの不利益となるようなことはございません。

### ●調査票のご記入にあたって

- ・封書の宛名のご本人がお答えください。  
(令和元年8月1日以降に市外へ転出された方につきましては、ご回答いただく必要はございません。令和元年8月1日現在の情報を元に送付しておりますのでご容赦ください。)
- ・設問ごとの説明にしたがって、当てはまる番号に○印をつけてください。
- ・「その他」を選択された場合は、( ) 内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封いたしました返信用封筒に入れて、

**令和元年 9月30日(月) までに**

郵便ポストにご投函ください。

(返信用封筒には、切手を貼ったり、差出人の名前を書く必要はありません。)

- ・ご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

### 【お問い合わせは】

ひたちなか市企画部企画調整課(担当: 齊藤, 丸岡)

電話 029-273-0111 内線1313

Eメールアドレス kikaku@city.hitachinaka.lg.jp





問 10 あなたは、ひたちなか市について、友人、知人にどの程度おすすめできますか。次の項目について、あなたの考えに最も近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

項 目	おすすめ できる		おすすめ できない
1. 全般的によいまちであること	10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0
2. 買い物・遊びなどで訪れること	10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0
3. 住むこと	10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0
4. 働くこと	10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0
5. 子育てすること	10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0
6. 仕事後の時間を楽しむこと	10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0
7. いろいろな人と交友を深めること	10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0
8. 趣味や教養を深めること	10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0
9. デートすること	10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0
10. その他〔具体的に： <span style="float: right;">]</span>	10	9 8 7 6 5 4 3 2 1	0

## 就労について

問 11 あなたは現在、就労していますか。【1つに○】

- |                            |            |
|----------------------------|------------|
| 1. 就労している（育休中・産休中等を含む）     | →問 11-1～4へ |
| 2. 就労していない（在学中，専業主婦・主夫を含む） | →問 11-5～7へ |

問 11-1～4 は、問 11 で「1. 就労している」と回答した方におたずねします

問 11-1 あなたのお仕事について、業種、職種、就業形態をお答えください。【1つに○】

(1) 業 種	1. 農業・漁業 4. 情報通信業 7. 金融業，保険業 9. 学術研究，専門・技術サービス業 11. 生活関連サービス業，娯楽業 13. 医療，福祉 15. その他（ ）	2. 建設業 5. 運輸業 8. 不動産業，物品賃貸業 10. 宿泊業，飲食サービス業 12. 教育，学習支援業 14. 公務	3. 製造業 6. 卸売業，小売業 8. 不動産業，物品賃貸業 10. 宿泊業，飲食サービス業 12. 教育，学習支援業
(2) 職 種	1. 管理的職業 3. 技術的職業 5. 営業・販売の職業 7. 保安の職業 9. 生産工程の職業 11. 建設等の職業 13. その他（ ）	2. 専門的職業 4. 事務的職業 6. サービスの職業 8. 農・漁業の職業 10. 輸送・機械運転の職業 12. 運搬・清掃・包装等の職業	
(3) 就業 形態	1. 正規の職員・従業員 3. 労働者派遣事業所の派遣社員 5. 自営業（経営者） 7. その他（ ）	2. 契約社員 4. パート・アルバイト 6. 内職	

問 11-2 あなたの勤務先はどちらですか。【1つに○】

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. ひたちなか市内（自宅勤務を含む） | 2. ひたちなか市以外の茨城県内 |
| 3. 東京圏              | 4. その他（ ）        |

問 11-3 あなたは現在の仕事に満足していますか。【1つに○】

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1. 満足している    | 2. どちらかと言えば満足している  |
| 3. 満足していない   | 4. どちらかといえば満足していない |
| 5. どちらともいえない |                    |

問 11-4 その理由をお答えください。

問 12 へ 

**問 11-5~7 は、問 11 で「2. 就労していない」と回答した方におたずねします**

**問 11-5 あなたが就労していない理由をお答えください。[3つまでに○]**

1. 在学中	2. 求職中
3. 希望の職種、待遇の仕事が見つからない	4. 希望の時間帯に働ける仕事が見つからない
5. 出産予定	6. 子育てで忙しい
7. 看護・介護で忙しい	8. 自身の健康上の問題
9. 家庭生活との両立が難しい	10. パートナーの理解や協力が得られない
11. 家族の理解や協力が得られない	12. パートナーの転勤が多いため
13. 経済的に困っていない	14. 主婦・主夫業に専念したい
15. その他 ( )	

**問 11-6 もしあなたが仕事に就くなら、どのような業種、職種、就業形態をそれぞれ希望しますか。[2つまでに○]**

<b>(1) 業 種</b>	1. 農業・漁業	2. 建設業	3. 製造業
	4. 情報通信業	5. 運輸業	6. 卸売業、小売業
	7. 金融業、保険業		8. 不動産業、物品賃貸業
	9. 学術研究、専門・技術サービス業		10. 宿泊業、飲食サービス業
	11. 生活関連サービス業、娯楽業		12. 教育、学習支援業
	13. 医療、福祉		14. 公務
	15. その他 ( )	16. 業種は問わない	
<b>(2) 職 種</b>	1. 管理的職業	2. 専門的職業	
	3. 技術的職業	4. 事務的職業	
	5. 営業・販売の職業	6. サービスの職業	
	7. 保安の職業	8. 農・漁業の職業	
	9. 生産工程の職業	10. 輸送・機械運転の職業	
	11. 建設等の職業	12. 運搬・清掃・包装等の職業	
	13. その他 ( )	14. 職種は問わない	
<b>(3) 就 業 形 態</b>	1. 正規の職員・従業員	2. 契約社員	
	3. 労働者派遣事業所の派遣社員	4. パート・アルバイト	
	5. 自営業（経営者）	6. 内職	
	7. その他 ( )	8. 就業形態は問わない	

**問 11-7 就労する場合の希望勤務地はどちらですか。[1つに○]**

1. ひたちなか市内（自宅勤務を含む）	2. ひたちなか市以外の茨城県内
3. 東京圏	4. その他 ( )
5. 場所は問わない	



## 定住意向などについて

問 12 あなたはいつからひたちなか市にお住まいですか。[1つに○]

1. 転入してきた時から →問 12-1, 12-2 へ
2. 生まれた時からずっと →問 13 へ

**問 12-1, 12-2 は問 12 で「1. 転入してきた時から」と回答した方におたずねします**

問 12-1 あなたの生まれはどちらですか。[1つに○]

1. ひたちなか市
2. 茨城県内の他の市町村（具体的に： \_\_\_\_\_ 市・町・村）
3. その他（都道府県名： \_\_\_\_\_ ）

問 12-2 転入前の住所地はどちらですか。[1つに○]

1. 茨城県内の他の市町村（具体的に： \_\_\_\_\_ 市・町・村）
2. その他（都道府県名： \_\_\_\_\_ ）

**全ての方におたずねします**

問 13 あなたは、これからもひたちなか市に住み続けたいと思いますか。[1つに○]

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 住み続けたい       | →問 13-1 へ       |
| 2. 市内の別の場所に移りたい |                 |
| 3. 市外に移りたい      | →問 13-2, 13-3 へ |
| 4. わからない        | →問 14 へ         |

**問 13 で「1.住み続けたい」「2.市内の別の場所に移りたい」と回答した方におたずねします**

問 13-1 市内に住み続けたいと思う理由についてお答えください。[あてはまるものすべてに○]

1. 通勤・通学先が市内にあるから
2. 自分や家族の通勤・通学に便利だから
3. 親・子・親族等との同居・近居のため
4. 地価や住宅価格等の条件が良いから
5. 日常の買い物等が便利だから
6. 道路事情や交通の便が良いから
7. 自然が多く環境が良いから
8. 教育や文化的環境が充実しているから
9. 子育てしやすい環境が整っているから
10. 医療環境が整っているから
11. 福祉サービス・施設が充実しているから
12. その他（ \_\_\_\_\_ ）
13. 特にない、わからない

問 14 へお進みください

**問 13-2, 13-3 は問 13 で「3. 市外に移りたい」と回答した方におたずねします**

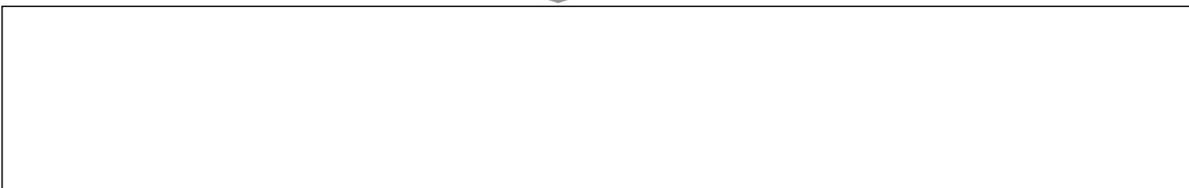
**問 13-2 市外に移りたいと思う理由についてお答えください。[あてはまるものすべてに○]**

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 通勤・通学先が市外にあるから</li><li>2. 自分や家族の通勤・通学に不便だから</li><li>3. 親・子・親族等との同居・近居のため</li><li>4. 地価や住宅価格等の条件が良くないから</li><li>5. 日常の買い物等が便利でないから</li><li>6. 道路事情や交通の便が良くないから</li><li>7. 自然が少なく環境が良くないから</li><li>8. 教育や文化的環境が十分でないから</li><li>9. 子育てしやすい環境が十分でないから</li><li>10. 医療環境が十分でないから</li><li>11. 福祉サービス・施設が十分でないから</li><li>12. その他 ( )</li><li>13. 特にない, わからない</li></ol> |
|---|

**問 13-3 あなたが将来的に住みたいまちはどこですか。あてはまるもの1つに○をつけ, その理由についても下欄にご記入ください。**

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 茨城県内の他の市町村 (具体的に: ) 市・町・村</li><li>2. その他 (都道府県名: )</li><li>3. 特にない, 分からない</li></ol> |
|--|

**[住みたいと思う理由]**



**全ての方におたずねします**

**問 14 あなたの現在のお住まいの形態と, 将来的に希望するお住まいの形態について, あてはまるものをそれぞれ次の中からお選びください。[1つに○]**

<b>現在</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 持家 (戸建)</li><li>2. 持家 (マンション等)</li><li>3. 賃貸住宅 (戸建)</li><li>4. 賃貸住宅 (マンション・アパート等)</li><li>5. 賃貸住宅 (市・県営等の公営住宅)</li><li>6. 社宅・独身寮等</li><li>7. その他 ( )</li></ol>		<b>将来</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 持家 (戸建)</li><li>2. 持家 (マンション等)</li><li>3. 賃貸住宅 (戸建)</li><li>4. 賃貸住宅 (マンション・アパート等)</li><li>5. 賃貸住宅 (市・県営等の公営住宅)</li><li>6. 社宅・独身寮等</li><li>7. その他 ( )</li><li>8. 特にない, 分からない</li></ol>
-----------	---	---	-----------	--

## 結婚・出産・子育ての状況、意識について

問 15 あなたは、結婚していますか。[1つに○]

1. 未婚

→問 15-1 へ

2. 以前、結婚していた

3. 既婚、または近々結婚の予定がある

→問 16 へ

問 15 で「1. 未婚」または「2. 以前、結婚していた」と回答した方におたずねします

問 15-1 あなたは、今後結婚したいと思いますか。[1つに○]

1. 早めに結婚したい

→問 15-2 へ

2. いずれは結婚したい

3. 結婚はしたいが難しい

→問 15-3 へ

4. 結婚はしたくない

5. わからない、特に考えていない

→問 15-3 へ

問 15-1 で「1. 早めに結婚したい」または「2. いずれは結婚したい」と回答した方におたずねします

問 15-2 あなたは、何歳ぐらいで結婚したい（したかった）ですか。[1つに○]

1. 18～24 歳

2. 25～29 歳

3. 30～34 歳

4. 35～39 歳

5. 40～44 歳

6. 45～49 歳

7. 50 歳以上

8. 年齢は特に考えていない

問 15-1 で「3. 結婚はしたいが難しい」または「4. 結婚はしたくない」と回答した方におたずねします

問 15-3 「結婚はしたいが難しい」または「結婚はしたくない」理由は何ですか。[3つに○]

1. 結婚したい相手にまだめぐり会わない

2. 職場や周囲に未婚の相手がいない

3. 自分や相手がまだ若すぎる

4. 相手にめぐり会う機会(場)がない

5. 安定した仕事についていない

6. 金銭的な余裕がない

7. 仕事が忙しく、時間(休み)が取れない

8. やりたいことや打ち込みたいことがある

9. 結婚生活に希望を見出せない

10. 必要性を感じない

11. 仕事(学業)に専念したい

12. 異性とうまくつきあえない

13. 自由や気楽さを失いたくない

14. 親の介護などにより、結婚する環境でない

15. その他 ( )

16. 特にない、わからない

問 16 へお進みください

**問 16～19 は全ての方におたずねします**

**問 16 現在、あなたにはお子さんが何人いらっしゃいますか。[1つに○]**

- |       |         |        |
|-------|---------|--------|
| 1. 1人 | 2. 2人   | 3. 3人  |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. いない |

**問 17 理想とする子どもの数は何人ですか？ [1つに○]**

- |       |         |              |
|-------|---------|--------------|
| 1. 1人 | 2. 2人   | 3. 3人        |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | 6. 子どもはほしくない |

**問 18 子どもを持つことの妨げになっている（なりそうな）ことは何だとお考えですか。**

**[あてはまるものすべてに○]**

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 経済的に厳しいから               |
| 2. 子育てと仕事の両立が難しいから         |
| 3. 今いる子どもに手がかかるから          |
| 4. 年齢や健康上の理由               |
| 5. 配偶者の家事や育児への協力が見込めないから   |
| 6. 家事や育児を支援してくれる家族がいないから   |
| 7. 家事や育児を支援してくれるサービスがないから  |
| 8. 保育所や学童クラブなど子どもの預け先がないから |
| 9. 家が狭いから                  |
| 10. ほしいが、できない              |
| 11. その他 ( )                |
| 12. 特にない、わからない             |

**問 19 あなたは、ひたちなか市で子育てをするうえで、充実していると安心できることは何だとお考えですか。[あてはまるものすべてに○]**

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 母子の健康づくり（妊婦健康診査、乳幼児健康診査、育児相談など） |
| 2. 医療体制（小児科、休日や夜間の診療など）            |
| 3. 保育サービス（保育所、一時保育など）              |
| 4. 子育て支援拠点（子育てサロンなど）               |
| 5. 経済的支援（子ども医療費助成、児童手当、出産育児一時金など）  |
| 6. 幼児教育（幼稚園）                       |
| 7. 義務教育（小学校、中学校など）                 |
| 8. 高校・大学                           |
| 9. 地域コミュニティ（子ども会、自治組織など）           |
| 10. 子どもの放課後の居場所（学童クラブ）             |
| 11. 公園                             |
| 12. 自然環境                           |
| 13. その他 ( )                        |
| 14. 特にない、わからない                     |

## 人口減少社会におけるまちづくりについて

問 20 人口減少社会を見据えた取り組みとして、ひたちなか市はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。[3つまでに○]

1. 子育て支援の充実	2. 未婚化・晩婚化への対策
3. 医療・福祉の充実	4. 移住・定住対策
5. 公共交通の充実	6. 農業・漁業の振興
7. 工業の振興	8. 商業・サービス業の振興
9. 観光の振興	10. 起業支援
11. 企業誘致	12. 地域コミュニティの活性化
13. その他 ( )	

◇今後のひたちなか市のまちづくりに関するご意見やアイデアなどありましたら、自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。**

本市では、今回のアンケートの結果等を踏まえて、回答内容やその背景についてより詳しくお伺いするグループインタビュー等の実施を検討しています。

グループインタビュー等を開催する際に、参加していただける場合は、以下に氏名・住所・ご連絡先のご記入をお願いいたします。グループインタビュー等の日時等の具体的な開催内容が決定しましたら、後日、ひたちなか市企画調整課よりご案内させていただきます。なお、人数の都合等により、お声がけしないこともありますので、ご了承ください。

〔ご記入欄〕

氏名		住所	
電話			

ご記入いただいた調査票は、**9月30日（月）までに**

同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

**お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました**

# ひたちなか市転入に関する意識調査

令和元年 9 月

皆さまへ

ひたちなか市長 大谷 明

## ご協力のおねがい

皆さまには、平素から市政へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。市では、現在、令和3年度から令和7年度までを計画期間とし、本市のまちづくりにおいて最上位の指針となる「ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画」及び人口減少への対応や地方創生を推進する「第2期ひたちなか市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に着手しています。

これらの計画の策定にあたり、近年本市へ転入された皆さまからのご意見やご提案をお聞きするため、アンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、近年本市へ転入された皆さまの中から、無作為に選んだ1,000名の方々にお願いしております。

ご多用中のところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ひたちなか市のまちづくりのためにご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果につきまして、個人が特定される形での公表や、ご回答の内容が皆さまの不利益となるようなことはございません。

### ●調査票のご記入にあたって

---

- ・封書の宛名のご本人がお答えください。

(令和元年8月1日以降に市外へ転出された方につきましては、ご回答いただく必要はございません。令和元年8月1日現在の情報を元に送付しておりますのでご容赦ください。)

- ・設問ごとの説明にしたがって、当てはまる番号に○印をつけてください。
- ・「その他」を選択された場合は、( ) 内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封いたしました返信用封筒に入れて、

**令和元年 9月30日(月) までに**

郵便ポストにご投函ください。

(返信用封筒には、切手を貼ったり、差出人の名前を書く必要はありません)。

- ・ご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。
- 

### 【お問い合わせ先】

ひたちなか市企画部企画調整課(担当:齊藤,丸岡)

電話 029-273-0111 内線1313

Eメールアドレス kikaku@city.hitachinaka.lg.jp

**問1 あなたの性別をお答えください。[1つに○]**

1. 男性	2. 女性
-------	-------

**問2 あなたの年齢を下の枠内にご記入ください。**

歳

**問3 あなたのお仕事について、就業形態、業種、職種についてお答えください。[1つに○]**

<b>(1) 就業 形態</b>	1. 正規の職員・従業員 2. 契約社員 3. 労働者派遣事業所の派遣社員 4. パート・アルバイト 5. 自営業（経営者） 6. 内職 7. 専業主婦・主夫 8. 学生 9. 無職 10. その他（ ）	<b>→問5へ</b>
<b>(2) 業種</b>	1. 農業・漁業 2. 建設業 3. 製造業 4. 情報通信業 5. 運輸業 6. 卸売業、小売業 7. 金融業、保険業 8. 不動産業、物品賃貸業 9. 学術研究、専門・技術サービス業 10. 宿泊業、飲食サービス業 11. 生活関連サービス業、娯楽業 12. 教育、学習支援業 13. 医療、福祉 14. 公務 15. その他（ ）	
<b>(3) 職種</b>	1. 管理的職業 2. 専門的職業 3. 技術的職業 4. 事務的職業 5. 営業・販売の職業 6. サービスの職業 7. 保安の職業 8. 農・漁業の職業 9. 生産工程の職業 10. 輸送・機械運転の職業 11. 建設等の職業 12. 運搬・清掃・包装等の職業 13. その他（ ）	

**問4は、問3(1)で「7. 専業主婦・主夫」「8. 学生」「9. 無職」と回答した方以外の方に  
おたずねします**

**問4 あなたの勤務先はどちらですか。[1つに○]**

1. ひたちなか市内（自宅勤務を含む）	2. ひたちなか市以外の茨城県内
3. 東京圏	4. その他（ ）

**問5 あなたのお住まいは中学校区で分類するとどの地区ですか。[1つに○]**

1. 勝田第一中学区	2. 勝田第二中学区	3. 勝田第三中学区
4. 佐野中学区	5. 大島中学区	6. 田彦中学区
7. 那珂湊中学区	8. 平磯中学区	9. 阿字ヶ浦中学区
10. 分からない（ ）		

※お住まいの中学校区が不明の場合は、お住まいの大字名・町名を（ ）内にご記入ください  
例：大字東石川、東石川2丁目 等

問6 転入前のご住所について、差し支えない範囲でカッコ内にご記入ください。

(                    )	(                    )
------------------------	------------------------

都・道・府・県                    市・区・町・村

問7 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。転入前と転入後で、それぞれあてはまるものを次の中からお選びください。【各1つに○】

<b>転入前</b>	1. 単身(自分だけの一人暮らし) 2. 夫婦 3. 夫婦と子ども 4. ひとり親と子 5. 夫婦と親 6. 夫婦と子どもと親 7. その他 (                    )		<b>転入後</b>	1. 単身 2. 夫婦 3. 夫婦と子ども 4. ひとり親と子 5. 夫婦と親 6. 夫婦と子どもと親 7. その他 (                    )
------------	---	--	------------	---

問8 転入後の同居家族に次の方はいますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 未就学児	2. 小学生	3. 中学生
4. 高校生以上の学生	5. 65～74歳の方	6. 75歳以上の方

問9 あなたのお住まいの形態は、次のどれにあたりますか。転入前と転入後で、それぞれあてはまるものを次の中からお選びください。【各1つに○】

<b>転入前</b>	1. 持家(戸建) 2. 持家(マンション等) 3. 賃貸住宅(戸建) 4. 賃貸住宅(マンション・アパート等) 5. 賃貸住宅(市・県営等の公営住宅) 6. 社宅・独身寮等 7. その他 (                    )		<b>転入後</b>	1. 持家(戸建) 2. 持家(マンション等) 3. 賃貸住宅(戸建) 4. 賃貸住宅(マンション・アパート等) 5. 賃貸住宅(市・県営等の公営住宅) 6. 社宅・独身寮等 7. その他 (                    )
------------	---	--	------------	---

問10 転入前にお住まいの市区町村から転出することになった、もっとも大きなきっかけは何ですか。【1つに○、内容も1つに○】

1. あなたの仕事の都合	【内容： 1. 就職 2. 転職 3. 転勤 4. 退職 5. その他 (                    )】
2. あなたの配偶者の仕事の都合	【内容： 1. 就職 2. 転職 3. 転勤 4. 退職 5. その他 (                    )】
3. 親(子)の仕事の都合	【内容： 1. 就職 2. 転職 3. 転勤 4. 退職 5. その他 (                    )】
4. あなたの学校の都合	
5. 子どもの学校の都合	
6. 住宅の都合	【内容： 1. 広さ 2. 設備 3. 家賃 4. その他 (                    )】
7. 結婚のため	
8. 親などの介護のため	
9. 親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため	
10. その他 (                    )	

問 11 転入前に持っていたひたちなか市に対する「まちのイメージ」について自由にご記入下さい。

例) にぎわいがある, 安心・安全, 働きやすい, 不便など (回答は複数可)

問 12 あなたがひたちなか市に住むことを決めた主な理由は何ですか。[3つまでに○]

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 通勤・通学先があるから         | 2. 自分や家族の通勤・通学に便利だから |
| 3. 親・子・親族等との同居・近居のため   | 4. 地価や住宅価格等の条件が良いから  |
| 5. 日常の買い物等が便利だから       | 6. 道路事情や交通の便が良いから    |
| 7. 自然が多く環境が良いから        | 8. 教育や文化的環境が充実しているから |
| 9. 子育てしやすい環境が整っているから   | 10. 医療環境が整っているから     |
| 11. 福祉サービス・施設が充実しているから |                      |
| 12. その他 ( )            |                      |
| 13. 特にない, わからない        |                      |

問 13 あなたが住む場所を探したときの主な情報源は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| 1. 自治体ホームページ             | 2. 不動産情報サイト  |
| 3. 掲示板等のインターネットの口コミ      | 4. SNS       |
| 5. その他インターネットサイト (具体例: ) |              |
| 6. 新聞・広告等                | 7. 住宅情報誌     |
| 8. 電車・バスなどの車内広告          | 9. 不動産業者の口コミ |
| 10. 親族・知人・友人の口コミ         | 11. その他 ( )  |

問 14 あなたは、前住地と比べてひたちなか市の住み心地をどう感じていますか。[1つに○]

- |                  |                 |           |
|------------------|-----------------|-----------|
| 1. 住みよい          | 2. どちらかといえば住みよい | →問 14-1 へ |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい        | →問 14-2 へ |
| 5. わからない         |                 |           |

問 14 で「1. 住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」と回答した方におたずねします

問 14-1 どのようなところに住みよさを感じますか。具体的な内容をご記入ください。

問 14 で「3. どちらかといえば住みにくい」「4. 住みにくい」と回答した方におたずねします

問 14-2 どのようなところに住みにくさを感じますか。具体的な内容をご記入ください。

**全ての方におたずねします**

**問 15** 人口減少社会を見据えた取り組みとして、今後ひたちなか市はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。〔3つまでに○〕

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1. 子育て支援の充実 | 2. 未婚化・晩婚化への対策   |
| 3. 医療・福祉の充実 | 4. 移住・定住対策       |
| 5. 公共交通の充実  | 6. 農業・漁業の振興      |
| 7. 工業の振興    | 8. 商業・サービス業の振興   |
| 9. 観光の振興    | 10. 起業支援         |
| 11. 企業誘致    | 12. 地域コミュニティの活性化 |
| 13. その他 ( ) |                  |

◇今後のひたちなか市のまちづくりに関するご意見やアイデアなどありましたら、自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。**

本市では、今回のアンケートの結果等を踏まえて、回答内容やその背景についてより詳しくお伺いするグループインタビュー等の実施を検討しています。

グループインタビュー等を開催する際に、参加していただける場合は、以下に氏名・住所・ご連絡先のご記入をお願いいたします。グループインタビュー等の日時等の具体的な開催内容が決定しましたら、後日、ひたちなか市企画調整課よりご案内させていただきます。なお、人数の都合等により、お声がけしないこともありますので、ご了承ください。

〔ご記入欄〕

氏名		住所	
電話			

ご記入いただいた調査票は、**9月30日（月）までに**

同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

**お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました**

# ひたちなか市転出に関する意識調査

令和元年 9 月

皆さまへ

ひたちなか市長 大谷 明

## ご協力のおねがい

皆さまには、平素から市政へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。市では、現在、令和3年度から令和7年度までを計画期間とし、本市のまちづくりにおいて最上位の指針となる「ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画」及び人口減少への対応や地方創生を推進する「第2期ひたちなか市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に着手しています。

これらの計画の策定にあたり、近年本市から転出された皆さまからのご意見やご提案をお聞きするため、アンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、近年本市から転出された皆さまの中から、無作為に選んだ1,000名の方々にお願いしております。

ご多用中のところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ひたちなか市のまちづくりのためにご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果につきまして、個人が特定される形での公表や、ご回答の内容が皆さまの不利益となるようなことはございません。

### ●調査票のご記入にあたって

- ・封書の宛名のご本人がお答えください。

(この調査票は、令和元年8月1日現在の情報を元に送付しております。)

- ・設問ごとの説明にしたがって、当てはまる番号に○印をつけてください。
- ・「その他」を選択された場合は、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封いたしました返信用封筒に入れて、

**令和元年 9月30日(月) までに**

郵便ポストにご投函ください。

(返信用封筒には、切手を貼ったり、差出人の名前を書く必要はありません。)

- ・ご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

### 【お問い合わせ先】

ひたちなか市企画部企画調整課(担当:齊藤,丸岡)

電話 029-273-0111 内線1313

Eメールアドレス kikaku@city.hitachinaka.lg.jp

**問1 あなたの性別をお答えください。[1つに○]**

1. 男性	2. 女性
-------	-------

**問2 あなたの年齢を下の枠内にご記入ください。**

歳

**問3 あなたのお仕事について、就業形態、業種、職種についてお答えください。[1つに○]**

<b>(1) 就業 形態</b>	1. 正規の職員・従業員 2. 契約社員 3. 労働者派遣事業所の派遣社員 4. パート・アルバイト 5. 自営業（経営者） 6. 内職 7. 専業主婦・主夫 8. 学生 9. 無職 10. その他（ ）	<b>→問5へ</b>
<b>(2) 業種</b>	1. 農業・漁業 2. 建設業 3. 製造業 4. 情報通信業 5. 運輸業 6. 卸売業、小売業 7. 金融業、保険業 8. 不動産業、物品賃貸業 9. 学術研究、専門・技術サービス業 10. 宿泊業、飲食サービス業 11. 生活関連サービス業、娯楽業 12. 教育、学習支援業 13. 医療、福祉 14. 公務 15. その他（ ）	
<b>(3) 職種</b>	1. 管理的職業 2. 専門的職業 3. 技術的職業 4. 事務的職業 5. 営業・販売の職業 6. サービスの職業 7. 保安の職業 8. 農・漁業の職業 9. 生産工程の職業 10. 輸送・機械運転の職業 11. 建設等の職業 12. 運搬・清掃・包装等の職業 13. その他（ ）	

**問4は、問3(1)で「7. 専業主婦・主夫」「8. 学生」「9. 無職」と回答した方以外の方に  
おたずねします**

**問4 あなたの勤務先はどちらですか。[1つに○]**

1. ひたちなか市内	2. ひたちなか市以外の茨城県内
3. 東京圏	4. その他（ ）

**問5 あなたはひたちなか市に何年間お住まいでしたか。[1つに○]**

1. 3年未満	2. 3～5年未満	3. 5～10年未満
4. 10～20年未満	5. 20～30年未満	6. 30年以上

**問6 あなたのお住まいは中学校区で分類するとどの地区でしたか。[1つに○]**

1. 勝田第一中学区	2. 勝田第二中学区	3. 勝田第三中学区
4. 佐野中学区	5. 大島中学区	6. 田彦中学区
7. 那珂湊中学区	8. 平磯中学区	9. 阿字ヶ浦中学区
10. 分からない（ ）		

※お住まいの中学校区が不明の場合は、お住まいの大字名・町名を（ ）内にご記入ください  
例：大字東石川，東石川2丁目 等

問7 転出後のご住所について、差し支えない範囲でカッコ内にご記入ください。

(                    )	(                    )
都・道・府・県	市・区・町・村

問8 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。転出前と転出後で、それぞれあてはまるものを次の中からお選びください。【各1つに○】

<b>転出前</b>	1. 単身(自分だけの一人暮らし) 2. 夫婦 3. 夫婦と子ども 4. ひとり親と子 5. 夫婦と親 6. 夫婦と子どもと親 7. その他 (                    )		<b>転出後</b>	1. 単身 2. 夫婦 3. 夫婦と子ども 4. ひとり親と子 5. 夫婦と親 6. 夫婦と子どもと親 7. その他 (                    )
------------	---	--	------------	---

問9 転出後の同居家族に次の方はいますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 未就学児	2. 小学生	3. 中学生
4. 高校生以上の学生	5. 65～74歳の方	6. 75歳以上の方

問10 あなたのお住まいの形態は、次のどれにあたりますか。転出前と転出後で、それぞれあてはまるものを次の中からお選びください。【各1つに○】

<b>転出前</b>	1. 持家(戸建) 2. 持家(マンション等) 3. 賃貸住宅(戸建) 4. 賃貸住宅(マンション・アパート等) 5. 賃貸住宅(市・県営等の公営住宅) 6. 社宅・独身寮等 7. その他 (                    )		<b>転出後</b>	1. 持家(戸建) 2. 持家(マンション等) 3. 賃貸住宅(戸建) 4. 賃貸住宅(マンション・アパート等) 5. 賃貸住宅(市・県営等の公営住宅) 6. 社宅・独身寮等 7. その他 (                    )
------------	---	--	------------	---

問11 ひたちなか市から転出されることになった、もっとも大きなきっかけは何ですか。

【1つに○、内容も1つに○】

1. あなたの仕事の都合 【内容： 1.就職 2.転職 3.転勤 4.退職 5.その他 (                    )】
2. あなたの配偶者の仕事の都合 【内容： 1.就職 2.転職 3.転勤 4.退職 5.その他 (                    )】
3. 親(子)の仕事の都合 【内容： 1.就職 2.転職 3.転勤 4.退職 5.その他 (                    )】
4. あなたの学校の都合
5. 子どもの学校の都合
6. 住宅の都合 【内容： 1.広さ 2.設備 3.家賃 4.その他 (                    )】
7. 結婚のため
8. 親などの介護のため
9. 親や子ども、その他親族との同居・近居・別居のため
10. その他 (                    )

**問 12 あなたが現在の居住地に住むことを決めた主な理由は何ですか。【3つまでに○】**

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 通勤・通学先があるから         | 2. 自分や家族の通勤・通学に便利だから |
| 3. 親・子・親族等との同居・近居のため   | 4. 地価や住宅価格等の条件が良いから  |
| 5. 日常の買い物が便利だから        | 6. 道路事情や交通の便が良いから    |
| 7. 自然が多く環境が良いから        | 8. 教育や文化的環境が充実しているから |
| 9. 子育てしやすい環境が整っているから   | 10. 医療環境が整っているから     |
| 11. 福祉サービス・施設が充実しているから |                      |
| 12. その他 ( )            |                      |
| 13. 特にない, わからない        |                      |

**問 13 あなたは、転出前にひたちなか市内での転居も検討されましたか。【1つに○】**

- |   |
|---|
| 1. ひたちなか市内も検討したが、他市区町村に決めた                                |
| 2. 最初から他の市区町村に決めていたので、ひたちなか市は検討しなかった                      |
| 3. 他の市区町村に住む選択肢しかなかった（勤務先が遠方になり通えなくなった、結婚で遠方に住むことになった など） |

**問 14 は、問 13 で「1. ひたちなか市内も検討したが、他市区町村に決めた」と回答した方におたずねします**

**問 14 あなたがひたちなか市内も検討した理由や要因は何ですか。また、転出先として他市区町村に決定した理由や要因は何ですか。自由にご記入ください。**

ひたちなか市内も検討した理由・要因	
他市区町村に決めた理由・要因	

**問 15 あなたは将来、ひたちなか市に戻ることがあると思いますか。【1つに○】**

- |                |             |           |
|----------------|-------------|-----------|
| 1. いずれ戻るつもりである | 2. 戻る可能性はある | →問 15-1 へ |
| 3. 戻る可能性はない    | 4. わからない    | →問 16 へ   |

**問 15 で「1. いずれ戻るつもりである」「2. 戻る可能性はある」と回答した方におたずねします**

**問 15-1 戻るとしたらどのようなきっかけが考えられますか。【2つまでに○】**

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. 就職や転職を機に | 2. 結婚を機に      |
| 3. 子育てを機に   | 4. 定年退職などを機に  |
| 5. 住宅の取得を機に | 6. 親などとの同居を機に |
| 7. その他 ( )  | 8. わからない      |

**全ての方におたずねします**

**問 16 進学等で一度市外へ転出した方のリターン就職などを含め、ひたちなか市で居住する方の増加につながるものとして、必要と思うことをお答えください。[3つまでに○]**

- 1. 地元の経済が活性化する
- 2. 地元就職を推進するための活動が活発になる
- 3. 地元就職のための情報が大幅に充実する
- 4. 友人の多くが地元に戻ってくる
- 5. 地元で結婚したいと思う相手ができる
- 6. 給料がよい就職先が多くできる
- 7. 地元までの交通手段が大幅に改善する
- 8. 志望する企業の支社や研究所ができる
- 9. 働きたいと思うような企業が多くできる
- 10. 志望する職種に就けるようになる
- 11. 地元の風土が好きになる
- 12. 希望するスキルが身につけられるようになる
- 13. その他 ( )

**問 17 あなたは、ひたちなか市に愛着を感じますか（もしくは関心がありますか）。[1つに○]**

- 1. とても思う
- 2. ややそう思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり思わない
- 5. 全く思わない

**問 18 現在、あなたがひたちなか市を訪れる頻度をお選びください。また訪れる方はその主な理由をご記入ください。[1つに○]**

- 1. 毎月訪れる
- 2. 3か月に一度程度
- 3. 半年に一度程度
- 4. 1年に一度程度
- 5. 数年に一度程度
- 6. 訪れない



主に訪れる理由：

**問 19 あなたは、ひたちなか市へのふるさと納税に関心がありますか。[1つに○]**

- 1. とても関心がある
- 2. やや関心がある
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり関心がない
- 5. まったく関心がない
- 6. 既に寄附している

**問 20 ひたちなか市で、あなたのお気に入りと感じたもの（イベント、場所、体験、グルメ、店舗など）は何ですか。自由にご記入ください。**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

